

松戸市総合計画前期基本計画進行管理に係る  
市民意識調査等実施結果  
(報告書)

～前期基本計画「施策展開の方向」に基づく指標の現状（値）～

平成18年3月

松 戸 市



# 目次

1	調査の概要	1
1-1	調査の目的	3
1-2	調査の設計	3
1-3	調査の枠組み	3
1-4	回収状況	10
2	市民意識調査-単純集計結果	11
3	市民意識調査の回答者の特性	27
3-1	性別	29
3-2	年齢	29
3-3	地区別	30
3-4	就労状況	30
3-5	居住年数	31
3-6	出身地	32
3-7	家族構成	32
3-8	興味・関心（複数回答）	33
3-9	日常的な行動範囲	34
3-10	主な交通手段（複数回答）	34
3-11	行政情報の入手手段（複数回答）	35
3-12	行政サービスに対する満足度	35
4	市民意識調査に基づく「指標の現状（値）」	37
4-1	指標の現状（値）	39
1)	第1節 連携型地域社会の形成	41
2)	第1節 連携型地域社会の形成 第1項 人権を尊重する社会の実現	46
3)	第1節 連携型地域社会の形成 第2項 男女共同参画社会づくり	49
4)	第1節 連携型地域社会の形成 第3項 市民と行政のパートナーシップの強化	52
5)	第1節 連携型地域社会の形成 第5項 IT社会の実現	57
6)	第2節 豊かな人生を支える福祉社会の実現 第1項 多様な生きがい感のある環境づくり	61
7)	第2節 豊かな人生を支える福祉社会の実現 第2項 健康の維持・増進	65
8)	第2節 豊かな人生を支える福祉社会の実現 第3項 日常生活および緊急時の安全・安心性の向上	68
9)	第2節 豊かな人生を支える福祉社会の実現 第4項 福祉のための基盤整備	71

10) 第3節	次代を育む文化・教育環境の創造		73
11) 第3節	次代を育む文化・教育環境の創造	第1項	生涯学習の推進 77
12) 第3節	次代を育む文化・教育環境の創造	第1項	生涯学習の推進 81
13) 第3節	次代を育む文化・教育環境の創造	第3項	生涯にわたるスポーツ活動の支援 85
14) 第3節	次代を育む文化・教育環境の創造	第4項	国際化の推進と平和意識の高揚 89
15) 第3節	次代を育む文化・教育環境の創造	第4項	国際化の推進と平和意識の高揚 92
16) 第3節	次代を育む文化・教育環境の創造	第6項	多様な文化・芸術の創造 96
17) 第4節	安全で快適な生活環境の実現		100
18) 第4節	安全で快適な生活環境の実現	第2項	人と自然が共生するまちづくり 104
19) 第4節	安全で快適な生活環境の実現	第4項	安全で安心な地域環境づくり 106
20) 第4節	安全で快適な生活環境の実現	第5項	自立をめざした消費者行政の推進 109
21) 第5節	魅力ある都市空間の形成と産業の振興		112
22) 第5節	魅力ある都市空間の形成と産業の振興	第2項	都市基盤の整備 115
23) 第6節	都市経営の視点に立った行財政運営	第5項	庁舎および庁舎機能の整備充実 119
4-2	平成19年度目標値の達成状況		125
4-3	松戸市に対する意見・要望（自由記載）		129

添付資料：市民意識調査票	159
--------------	-----

# 1 調査の概要



## 1-1 調査の目的

松戸市では、平成10年度(1998年度)より「基本構想」「基本計画」「実施計画」から構成される「松戸市総合計画」に基づき計画行政を推進しております。

その後、平成12年度より「評価システム」を導入し、事業を目的別に体系化した「政策目的体系」や指標に基づき成果を検証する「評価調表」を作成し、公開しています。これは行政評価の全貌を明らかにし、今まで以上に市民にわかりやすくする試みです。

平成15年度から実施している第2次実施計画では、評価システムを活用し、上位計画である前期基本計画の今後の方向性を明らかにするために「施策展開の方向」に「目的・指標」を設定しました。

今回の調査は、平成19年度を目標とする指標に対し、平成13年度、平成16年度の過去2回の調査結果との比較を踏まえつつ、指標の現状(値)を把握することを目的に実施したものです。

## 1-2 調査の設計

### ・1) 調査の対象

松戸市に居住する20歳以上の男女個人  
(母数 370,330人 11月15日現在の住民基本台帳による)

### ・2) サンプル数

3,000人

### ・3) 抽出方法

性別、年齢、支所管区による層化無作為抽出

### ・4) 調査の方法

郵送調査法

### ・5) 調査の期間

平成18年11月29日～12月12日(14日間)

## 1-3 調査の枠組み

調査の前提となる、前期基本計画「施策展開の方向」の「目的」「指標」および今回の調査対象項目は次のとおりです。

注釈1：目的は「市民と行政が役割分担を自覚し、協働して実現した状態」を表します

2：主な指標は、「目的の達成度を計るための尺度」を表します

節	項	内容	目的	主な指標	調査対象
1	連携型地域社会の形成		市民が互いを尊重し、住み続けたいと思うまちになる	松戸に住み続けたいと思う人の割合	○
	1	人権を尊重する社会の実現	さまざまな人権侵害がなくなり、一人ひとりの個性や生き方がより尊重されるようになる	身の周りで人権が守られていると思っている人の割合	○
	2	男女共同参画社会づくり	性別に係わらず、社会・家庭での役割が、今以上に選択できるようになる	性別による役割固定を支持しない人の割合	○
	3	市民と行政のパートナーシップの強化	市民主体の地域づくりが活発になる	地域活動に参加している人の割合 NPO法人の数	○
	4	情報提供の充実	市民が必要度に応じて、知りたい行政情報を得られるようになる	ホームページのアクセス件数	
	5	IT社会の実現	IT技術が活用される地域社会になる	インターネットを利用している人の割合	○
2	豊かな人生を支える福祉社会の実現		生涯を通して、心豊かに健やかに暮らせるようになる	健康寿命（「平均寿命」－「認知症（痴ほう）・寝たきりの平均期間」）	
	1	多様な生きがい感のある環境づくり	生涯を通して、自分に合った社会参加ができ、生きがい感をもてるようになる	生きがい感をもっている人の割合	○
	2	健康の維持・増進	生涯を通して、健康に良いと思う行動や身近な人の健康に配慮ができ、病気や障害をもつことになっても、自分に合った健康生活が送れるようになる	本人が健康であると思う人の割合	○
	3	日常生活および緊急時の安全・安心性の向上	生涯を通して、必要な時に必要度に応じて十分な医療、介護、保護、支援などのサービスが受けられ、生活する上での安心感ももてるようになる	日常生活（心配事が起きた時を含む）に対する安心感をもつ人の割合	○
	4	福祉のための基盤整備	生涯を通して、必要な時に健康福祉施設サービスが必要度に応じて利用できるようになる	出産や子育てに不安や心配がない人の割合	○



節	項	内容	目的	主な指標	調査対象
3		次代を育む文化・教育環境の創造	多くの市民が暮らしたいと思う文化や教育環境がある	文化・教育に魅力を感じて、いつまでも住み続けたいと思う人の割合	○
	1	生涯学習の推進	より多くの人々が積極的に学習活動を行い、その成果を活かすようになる	学習活動を行っている人の割合	○
				学習活動の成果を地域社会で活かしている人の割合	○
	2	学校教育の推進	個々の発達段階に応じて児童生徒が基礎基本を習得するようになる	基礎基本習得の到達度	
	3	生涯にわたるスポーツ活動の支援	より多くの人々がスポーツに親しむようになる	スポーツを行っている人の割合	○
	4	国際化の推進と平和意識の高揚	外国籍市民が暮らしやすくなる	外国籍市民で暮らしに満足している人の割合	
				外国籍市民と交流している人の割合	○
		すべての人が世界平和を望むようになる	国際紛争に対する関心を示す人の割合	○	
5	青少年の健全育成	より多くの青少年が社会の一員であることを自覚して生活するようになる	青少年育成団体への小中学生の帰属率		
6	多様な文化・芸術の創造	より多くの人々が文化・芸術に親しみ、自ら創造的な活動をするようになる	文化・芸術に親しむ人の割合	○	
4		安全で快適な生活環境の実現	安心してゆとりのある暮らしができるようにする	安心やゆとりを感じている人の割合	○
	1	良好な生活空間の実現	良好な生活空間に住むことができるようにする	資産価値(公示価格の増減率の近隣市比較)	
	2	人と自然が共生するまちづくり	緑や水にふれあえるようにする	緑地・河川などの自然環境に満足している人の割合	○
				BOD(75%値)	
3	リサイクル型の都市づくり	市民の生活に身近な環境負荷が少なくなる	廃棄物の最終処分量 環境基準達成率(大気・騒音)		

節	項	内容	目的	主な指標	調査対象
4	4	安全で安心な地域環境づくり	日常生活における火災・交通事故および地震等の災害が発生した時に被害を少なくする	火災による焼死者数(放火自殺者を除く) 心肺停止患者の蘇生率 交通事故の発生件数 災害に対して自ら対策を講じている人の割合	○
	5	自立をめざした消費者行政の推進	商品やサービスの購入時に、トラブルに巻き込まれることが少なくなる	商品やサービスの購入時に、トラブルに巻き込まれた人の割合	○
5	魅力ある都市空間の形成と産業の振興		快適で便利な賑わいのあるまちに住むことができるようにする	快適・便利・賑わいがあると感じている人の割合	○
	1	都市環境の整備	地域ごとの特色を活かし、交流人口が増えるようにする	昼間人口	
	2	都市基盤の整備	公共交通を利用しやすくする	鉄道の混雑率(緩行電車) 鉄道の混雑率(快速電車)	
			車の流れを良くする	渋滞箇所数	
			水害を少なくする	浸水面積	
			汚水が川に直接流れないようにする	下水道利用率(「下水道利用者数」÷「市内人口」)	
			いつでも安心して水が使えるようにする	(水道水に)満足している人の割合	○
	3	活力ある産業の振興	産業を維持・発展させる	商業の年間商品販売額 製造品出荷額等 農業粗生産額 農業粗生産額(10a当り)	
4	就労環境と就労機会の整備	安定した雇用が確保されるとともに、働きやすい職場になる	新規求人倍率(松戸市内) 障害者法定雇用率を達成している企業の割合		
5	多様な近郊型観光の振興	観光客が多く訪れるようになる	主要観光スポットの観光客数		

節	項	内容	目的	主な指標	調査対象
6		都市経営の視点に立った行 財政運営	地方分権に対応できる自己責 任・自己決定能力を向上させ、 行政の自立度を高める	財政力指数	
	1	効率的・効果的な施策 を実現するシステム の形成	生産性の向上を図り、質の高い 行政運営を推進する	経常収支比率	
	2	行政としての経営基 盤の強化	多種多様な行政需要に応えるこ とが可能であり、社会経済情勢 の変化に柔軟に対応できる健全 財政を維持・増進する	自主財源比率	
	3	広域行政への取り組 み	近隣自治体との連携を強化する	連携して実施した業務 数	
	4	計画行政の推進	市民に分かりやすい行政運営の 中長期ビジョンと戦略を示し、 それを推進する	前期基本計画の6節 30 項に設定した指標の達 成率(進捗状況)	
	5	庁舎および庁舎機能 の整備充実	市役所・支所の利便性を向上さ せる	市役所・支所を不便と感 じている人の割合	○

目 的 : 4 1

主な指標 : 6 0

調査項目 : 2 3

調査対象の「指標」を調べるために、意識調査用に設問化する必要があります。その際、回答者の立場を「個人」「地域」「社会」の3つに、回答者の意図を「態度(認知・評価・関心)」「行動」「意向」を5つに分類し、設問を作成しました。

なお、前期基本計画「施策展開の方向」の「目的」「指標」の設定並びに「指標」の設問化に当たっては、政策情報研究所の協力を得て作成したものです。今回の調査目的に照らし合わせて、平成13年度および平成16年度に実施した市民意識調査の枠組みおよび設問をそのまま利用しております。

設問化の方向は次のとおりです。

節	項	主な指標	立場	意図
1		松戸に住み続けたいと思う人の割合	個人	意向
	1	身の周りで人権が守られていると思っている人の割合	社会	態度(認知)
	2	性別による役割固定を支持しない人の割合	個人	態度(認知)
	3	地域活動に参加している人の割合	社会	行動
	5	インターネットを利用している人の割合	個人	行動
2	1	生きがい感をもっている人の割合	個人	態度(認知)
	2	本人が健康であると思う人の割合	個人	態度(認知)
	3	日常生活(心配事が起きた時を含む)に対しての安心感をもつ人の割合	個人	態度(認知)
	4	出産や子育てに不安や心配がない人の割合	個人	態度(認知)
3		文化・教育に魅力を感じて、いつまでも住み続けたいと思う人の割合	社会	態度(評価)
	1	学習活動を行っている人の割合	個人	行動
		学習活動の成果を地域社会で活かしている人の割合	個人	態度(認知)
	3	スポーツを行っている人の割合	個人	行動
	4	外国籍市民と交流している人の割合	個人	行動
		国際紛争に対する関心を示す人の割合	社会	態度(関心)
6	文化・芸術に親しむ人の割合	個人	行動	
4		安心やゆとりを感じている人の割合	地域	態度(評価)
	2	緑地・河川などの自然環境に満足している人の割合	地域	態度(評価)
	4	災害に対して自ら対策を講じている人の割合	個人	行動
	5	商品やサービスの購入時に、トラブルに巻き込まれた人の割合	個人	行動
	5		快適・便利・賑わいがあると感じている人の割合	地域
2		(水道水に)満足している人の割合	地域	態度(評価)
6	5	市役所・支所を不便と感じている人の割合	個人	意向

さらに、説明変数として属性(「基本的事項」「現在の指向」「行政への関心」)を付け加え、作成しました。

市民意識調査の枠組みは、次のようになります。



## 1-4 回収状況

サンプル数	3,000人
有効回答数	1,607人
有効回収率	53.6%

・【参考】単純集計結果の標本誤差（信頼度95%）

回答の比率(P) 回答数(n)	10%又は 90%	20%又は 80%	30%又は 70%	40%又は 60%	50%
1,607	± 1.5%	± 2.0%	± 2.2%	± 2.4%	± 2.4%
1,400	± 1.6%	± 2.1%	± 2.4%	± 2.6%	± 2.6%
1,200	± 1.7%	± 2.3%	± 2.6%	± 2.8%	± 2.8%
1,000	± 1.9%	± 2.5%	± 2.8%	± 3.0%	± 3.1%
800	± 2.1%	± 2.8%	± 3.2%	± 3.4%	± 3.5%
600	± 2.4%	± 3.2%	± 3.7%	± 3.9%	± 4.0%
400	± 2.9%	± 3.9%	± 4.5%	± 4.8%	± 4.9%
200	± 4.2%	± 5.5%	± 6.3%	± 6.8%	± 6.9%
100	± 5.9%	± 7.8%	± 9.0%	± 9.6%	± 9.8%

### <標本誤差の算出方法>

$$b = 2 \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(100-p)}{n}}$$

※ b = 標本誤差・N = 母集団数・n = 回答者数・P = 回答の比率

### <表の見方>

「今回の単純集計結果におけるある設問の選択肢の回答比率が50%である場合」

その回答比率の誤差範囲は、最高でも±2.4%以内である。

※上記の標本誤差の表は、単純無作為抽出を前提としたものである。

## 2 市民意識調査-単純集計結果





## I はじめに、皆様の日頃の身の回りのことについてお聞きします。

Q1 あなたの身の回りでは人権が守られていると思いますか。次の中で、人権が守られていないと日頃感じる事があれば、あてはまる番号全てに○をつけてください。

No.	カテゴリー名	人数	回答数	構成比	H16構成比	H13構成比
1	女性の人権問題	847	230	14.3	16.1	17.2
2	子供の人権問題		262	16.3	15.6	12.7
3	高齢者の人権問題		387	24.1	21.3	19.1
4	障害者の人権問題		406	25.3	22.8	24.1
5	同和問題		40	2.5	3.4	3.7
6	外国籍市民の人権問題		144	9.0	10.6	13.1
7	患者の人権問題		275	17.1	16.3	15.5
8	その他		38	2.4	3.3	2.8
9	人権問題は特にな 不明	607	607	37.8	41.4	42.4
	全体	1,607	2,542	158.2	157.6	156.9

Q2 「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはこの考え方に同感する方ですか、それとも同感しない方ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

No.	カテゴリー名	回答数	構成比	H16構成比	H13構成比
1	同感する方	243	15.1	14.5	13.3
2	どちらとも言えない	657	40.9	40.7	41.2
3	同感しない方	671	41.8	43.2	43.4
4	わからない	21	1.3	0.7	1.1
	不明	15	0.9	0.9	1.1
	全体	1,607	100.0	100.0	100.0

Q3 あなたは、現在世界のあちこちで起こっている国際紛争の解決について特に関心をお持ちですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

No.	カテゴリー名	回答数	構成比	H16構成比	H13構成比
1	大変関心を持っている	316	19.7	23.3	29.7
2	かなり関心を持っている	295	18.4	25.3	26.8
3	ある程度関心を持っている	836	52.0	44.8	38.2
4	あまり関心を持っていない	115	7.2	5.1	3.5
5	ほとんど関心がない	29	1.8	1.0	0.9
	不明	16	1.0	0.5	0.9
	全体	1,607	100.0	100.0	100.0

## Ⅱ 次に、皆様自身の感じていることや考え方などについておたずねします。

Q4 あなたは日頃、生活の中で生きがいを感じていますか。次の中から、あてはまる番号1つに○をつけてください。

No.	カテゴリー名	回答数	構成比	H16構成比	H13構成比
1	大変感じている	205	12.8	13.6	12.1
2	かなり感じている	245	15.2	21.4	22.5
3	ある程度感じている	852	53.0	48.6	45.7
4	あまり感じていない	225	14.0	13.6	15.8
5	ほとんど感じていない	66	4.1	2.1	3.0
	不明	14	0.9	0.6	0.9
	全体	1,607	100.0	100.0	100.0

Q5 あなたは今、健康だと思えますか。次の中から、あてはまる番号1つに○をつけてください。

No.	カテゴリー名	回答数	構成比	H16構成比	H13構成比
1	非常に健康だと思う	153	9.5	8.1	8.6
2	健康な方だと思う	902	56.1	57.8	57.8
3	どちらとも言えない	213	13.3	13.5	13.1
4	あまり健康なほうではないと思う	198	12.3	14.7	15.0
5	健康でないと思う	129	8.0	5.5	5.0
	不明	12	0.7	0.3	0.6
	全体	1,607	100.0	100.0	100.0

Q6 あなたは今、生活の中で不安になったり、心配になったりすることがありますか。次の中から特に気になることがあれば、あてはまる番号全てに○をつけてください。

No.	カテゴリー名	人数	回答数	構成比	H16構成比	H13構成比
1	自分の健康	1,547	776	48.3	46.2	45.5
2	家族の健康		883	54.9	53.4	52.2
3	将来、自分や家族が必要な時の介護		899	55.9	53.8	52.7
4	現在の生活や家計		372	23.1	19.8	20.8
5	将来の生活や家計		911	56.7	55.4	56.1
6	仕事		375	23.3	22.2	29.7
7	出産や子育て		150	9.3	9.4	10.2
8	子供の将来		538	33.5	26.3	27.7
9	住居や住まい		281	17.5	18.3	18.3
10	財産や資産		196	12.2	14.5	12.7
11	人との付き合い		237	14.7	14.1	17.9
12	生きがい		159	9.9	11.0	12.9
13	その他		38	2.4	2.9	1.4
14	特にない		52	52	3.2	4.7
	不明	8	8	0.5	0.8	0.7
	全体	1,607	5,875	365.6	352.8	362.5

Q7 あなたは、市内で地域に貢献する活動を行っている団体、組織やグループの活動に、日頃積極的に参加していますか。次の中で、参加しているものがあれば、全てに○をつけてください。

No.	カテゴリー名	人数	回答数	構成比	H16構成比	H13構成比
1	町会・自治会	495	291	18.1	19.7	16.4
2	ボランティア団体		65	4.0	4.6	3.8
3	PTA		78	4.9	3.9	4.9
4	NPO法人		24	1.5	1.7	0.6
5	子ども会育成会		41	2.6	2.9	4.1
6	企業による奉仕活動		36	2.2	1.8	1.3
7	有志・仲間との奉仕活動		97	6.0	6.6	5.1
8	その他		47	2.9	3.8	0.9
9	積極的に参加しているものはない	1,035	1,035	64.4	64.2	69.0
	不明	77	77	4.8	2.4	3.9
	全体	1,607	1,791	111.4	111.6	110.0

Q8 あなたは日頃、特定の関心があるテーマについて、自主的に学習活動をしていることがありますか。過去1年間に振り返って、学習活動に取り組んだ日数は平均するとどのくらいですか。次の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

No.	カテゴリー名	回答数	構成比	H16構成比	H13構成比
1	ほぼ毎日	112	7.0	7.0	8.1
2	週に数日ほど	206	12.8	16.5	14.0
3	月に数日ほど	366	22.8	21.9	22.3
4	年に数日ほど	224	13.9	16.2	17.9
5	全くない	659	41.0	36.6	35.6
	不明	40	2.5	1.7	2.0
	全体	1,607	100.0	100.0	100.0

Q9 あなたがこれまでに、自主的に取り組んだ学習活動の成果が活かされていると思いますか。次の中から、活かされていると思う番号全てに○をつけてください。

No.	カテゴリー名	人数	回答数	構成比	H16構成比	H13構成比
1	仕事、職業に活かされている	1,049	408	25.4	24.0	27.0
2	自分自身の向上に活かされている		636	39.6	42.7	41.3
3	家族や家庭に活かされている		259	16.1	15.4	17.0
4	地域や社会活動に活かされている		107	6.7	6.6	5.8
5	親睦や友人交流に活かされている		356	22.2	21.1	23.1
6	その他		17	1.1	2.2	2.0
7	活かされていない	273	273	17.0	16.9	16.7
	不明	285	285	17.7	14.2	13.9
	全体	1,607	2,341	145.7	143.1	146.8

Q10 あなたは、ご自身でインターネットを利用しますか。次の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

No.	カテゴリー名	回答数	構成比	H16構成比	H13構成比
1	毎日のように利用している	447	27.8	27.3	17.3
2	時々利用している	246	15.3	13.0	11.3
3	たまに利用している	159	9.9	10.4	9.5
4	ほとんど利用していない	144	9.0	7.2	8.1
5	全く利用していない	581	36.2	39.3	51.8
	不明	30	1.9	2.8	2.0
	全体	1,607	100.0	100.0	100.0

SQ(Q10で1～3を選択した人のみお答えください)

あなたは、インターネットをどのようなことに活用していますか。次の中からあてはまる番号全てに○をつけてください。

No.	カテゴリー名	人数	回答数	構成比	H16構成比	H13構成比
1	電子メールの送信	851	445	52.2	62.2	72.5
2	メール情報の受信		282	33.1	39.5	36.3
3	ホームページを開いて情報を入手		709	83.2	80.5	73.6
4	チケット予約や株売買などの買い物		295	34.6	31.0	24.3
5	ホームページを開設し、情報を発信		44	5.2	4.3	4.9
	その他		34	4.0	4.7	0.3
	不明	1	1	0.1	0.2	0.2
	全体	852	1,810	212.4	222.4	212.1

Q11 あなたは日頃、運動・スポーツをしていますか。次の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

No.	カテゴリー名	回答数	構成比	H16構成比	H13構成比
1	現在も継続的にしている	466	29.0	31.2	28.7
2	最近、始めた	80	5.0	3.7	4.8
3	以前はしていたが最近はしていない	626	39.0	37.9	41.4
4	以前も、現在もしていない	406	25.3	26.0	24.5
	不明	29	1.8	1.1	0.6
	全体	1,607	100.0	100.0	100.0

Q12 あなたは日頃、絵画、音楽、映像、演劇などの芸術文化を鑑賞したり、創作や実践することがありますか。次の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

No.	カテゴリー名	回答数	構成比	H16構成比	H13構成比
1	鑑賞し、自分でも創作、実践	151	9.4	10.1	10.7
2	よく鑑賞するが自分では創作しない	268	16.7	15.3	13.6
3	時々鑑賞している	324	20.2	21.5	22.5
4	たまたま鑑賞している	488	30.4	31.5	31.6
5	ほとんど鑑賞しない	346	21.5	20.6	20.8
	不明	30	1.9	1.0	0.8
	全体	1,607	100.0	100.0	100.0

Q13 あなたは日頃、松戸市に在住したり、滞在したりしている外国の方達と親しく接することがどのくらいありますか。次の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

No.	カテゴリー名	回答数	構成比	H16構成比	H13構成比
1	大変よくある	25	1.6	2.2	1.6
2	しばしばある	22	1.4	2.4	2.0
3	ときどきある	131	8.2	5.7	7.4
4	あまりない	241	15.0	11.1	10.9
5	ほとんどない	1,162	72.3	77.8	77.7
	不明	26	1.6	0.9	0.4
	全体	1,607	100.0	100.0	100.0

Q14 あなたは日頃、防災のための準備をしていますか。次の中からあてはまる番号全てに○をつけてください。

No.	カテゴリー名	人数	回答数	構成比	H16構成比	H13構成比
1	消火器の設置	1,129	525	32.7	38.3	31.0
2	家具などの転倒防止		416	25.9	21.3	19.6
3	水や食糧の備蓄		503	31.3	27.0	24.3
4	非常持ち出し用品の確保		459	28.6	28.5	24.8
5	身内との連絡方法の確立		376	23.4	23.6	18.9
6	避難経路や避難場所の確認		437	27.2	29.9	24.4
7	防災訓練などへの参加		209	13.0	14.4	11.0
8	その他		10	0.6	0.4	0.2
9	特に準備はしていない		458	458	28.5	28.5
	不明	20	20	1.2	0.8	0.1
	全体	1,607	3,413	212.4	212.7	192.5

Q15 あなたは、この1年間に買い物などの消費の際にトラブルや被害にあったことがありますか。次の中からトラブルや被害にあった番号全てに○をつけてください。

No.	カテゴリー名	人数	回答数	構成比	H16構成比	H13構成比
1	店頭で購入した商品やサービス	168	83	5.2	5.4	6.6
2	訪問販売で購入した商品やサービス		23	1.4	1.6	2.4
3	通信販売で購入した商品やサービス		37	2.3	1.4	2.2
4	電話勧誘販売での商品やサービス		18	1.1	1.2	1.2
5	その他		28	1.7	2.2	0.3
6	トラブルや被害にあっていない	1,393	1,393	86.7	87.2	86.3
	不明	46	46	2.9	2.1	2.3
	全体	1,607	1,628	101.3	101.1	101.4

Q16 あなたは市役所への問合せや、窓口の手続、サービスの利用などの際、市役所や支所などが身近で便利だと感じていますか。次の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

No.	カテゴリー名	回答数	構成比	H16構成比	H13構成比
1	大変便利だと感じている	114	7.1	9.1	8.1
2	かなり便利だと感じている	167	10.4	12.0	15.1
3	ある程度便利だと感じている	675	42.0	41.2	39.8
4	あまり便利だと感じていない	455	28.3	25.9	25.1
5	ほとんど便利だと感じていない	175	10.9	10.3	11.1
	不明	21	1.3	1.6	0.7
	全体	1,607	100.0	100.0	100.0

Q17 あなたが松戸市で生活する中で、次のことについてどの程度満足しているかについて、次のア～ソまでの各項目ごとに、あなたの考えに最も近い番号それぞれ1つに○をつけてください。

項目		十分満足している	まあまあ満足している	普通である	やや不満である	きわめて不満である	わからない	不明	全体
ア 保健・医療・福祉サービス	回答数	30	198	696	303	183	132	65	1,607
	構成比	1.9	12.3	43.3	18.9	11.4	8.2	4.0	100.0
	H16構成比	3.3	16.4	43.5	16.6	7.2	10.2	2.7	100.0
	H13構成比	3.3	15.4	44.5	14.8	7.8	11.6	2.6	100.0
イ まちの賑わいや買い物の便	回答数	86	385	574	337	160	16	49	1,607
	構成比	5.4	24.0	35.7	21.0	10.0	1.0	3.0	100.0
	H16構成比	6.6	26.6	37.2	18.5	7.8	0.8	2.5	100.0
	H13構成比	7.0	28.5	35.7	18.1	7.6	1.2	2.0	100.0
ウ 通勤・通学などの交通の便	回答数	119	431	586	240	92	54	85	1,607
	構成比	7.4	26.8	36.5	14.9	5.7	3.4	5.3	100.0
	H16構成比	8.3	25.1	34.8	14.9	6.7	4.3	5.9	100.0
	H13構成比	7.6	28.5	31.8	15.6	8.0	3.5	4.9	100.0
エ 子どもの教育環境	回答数	27	146	618	270	130	324	92	1,607
	構成比	1.7	9.1	38.5	16.8	8.1	20.2	5.7	100.0
	H16構成比	1.4	10.1	40.2	14.1	6.7	21.1	6.4	100.0
	H13構成比	2.0	12.7	40.7	11.5	5.9	20.7	6.5	100.0
オ 文化・芸術の鑑賞や活動環境	回答数	13	127	672	318	127	270	80	1,607
	構成比	0.8	7.9	41.8	19.8	7.9	16.8	5.0	100.0
	H16構成比	0.8	9.6	41.8	19.9	6.5	16.3	5.1	100.0
	H13構成比	0.9	10.3	41.4	20.4	5.6	16.3	5.1	100.0
カ スポーツや健康づくりのための環境	回答数	22	164	631	351	162	207	70	1,607
	構成比	1.4	10.2	39.3	21.8	10.1	12.9	4.4	100.0
	H16構成比	1.7	14.3	39.9	19.8	7.2	12.2	5.0	100.0
	H13構成比	1.9	12.7	41.2	19.3	7.1	12.9	4.9	100.0
キ 道路、公園、下水道などの都市施設	回答数	48	239	574	373	276	40	57	1,607
	構成比	3.0	14.9	35.7	23.2	17.2	2.5	3.5	100.0
	H16構成比	3.6	18.7	34.4	22.3	15.3	2.5	3.1	100.0
	H13構成比	3.2	17.3	32.8	23.5	15.2	4.5	3.4	100.0
ク 水道水のおいしさ、安さ	回答数	33	97	584	396	330	116	51	1,607
	構成比	2.1	6.0	36.3	24.6	20.5	7.2	3.2	100.0
	H16構成比	1.1	5.1	33.9	27.6	23.1	6.0	3.1	100.0
	H13構成比	1.1	4.5	30.6	27.2	27.0	6.6	3.0	100.0

項目		十分満足している	まあまあ満足している	普通である	やや不満である	きわめて不満である	わからない	不明	全体
ケ 緑地・河川などの自然環境	回答数	39	254	657	368	174	58	57	1,607
	構成比	2.4	15.8	40.9	22.9	10.8	3.6	3.5	100.0
	H16構成比	1.4	17.0	40.5	23.3	11.4	3.0	3.6	100.0
	H13構成比	2.4	18.7	37.4	24.2	10.7	3.3	3.2	100.0
コ 空気のきれいさ、騒音・悪臭などの公害の少なさ	回答数	31	237	673	391	192	31	52	1,607
	構成比	1.9	14.7	41.9	24.3	11.9	1.9	3.2	100.0
	H16構成比	1.6	14.3	43.3	25.4	10.5	2.2	2.7	100.0
	H13構成比	2.1	14.1	40.6	24.4	14.2	1.9	2.7	100.0
サ まち並み、建物などまち全体の景観	回答数	20	177	685	407	226	44	48	1,607
	構成比	1.2	11.0	42.6	25.3	14.1	2.7	3.0	100.0
	H16構成比	1.4	10.0	46.2	26.8	11.0	2.1	2.5	100.0
	H13構成比	1.9	10.6	47.6	24.1	10.8	2.3	2.7	100.0
シ 住環境のゆとりなどの住宅事情	回答数	26	182	711	402	161	71	54	1,607
	構成比	1.6	11.3	44.2	25.0	10.0	4.4	3.4	100.0
	H16構成比	1.8	12.3	43.1	25.6	9.4	5.2	2.5	100.0
	H13構成比	2.0	11.7	43.2	24.3	10.9	4.7	3.2	100.0
ス 事故や災害に強い安全なまち	回答数	15	86	668	354	192	238	54	1,607
	構成比	0.9	5.4	41.6	22.0	11.9	14.8	3.4	100.0
	H16構成比	0.3	5.7	38.4	25.3	9.6	18.0	2.6	100.0
	H13構成比	1.2	5.9	43.3	21.2	9.1	16.7	2.5	100.0
セ 史跡や神社仏閣など歴史・伝統文化遺産	回答数	42	239	831	167	40	232	56	1,607
	構成比	2.6	14.9	51.7	10.4	2.5	14.4	3.5	100.0
	H16構成比	2.1	15.8	52.4	8.3	2.2	15.8	3.3	100.0
	H13構成比	3.0	17.4	48.8	7.9	1.6	17.1	4.2	100.0
ソ 特色ある祭りや地域ぐるみのイベント	回答数	34	218	768	231	95	208	53	1,607
	構成比	2.1	13.6	47.8	14.4	5.9	12.9	3.3	100.0
	H16構成比	1.5	13.4	48.6	14.5	4.5	13.9	3.7	100.0
	H13構成比	1.7	14.1	49.2	12.8	4.2	13.6	4.4	100.0



Q18 あなたは、これからも松戸市に住み続けたいと思いますか。次の中から、あてはまる番号1つに○をつけてください。

No.	カテゴリー名	回答数	構成比	H16構成比	H13構成比
1	住み続けたい	463	28.8	31.4	31.2
2	できることなら住み続けたい	444	27.6	28.3	27.4
3	どちらともいえない	503	31.3	28.9	29.7
4	あまり住み続けたくない	121	7.5	7.1	6.5
5	住み続けたくない	48	3.0	3.0	3.0
	不明	28	1.7	1.3	2.2
	全体	1,607	100.0	100.0	100.0

### Ⅲ 最後に皆様自身についておたずねします。

F1 あなたの性別をお答えください。(1つに○)

No.	カテゴリー名	回答数	構成比	H16構成比	H13構成比
1	男性	677	42.1	44.6	42.1
2	女性	907	56.4	54.4	55.6
	不明	23	1.4	1.0	2.2
	全体	1,607	100.0	100.0	100.0

F2 あなたの年齢をお答えください。(1つに○)

No.	カテゴリー名	回答数	構成比	H16構成比	H13構成比
1	20～24歳	64	4.0	4.7	5.5
2	25～29歳	100	6.2	7.4	8.4
3	30～34歳	151	9.4	9.8	11.2
4	35～39歳	171	10.6	9.1	8.4
5	40～44歳	125	7.8	7.0	7.6
6	45～49歳	123	7.7	5.7	8.1
7	50～54歳	111	6.9	8.5	10.6
8	55～59歳	196	12.2	11.1	10.2
9	60～64歳	171	10.6	10.6	9.9
10	65～69歳	180	11.2	10.4	8.1
11	70～74歳	125	7.8	7.0	6.1
12	75～79歳	72	4.5	4.1	4.0
13	80歳以上	1	0.1	4.0	0.1
	不明	17	1.1	0.6	1.7
	全体	1,607	100.0	100.0	100.0

F3 あなたの職業をお答えください。(1つに○)

No.	カテゴリー名	回答数	構成比	H16構成比	H13構成比
1	会社員	447	27.8	27.4	32.1
2	公務員	89	5.5	5.2	5.9
3	自営業	125	7.8	9.0	8.9
4	アルバイトやパート	223	13.9	12.4	13.0
5	学生	32	2.0	2.2	2.0
6	その他	43	2.7	3.1	0.7
7	専業主婦	367	22.8	21.2	21.7
8	無職	242	15.1	18.7	13.9
	不明	39	2.4	0.9	1.7
	全体	1,607	100.0	100.0	100.0

SQ(F3で1～6まで選択した方のみお答えください)

あなたの勤務地または通学地をお答えください。(1つに○)

No.	カテゴリー名	回答数	構成比	H16構成比	H13構成比
1	自宅	84	8.8	8.0	8.8
2	松戸市内	268	27.9	24.5	25.1
3	千葉県内	140	14.6	15.8	15.7
4	東京都内	383	39.9	44.1	42.9
5	埼玉県・茨城県	33	3.4	4.1	4.1
6	その他	27	2.8	2.4	2.4
	不明	24	2.5	1.2	1.0
	全体	959	100.0	100.0	100.0

F4 あなたの松戸市在住年数をお答えください。(1つに○)

No.	カテゴリー名	回答数	構成比	H16構成比	H13構成比
1	1年未満	54	3.4	3.7	4.8
2	1年以上5年未満	154	9.6	10.6	12.1
3	5年以上10年未満	162	10.1	10.3	11.2
4	10年以上15年未満	131	8.2	8.5	8.1
5	15年以上20年未満	138	8.6	8.3	8.7
6	20年以上	931	57.9	57.0	52.9
	不明	37	2.3	1.7	2.3
	全体	1,607	100.0	100.0	100.0

F5 あなたの出身地をお答えください。(1つに○)

No.	カテゴリー名	回答数	構成比	H16構成比	H13構成比
1	松戸市	277	17.2	15.2	15.4
2	千葉県	170	10.6	9.4	10.0
3	東京都	390	24.3	27.4	24.1
4	関東地方(千葉県・東京都を除く)	233	14.5	14.5	14.5
5	北海道地方	46	2.9	3.1	2.7
6	東北地方	147	9.1	8.7	9.9
7	中部地方	101	6.3	5.7	7.4
8	近畿地方	66	4.1	4.3	3.6
9	中国・四国地方	67	4.2	3.8	3.6
10	九州・沖縄地方	71	4.4	5.5	5.5
11	海外	2	0.1	0.5	0.3
	不明	37	2.3	1.9	3.1
	全体	1,607	100.0	100.0	100.0

F6 あなたの家族構成をお答えください。(1つに○)

No.	カテゴリー名	回答数	構成比	H16構成比	H13構成比
1	ひとり世帯	149	9.3	9.7	12.1
2	夫婦のみ世帯	411	25.6	26.7	23.7
3	親と子世帯で中学生以下の子供	305	19.0	17.9	17.5
4	親と子世帯で3以外の世帯	566	35.2	29.7	33.0
5	親と子と孫の3世帯以上、中学生以下	46	2.9	3.1	4.2
6	親と子と孫の3世帯以上、5以外世帯	49	3.0	3.1	4.2
7	その他	37	2.3	7.7	2.4
	不明	44	2.7	2.1	3.0
	全体	1,607	100.0	100.0	100.0

F7 あなたが今、興味や関心をお持ちのことについてお答えください。(3つまで○)

No.	カテゴリー名	人数	回答数	構成比	H16構成比	H13構成比
1	家族の日常生活	1,512	718	44.7	41.6	36.2
2	友人との交流などの友人関係		360	22.4	24.4	22.5
3	近所の人たちとの交流		194	12.1	14.2	11.2
4	地域の住み易さなど生活環境		401	25.0	25.8	19.7
5	昇進や収入など仕事や職場		292	18.2	18.5	20.2
6	不況、失業や低金利などの経済		279	17.4	22.2	36.9
7	公的年金や医療保障など社会福祉		898	55.9	52.2	45.2
8	子供の教育環境などの教育関係		364	22.7	16.0	16.6
9	貧困や民族紛争などの国際問題		119	7.4	10.6	16.7
10	地球温暖化や自然破壊など地球環境		474	29.5	25.6	23.7
11	外国人の世話などの国際交流		27	1.7	1.7	1.8
12	その他		37	2.3	2.1	0.7
13	特になし		45	45	2.8	1.9
	不明	50	50	3.1	1.8	3.8
	全体	1,607	4,258	265.0	258.6	257.9

F8 あなたが通勤・通学以外で日常的にお出かけになる範囲についてお答えください。(1つに○)

No.	カテゴリー名	回答数	構成比	H16構成比	H13構成比
1	隣近所	53	3.3	3.2	3.6
2	町会程度	22	1.4	1.4	1.7
3	近隣町会程度	68	4.2	4.7	4.5
4	松戸市内程度	524	32.6	38.5	35.2
5	千葉県内	434	27.0	21.4	23.1
6	東京都内	405	25.2	24.7	25.3
7	その他	48	3.0	3.1	2.6
	不明	53	3.3	2.9	3.9
	全体	1,607	100.0	100.0	100.0

F9 あなたの通勤・通学を含め、お出かけの時に利用する主な交通手段をお答えください。(2つまで○)

No.	カテゴリー名	人数	回答数	構成比	H16構成比	H13構成比
1	電車	1,559	1,043	64.9	67.0	67.0
2	バス		241	15.0	16.4	16.7
3	タクシー		39	2.4	1.9	2.0
4	自家用車		675	42.0	39.9	40.2
5	オートバイ・スクーター		40	2.5	2.4	2.8
6	自転車		370	23.0	22.7	21.7
7	徒歩		217	13.5	13.7	14.0
8	その他		4	0.2	0.3	0.2
	不明	48	48	3.0	2.9	3.3
	全体	1,607	2,677	166.6	167.2	168.1

F10 あなたは、松戸市の行政情報を主に何によって入手しているかお答えください。(2つまで○)

No.	カテゴリー名	人数	回答数	構成比	H16構成比	H13構成比
1	テレビ・ラジオ	1,371	162	10.1	7.8	6.7
2	新聞・雑誌		287	17.9	22.2	23.3
3	広報誌(広報まつど)		1,175	73.1	78.8	76.7
4	松戸市のホームページ		149	9.3	8.9	4.8
5	各種パンフレット		134	8.3	7.8	9.0
6	町会などでの集会や会合		123	7.7	9.4	8.1
7	市が主催する説明会など		8	0.5	1.0	0.7
8	その他		32	2.0	1.2	1.1
9	特にない	196	196	12.2	10.7	11.5
	不明	40	40	2.5	1.5	2.8
	全体	1,607	2,306	143.5	149.3	144.7

F11 あなたは、納めた税金などの対価として提供された市の行政サービスについて、どのように感じているかお答えください。(1つに○)

No.	カテゴリー名	回答数	構成比	H16構成比	H13構成比
1	非常に満足している	10	0.6	0.7	1.0
2	まあまあ満足している	171	10.6	16.2	15.1
3	どちらともいえない	573	35.7	40.6	41.9
4	あまり満足していない	495	30.8	25.8	26.1
5	ほとんど満足していない	306	19.0	14.1	12.6
	不明	52	3.2	2.7	3.4
	全体	1,607	100.0	100.0	100.0

(地区)

No.	カテゴリー名	回答数	構成比	H16構成比	H13構成比
1	本庁	449	27.9	24.9	27.3
2	常盤平	307	19.1	19.4	18.4
3	小金	146	9.1	8.7	9.2
4	小金原	99	6.2	7.1	7.0
5	六実	94	5.8	6.0	6.5
6	馬橋	130	8.1	8.9	7.3
7	新松戸	200	12.4	13.7	12.2
8	矢切	95	5.9	5.6	5.6
9	東部	87	5.4	5.6	6.5
	不明	0	0.0		
	全体	1,607	100.0	100.0	100.0

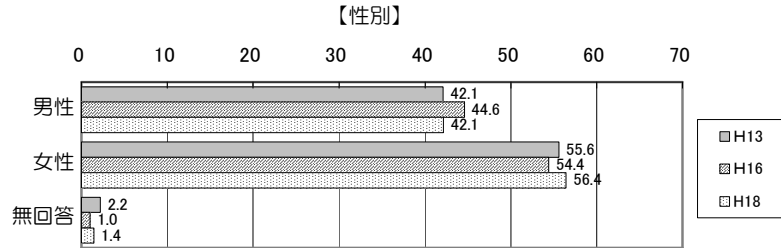
### 3 市民意識調査の回答者の特性





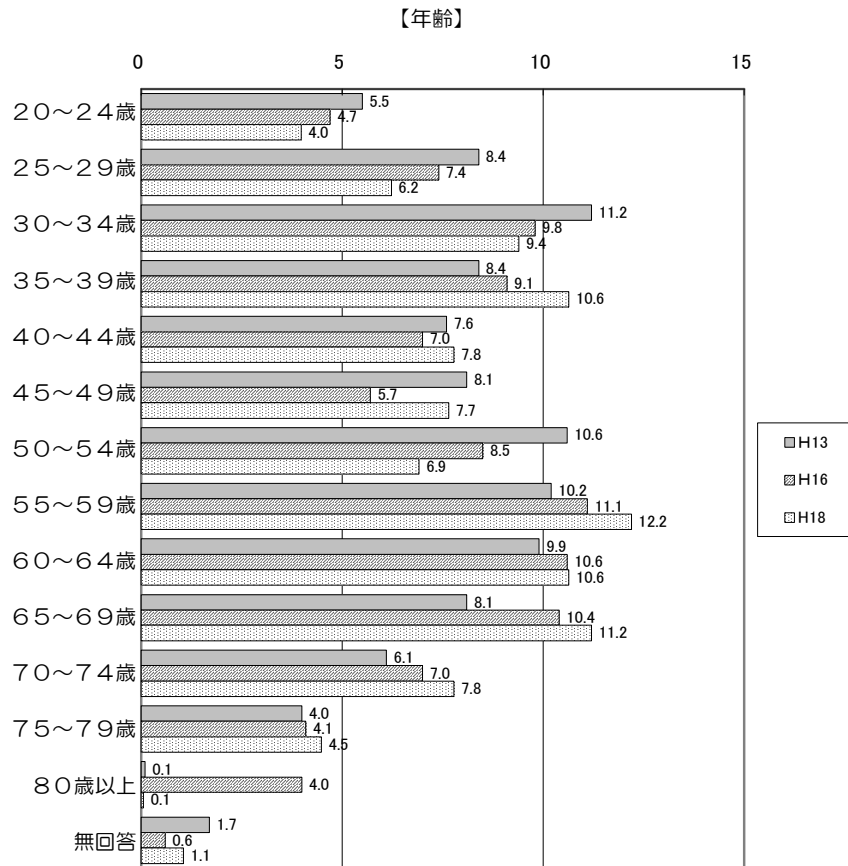
### 3-1 性別

性別をみると、“女性”の割合が高い結果となっている。



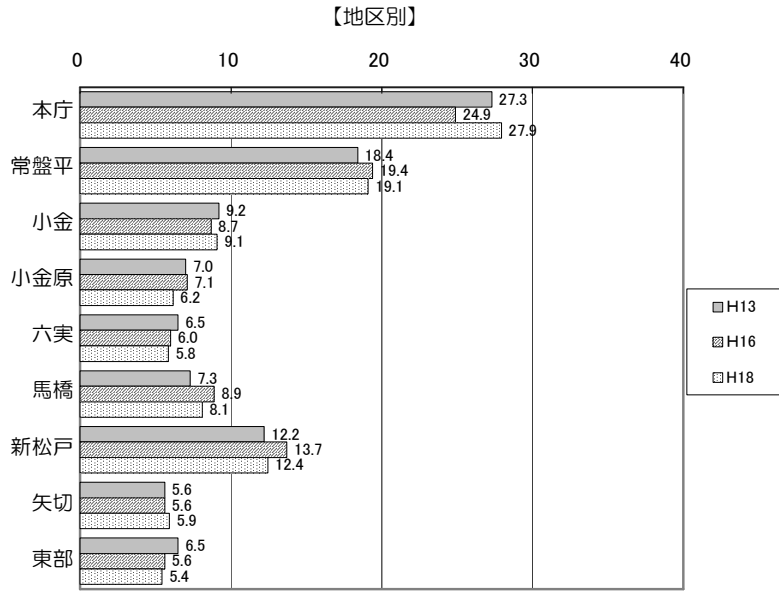
### 3-2 年齢

年齢は、前回、前々回に比べると“35～39歳”、“55～59歳”、“65～69歳”、“70～74歳”の割合が増加しており、“20～24歳”、“25～29歳”、“30～34歳”の割合は減少している。



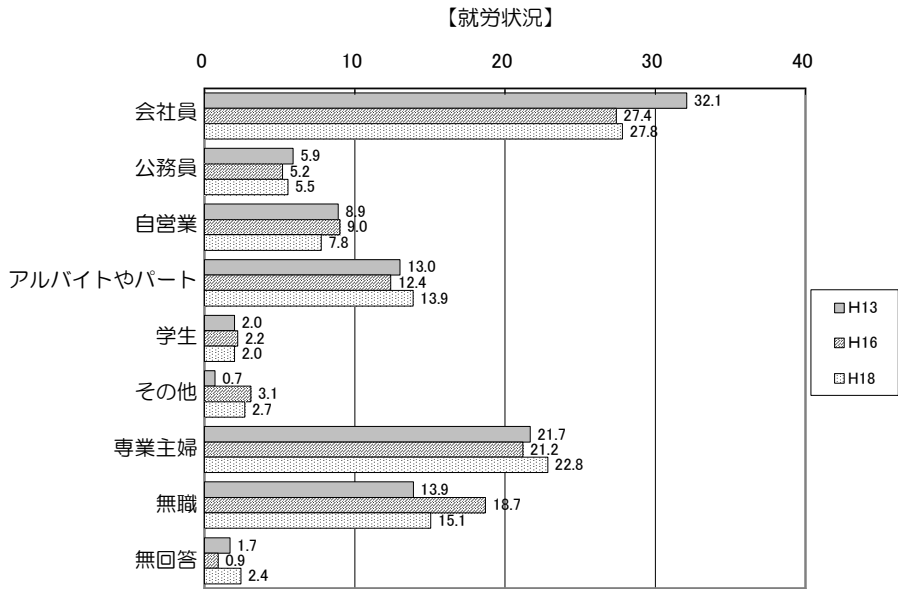
### 3-3 地区別

地区(支所管区)別では、“本庁”が3割弱と最も多く、次いで“常盤平”、“新松戸”となっている。前回の傾向もほぼ同様である。

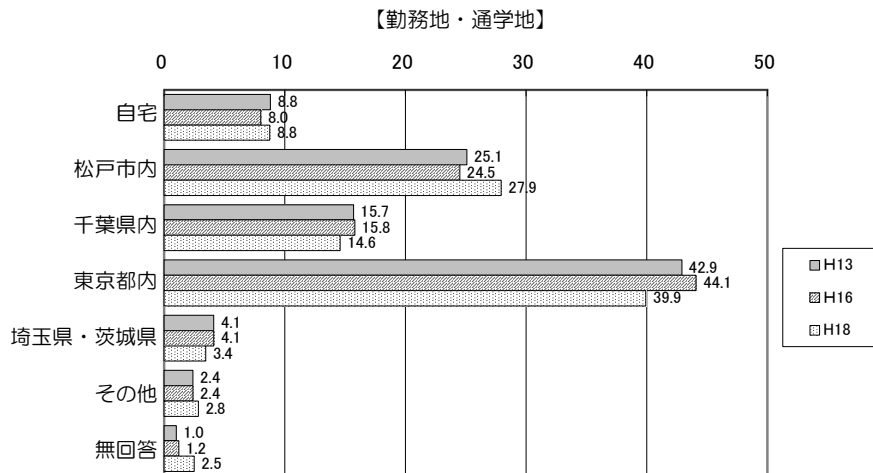


### 3-4 就労状況

就労状況は“会社員”が最も多く、次いで“専業主婦”、“無職”の順となっている。前回に比べると“無職”の割合が減っている。

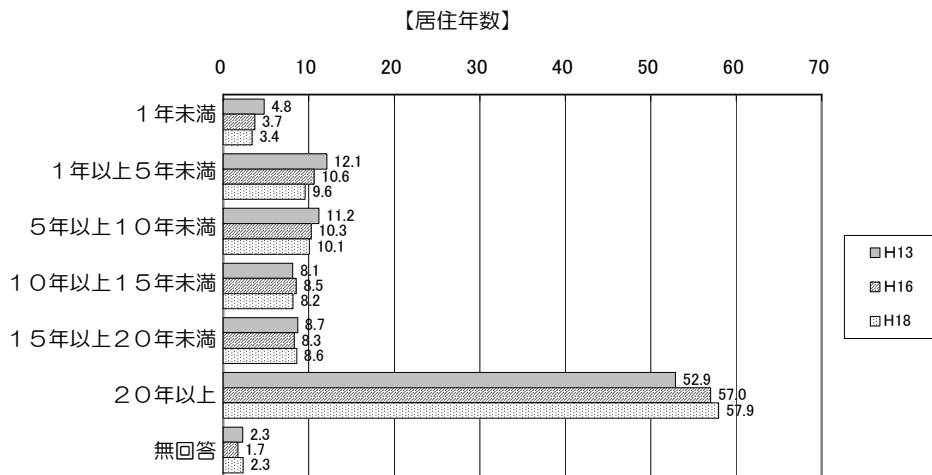


就労・就学している人の通勤地・通学地は、“東京都内”が最も多く、次いで“松戸市内”、“千葉県内”の順で続いている。前回に比べると“東京都内”がやや減少し、“松戸市内”が若干増加している。



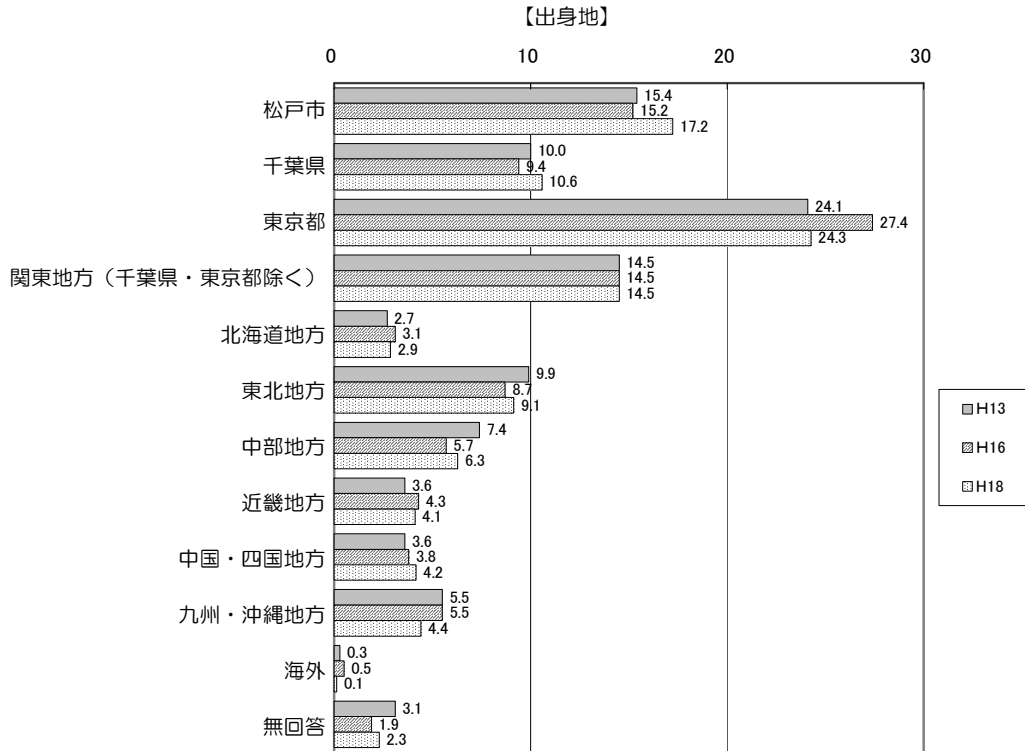
### 3-5 居住年数

居住年数については、“20年以上”が半数以上を占めている。前回と大きな差はみられない。



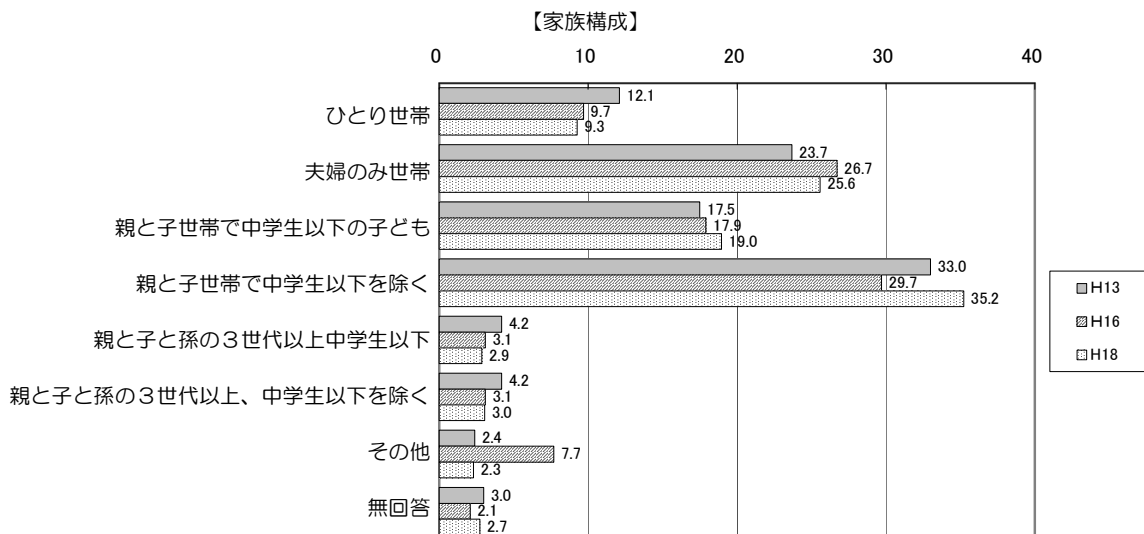
### 3-6 出身地

出身地については、“東京都”が最も多く、次いで“松戸市”、“関東地方(千葉県・東京都除く)”の順が続いている。前回との比較では、“東京都”がやや減少し、“松戸市”が僅かながら増加している。



### 3-7 家族構成

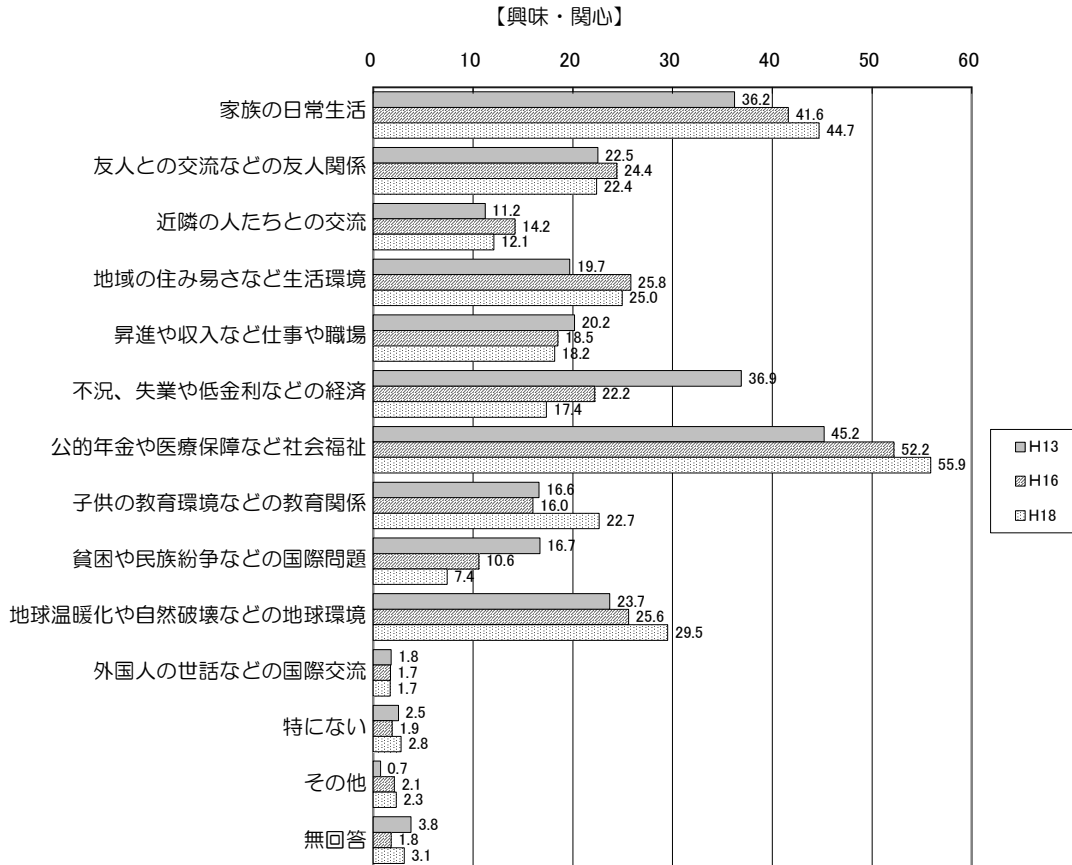
家族構成をみると、“親と子世帯で中学生以下を除く”が最も多く、次いで“夫婦のみ世帯”、“親と子世帯で中学生以下の子ども”の順となっている。前回との比較では、最も多い“親と子世帯で中学生以下を除く”が5ポイント程度増加している。



### 3-8 興味・関心（複数回答）

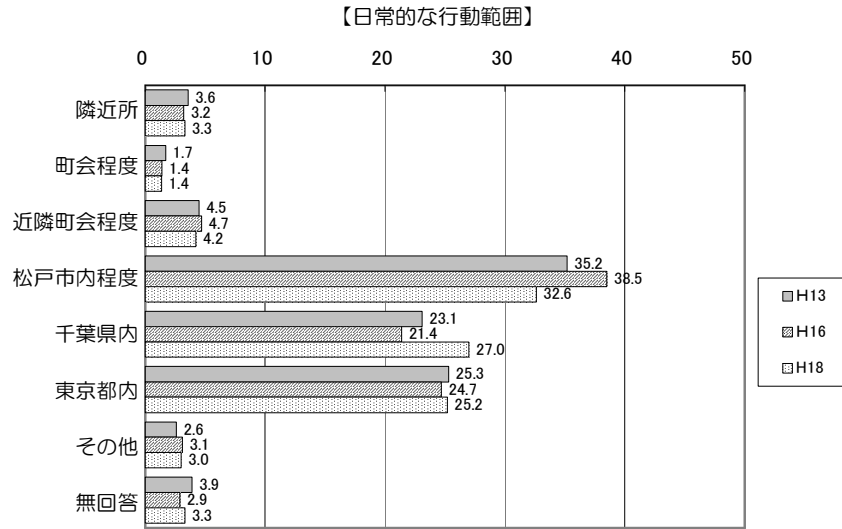
興味や関心については、“公的年金や医療保障など社会福祉”、“家族の日常生活”、“地球温暖化や自然破壊などの地球環境”の順となっている。

前回、前々回との比較では、“公的年金や医療保障など社会福祉”、“家族の日常生活”、“地球温暖化や自然破壊などの地球環境”、“子供の教育環境などの教育関係”が増加し、“不況、失業や低金利などの経済”、“貧困や民族紛争などの国際問題”が減少している。



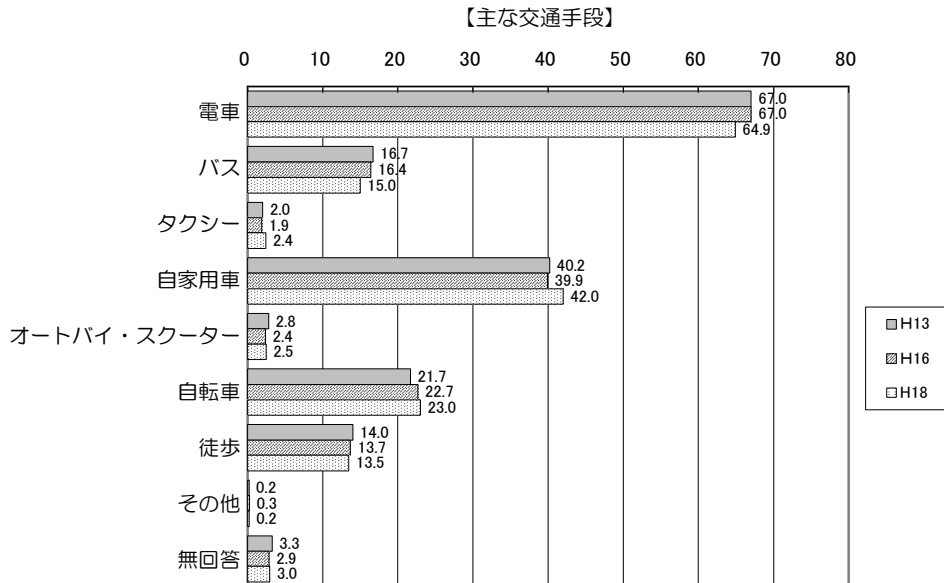
### 3-9 日常的な行動範囲

日常的な行動範囲をみると、“松戸市内程度”が最も多く、次いで“千葉県内”、“東京都内”の順となっている。前回との比較では、“松戸市内程度”がやや減少し、“千葉県内”がやや増加している。



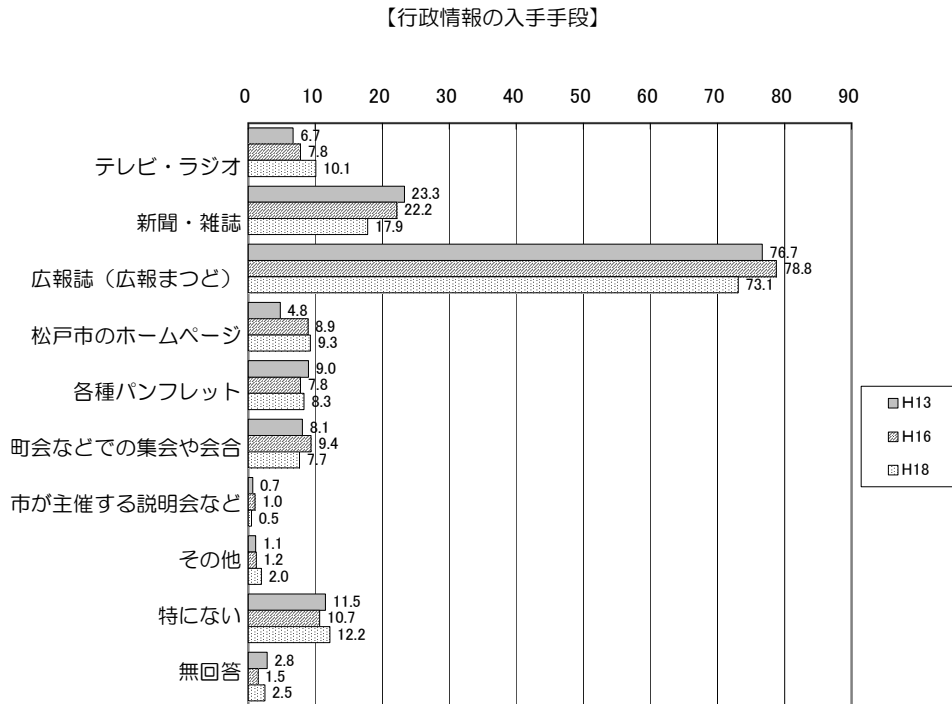
### 3-10 主な交通手段（複数回答）

主な交通手段については“電車”が最も多く、“自家用車”、“自転車”がこれに続いている。前回との比較でもほぼ同様の傾向となっている。



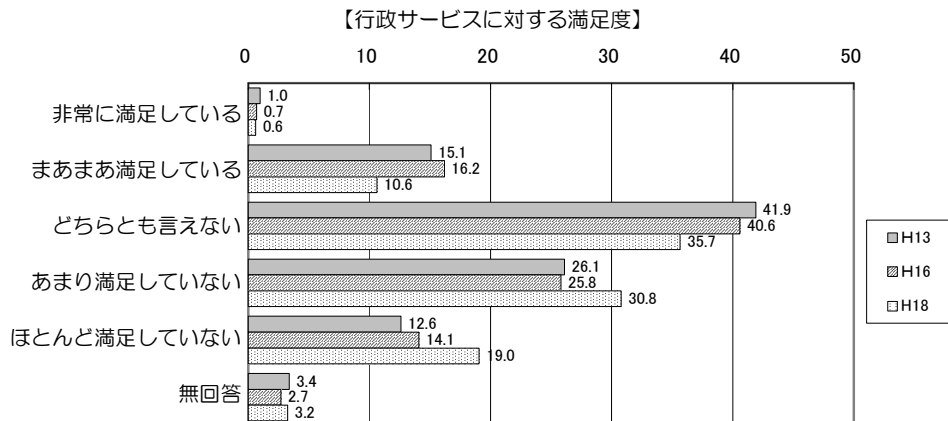
### 3-1-1 行政情報の入手手段（複数回答）

行政情報の入手手段については、“広報誌（広報まつど）”が圧倒的に多くなっており、次いで“新聞・雑誌”があげられている。また、前回との比較でもほぼ同様の傾向であるが、“広報誌（広報まつど）”、“新聞・雑誌”がやや減少している。



### 3-1-2 行政サービスに対する満足度

行政サービスに対する満足度については、「どちらとも言えない」が最も多く、次いで“あまり満足していない”となっている。前回との比較では、“まあまあ満足している”、“どちらとも言えない”が減少し、“あまり満足していない”、“ほとんど満足していない”など不満度が増加している。







## 4 市民意識調査に基づく 「指標の現状（値）」



## 4-1 指標の現状（値）



## 1) 第1節 連携型地域社会の形成

目的:市民が互いを尊重し、住み続けたいと思うまちになる

指標:松戸に住み続けたいと思う人の割合

### ① 目的

一人ひとりが、個性や生き方を自由に選択し、自らの能力を発揮すること。また、その能力を地域社会に還元することにより、誰もが住みやすい環境形成を図ることを目的とした。

### ② 指標

誰もが住みやすい環境形成が実現できれば、今後も住み続けたいと思う意向が強くなると考える。これにより、住みやすい環境形成が図れたかどうかの成果が図れる。

### ③ 設問

この指標は、次の設問により直接的に聞いている。「個人・意向」

あなたは、これからも松戸市に住み続けたいと思いますか。(1つQ)

- 1 住み続けたい                      2 できることなら住み続けたい      3 どちらとも言えない  
4 あまり住み続けたくない      5 住み続けたくない

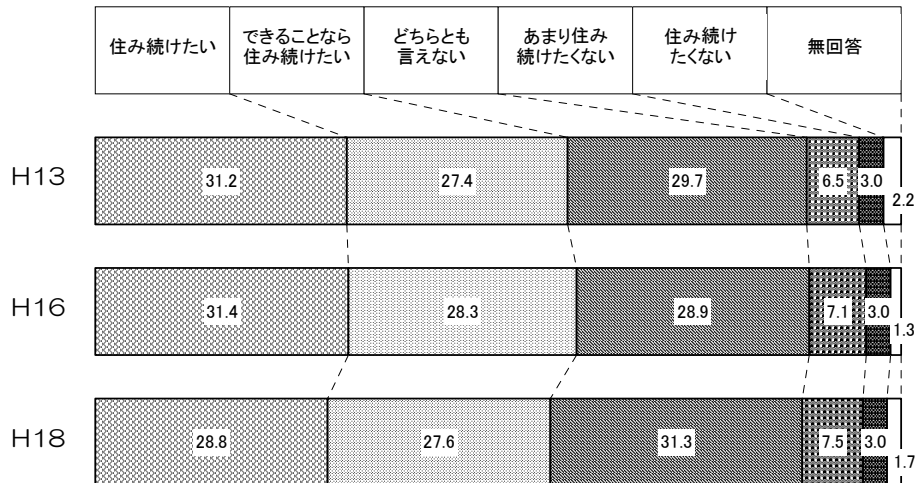
### ④ 指標の現状

カテゴリー	H13年度	H16年度	H18年度	H19年度(目標値)
住み続けたい	31.2%	31.4%	28.8%	
できることなら住み続けたい	27.4%	28.3%	27.6%	
計	58.6%	59.7%	56.4%	62.0%

## ⑤ 指標の分析

### ◆ 前回に比べ、定住意向に関する意識は僅かであるが減少している

“住み続けたい”および“できれば住み続けたい”のいずれの回答も、前回より僅かながら減少しており、平成 19 年度目標値を 5.6 ポイント下回っている。一方、“どちらとも言えない”はやや増加、“あまり住み続けたくない”と“住み続けたくない”は横ばいとなっている。総じて定住の意思を示す人の割合が多いなか、“どちらとも言えない”と保留する人の割合も全体の3割程度存在している。



次に、年齢別にみると、“住み続けたい”と“できることなら住み続けたい”という意向が年齢に比例して上昇する傾向は変わらないものの、全ての年齢層において僅かながら減少する傾向がみられる。一方、“あまり住み続けたくない”と“住み続けたくない”については、20 歳代での減少と 70 歳以上での増加がやや目立っている。

【年齢別定住意向】

	“住み続けたい”と“できることなら住み続けたい”の合計比率	“どちらとも言えない”の比率	“あまり住み続けたくない”と“住み続けたくない”の合計比率	
20～29歳	H13	45.3	42.2	12.4
	H16	42.4	38.1	19.4
	H18	40.5	47.2	12.3
30～39歳	H13	48.3	37.2	14.5
	H16	49.1	36.9	14.0
	H18	44.8	38.2	16.9
40～49歳	H13	53.8	33.9	12.4
	H16	50.0	37.5	12.5
	H18	48.0	40.3	11.7
50～59歳	H13	62.6	31.0	6.4
	H16	61.4	28.3	10.3
	H18	60.0	28.9	11.1
60～69歳	H13	74.4	18.7	6.9
	H16	73.6	20.5	5.9
	H18	70.6	24.2	5.2
70歳以上	H13	80.9	14.8	4.3
	H16	78.8	19.4	1.8
	H18	76.4	16.4	7.2

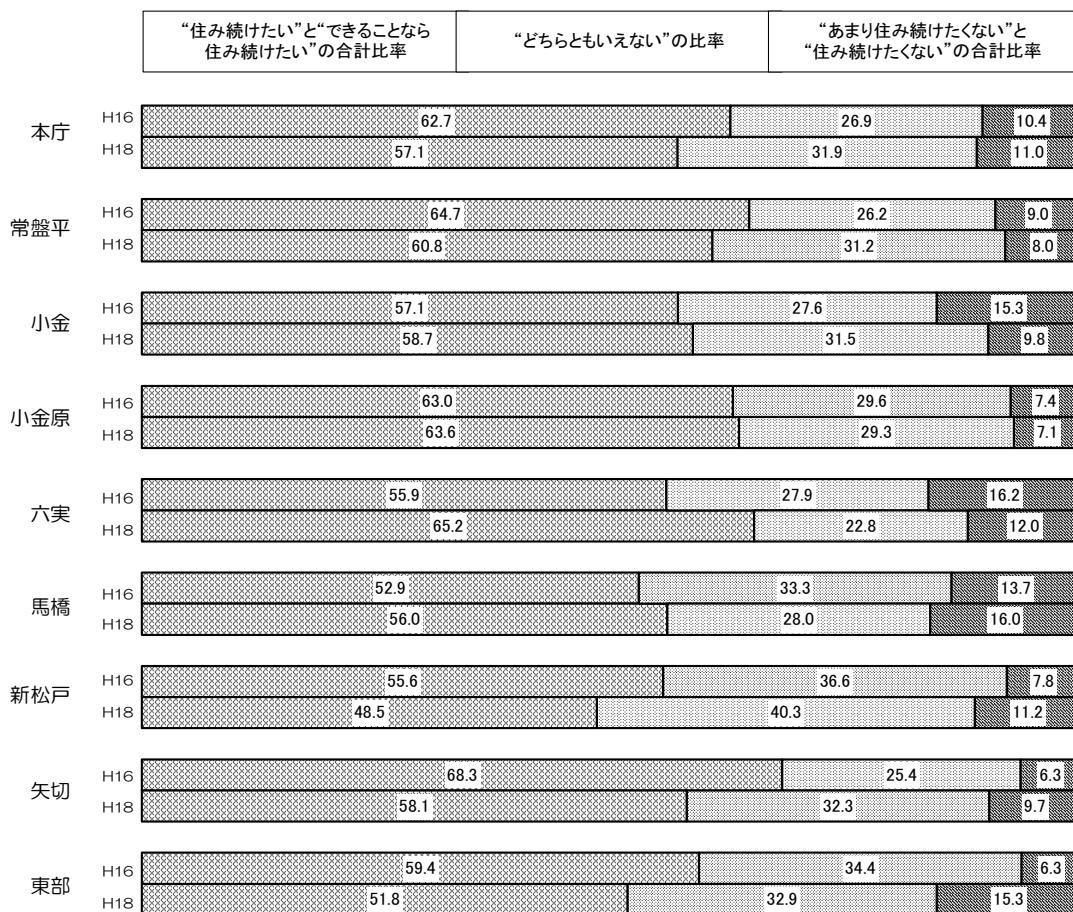
また、居住年数別にみると、居住年数が長くなるにつれて定住意向が強くなる傾向は前回と同様であるものの、前回と比べると、10年以上15年未満および20年以上の人で“住み続けたい”と“できることなら住み続けたい”という意向が減少し、“あまり住み続けたくない”と“住み続けたくない”との意向が増加しているのが目立っている。

【松戸市在住年数別定住意向】

		“住み続けたい”と“できることなら 住み続けたい”の合計比率	“どちらともいえない”の比率	“あまり住み続けたくない”と “住み続けたくない”の合計比率
1年未満	H13	44.2	40.3	15.6
	H16	38.1	42.9	19.0
	H18	37.0	44.4	18.5
1年以上 5年未満	H13	39.5	44.1	16.4
	H16	41.7	35.8	22.5
	H18	37.7	44.4	17.9
5年以上 10年未満	H13	39.7	40.2	20.1
	H16	41.7	39.1	19.1
	H18	48.1	36.9	15.0
10年以上 15年未満	H13	53.4	33.6	13.0
	H16	50.0	38.5	11.5
	H18	46.5	36.4	17.1
15年以上 20年未満	H13	55.1	36.2	8.7
	H16	52.6	32.6	14.7
	H18	55.1	35.3	9.6
20年以上	H13	72.0	23.0	5.0
	H16	71.5	23.5	4.9
	H18	65.1	27.4	7.5

地区別にみると、新松戸地区を除き“住み続けたい”と“できることなら住み続けたい”が半数以上を占めている。前回と比べると六実地区は 10 ポイント近く増加しているのに対し、矢切地区は 10 ポイント強減少しているのが目立っている。

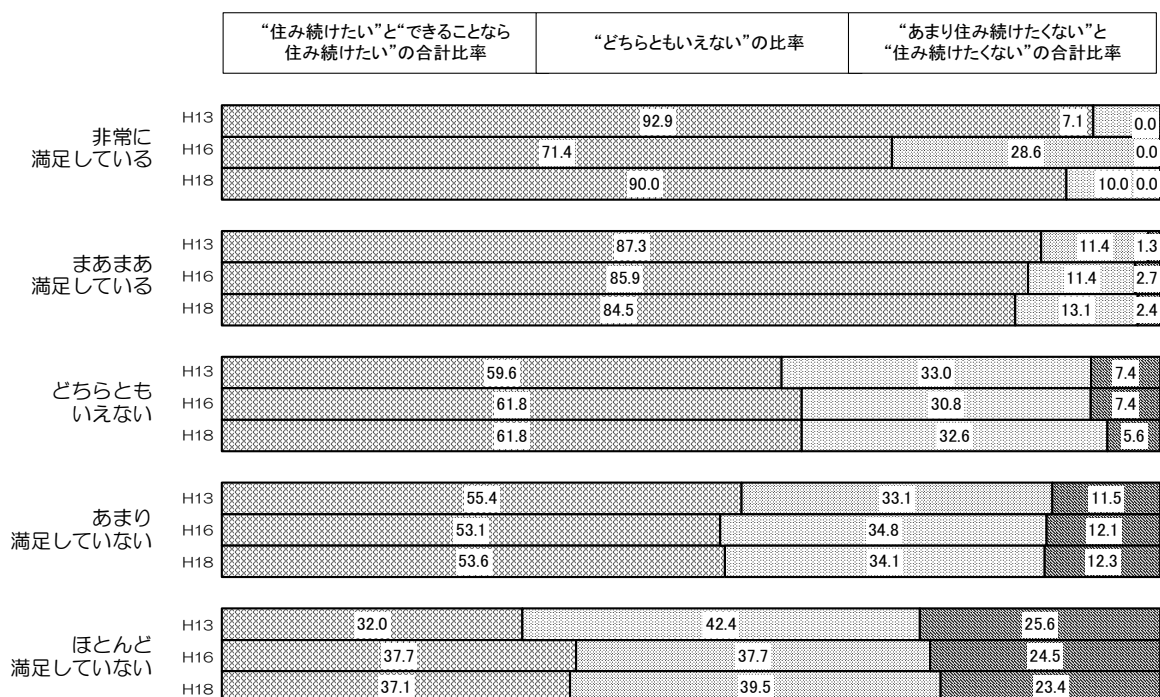
【地区別定住意向】





さらに、現在の行政サービスの満足度との関係を見ると、満足している人は住み続けたいとの意向が多数を占めるのに対し、満足していない人ほど、住み続けたくないという傾向も強まるが、住み続けたいとの回答を上回るには至っておらず、行政サービスだけで定住を判断しているわけではないといえる。

【税金の対価サービス満足度別定住意向】



## 2) 第1節 連携型地域社会の形成 第1項 人権を尊重する社会の実現

目的:さまざまな人権侵害がなくなり、一人ひとりの個性や生き方がより尊重されるようになる

指標:身の回りで人権が守られていると思っている人の割合

### ① 目的

人権尊重の理念が日々の暮らしのなかに活かされ、すべての人が差別や偏見による人権侵害を受けることのない、市民の誰もが、かけがえのない人間として尊重され、いきいきと生活できるまちになることが重要であると考えます。

### ② 指標

差別や偏見などに代表される人権問題は、問題を他人ごととして捉えられがちな傾向や、被害にあった方々が声を出しにくい環境などから、その実態を正確なデータとして捉えることは難しい状況にあります。このことから、身の回りで人権が守られていると思っている人が増えることにより、一人ひとりの個性や生き方がより尊重され、今以上に市民がいきいきと生活できることを目指します。

### ③ 設問

この指標は、次の設問により直接的に聞いている。「社会・態度（認知）」

あなたの身の回りでは人権が守られていると思いますか。次の中で、人権が守られていないと日頃感じることはありますか。（全てに○）

- |            |            |              |
|------------|------------|--------------|
| 1 女性の人権問題  | 2 子どもの人権問題 | 3 高齢者の人権問題   |
| 4 障害者の人権問題 | 5 同和問題     | 6 外国籍市民の人権問題 |
| 7 患者の人権問題  | 8 その他（ ）   | 9 人権問題は特にない  |

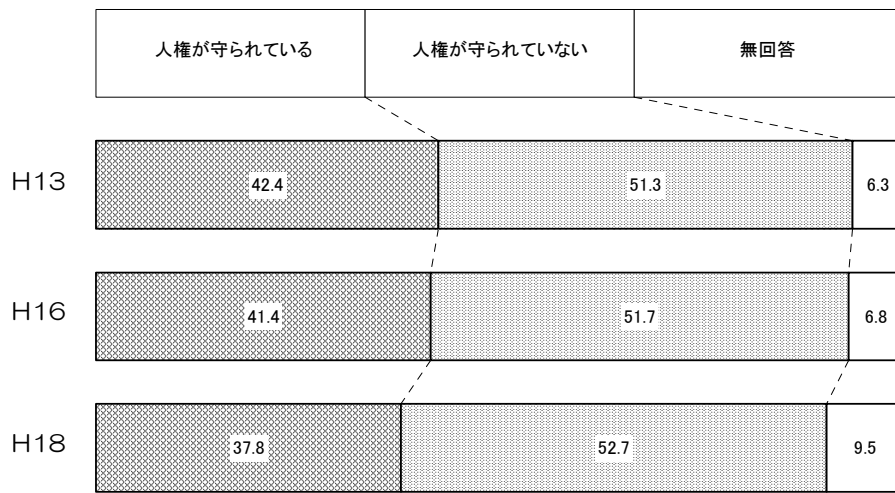
### ④ 指標の現状

カテゴリー	H13年度	H16年度	H18年度	H19年度（目標値）
人権問題は特にない	42.4%	41.4%	37.8%	45.0%

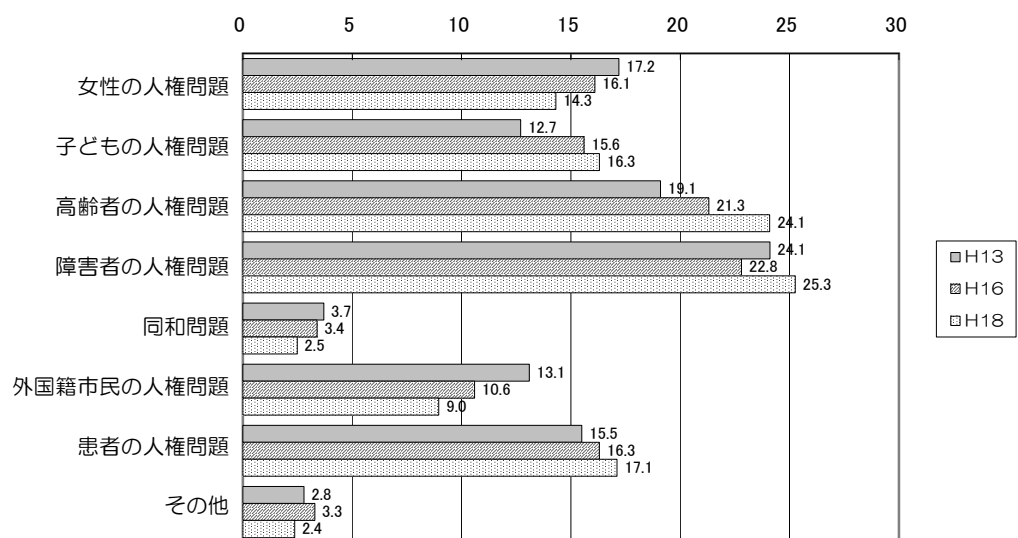
## ⑤ 指標の分析

### ◆ 市民の約半数が、人権に関する問題意識を持っている

“人権問題は特にない”と、人権が守られていると感じている人の割合については、前回より3.6%と僅かながら減少している。平成19年度目標値に対しては、7.2ポイント下回る結果となっている。人権問題に関する啓発や取り組みも進むなか、人権意識が高まることにより、人権問題の存在がクローズアップされた結果であるともみることができる。全体では、“人権が守られていない”が“人権が守られている”を上回る傾向となっており、回答の約半数程度が人権に対する問題意識を持っている傾向が続いている。

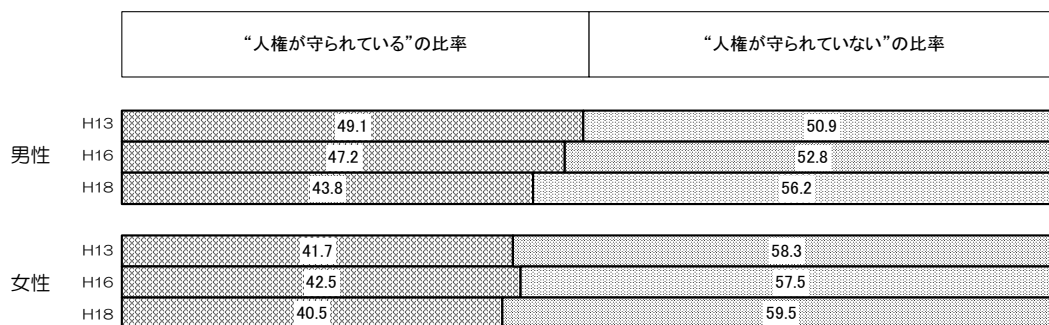


人権問題の存在については、“子どもの人権問題”、“高齢者の人権問題”、“障害者の人権問題”、“患者の人権問題”について、前回に比べ多くの回答が集まる結果となった。特に“高齢者の人権問題”と“障害者の人権問題”については、市民の約4人に1人が問題意識を持っている結果となっている。



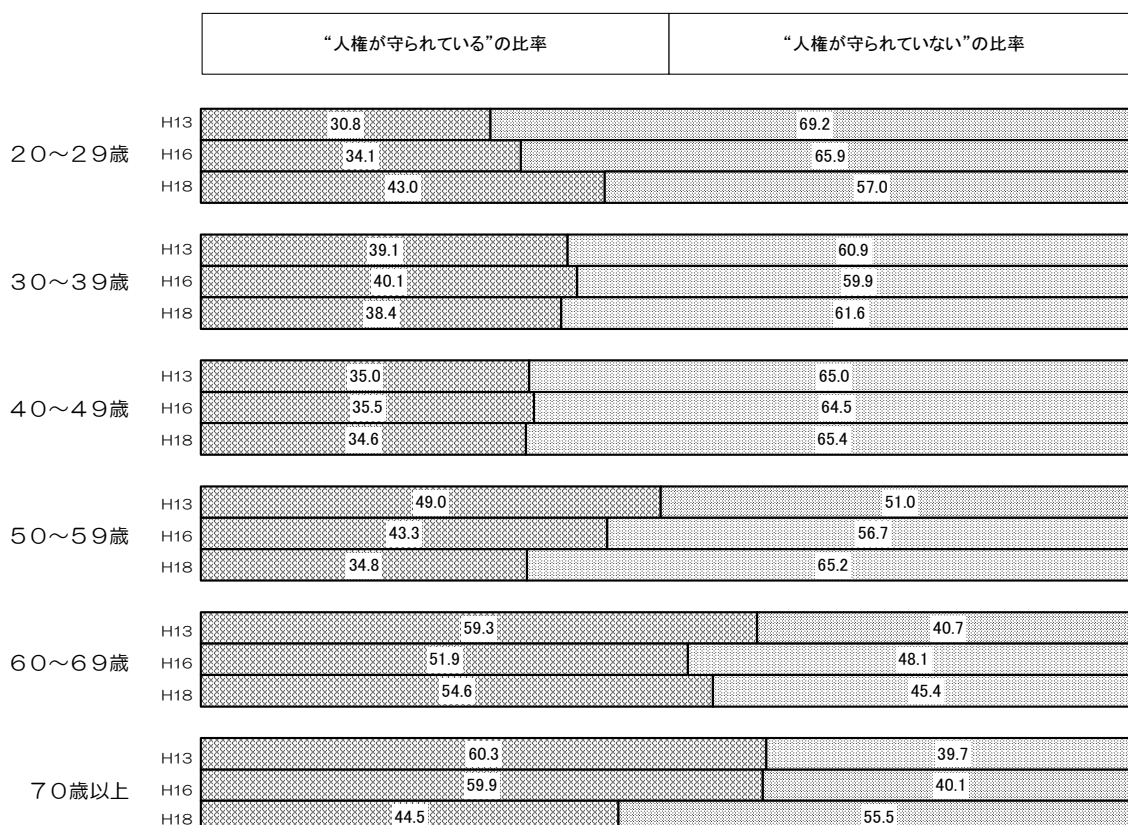
性別で見ると、“人権が守られている”との意識は、前回同様女性に比べ男性の方が高くなっているが、前回に比べると、男性、女性とも比率はやや減少している。

【性別人権問題】



年齢別にみると、20歳代で“人権が守られている”との意識が前回より10ポイント近く増加しているのに対し、50歳代や70歳以上は大幅に減少となっている。

【年齢別人権問題】



### 3) 第1節 連携型地域社会の形成 第2項 男女共同参画社会づくり

目的:性別に係わらず、社会・家庭での役割が、今以上に選択できるようになる

指標:性別による役割固定を支持しない人の割合

#### ① 目的

「性別に係わらず、役割を選択できるような社会」を実現するためには、「男性は仕事、女性は家庭と子育て」などの固定的な男女の役割意識から脱却することが必要です。男女の人権が等しく尊重され、社会参加意欲にあふれた女性が自らの選択によっていきいきと活躍でき、男性も地域、職場、家庭で人間らしい生き方を楽しめ、お互いが支えあい、利益も責任も分かちあえる、バランスのとれた社会となることが重要であると考えます。

#### ② 指標

固定的な男女の役割意識が払拭されていくことで、家庭環境、社会環境が改善され、性別に係わらず役割が今以上に選択できるようになると考えます。そこで、性別による役割固定を支持しない人の割合を増やしていくことを目指します。

#### ③ 設問

この指標は、次の設問により直接的に聞いている。「個人・態度（認知）」

「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはこの考え方に同感する方ですか、それとも同感しない方ですか。（1つに○）

1 同感する方      2 どちらともいえない      3 同感しない方      4 わからない

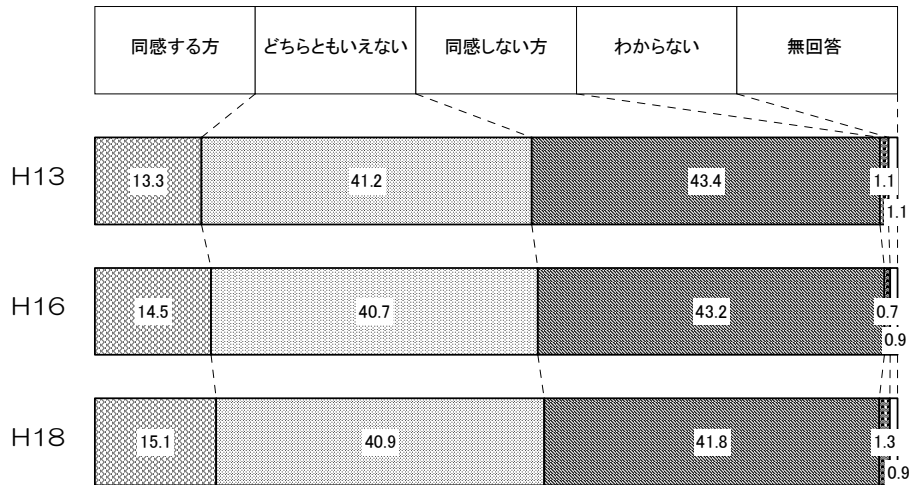
#### ④ 指標の現状（値）

カテゴリー	H13年度	H16年度	H18年度	H19年度（目標値）
同感しない方	43.4%	43.2%	41.8%	45.0%

#### ⑤ 指標の分析

##### ◆ 前回から僅かに減少した、男女共同参画に関する意識

「男は仕事、女は家庭」という役割固定に“同感しない方”は、前回から僅かに減少しているが、最も多い回答となっている。平成19年度目標値には3.2ポイント及ばないものの、男女共同参画等、人権にもかかわる施策の効果としてあらわれるまでには、地道で息の長い取り組みを進めていく必要があると考えられる。“どちらともいえない”とする回答も前回とほぼ同程度で多くあがっていることから、意識啓発等を継続していく必要性が高いと考えられる。



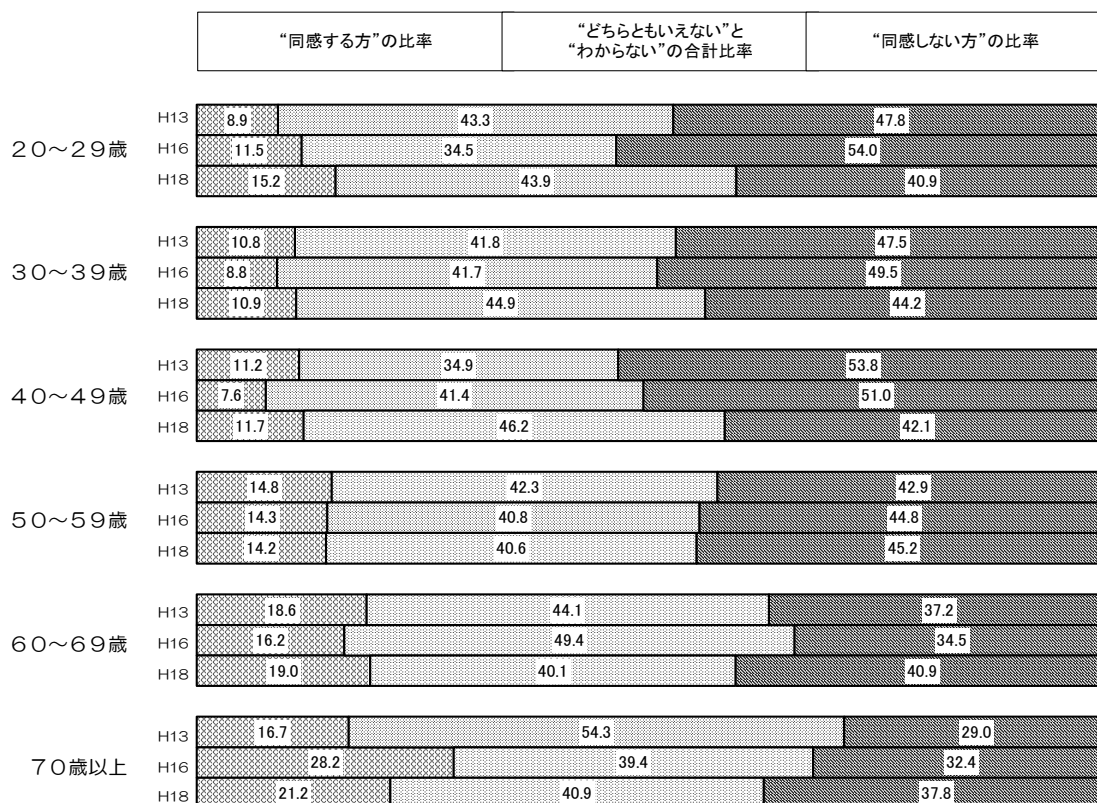
性別でみると、役割固定に同感しない人は、女性の方が高い傾向にあるものの、前回に比べると若干減少している。一方、同感する人は男性の方が高い傾向が続いている。

【性別と性別による役割】

	“同感する方”の比率	“どちらともいえない”と “わからない”の合計比率	“同感しない方”の比率	
男性	H13	17.6	43.5	38.9
	H16	20.0	40.3	39.7
	H18	20.5	40.7	38.8
女性	H13	10.3	41.9	47.9
	H16	10.0	43.1	46.8
	H18	11.3	43.7	45.0

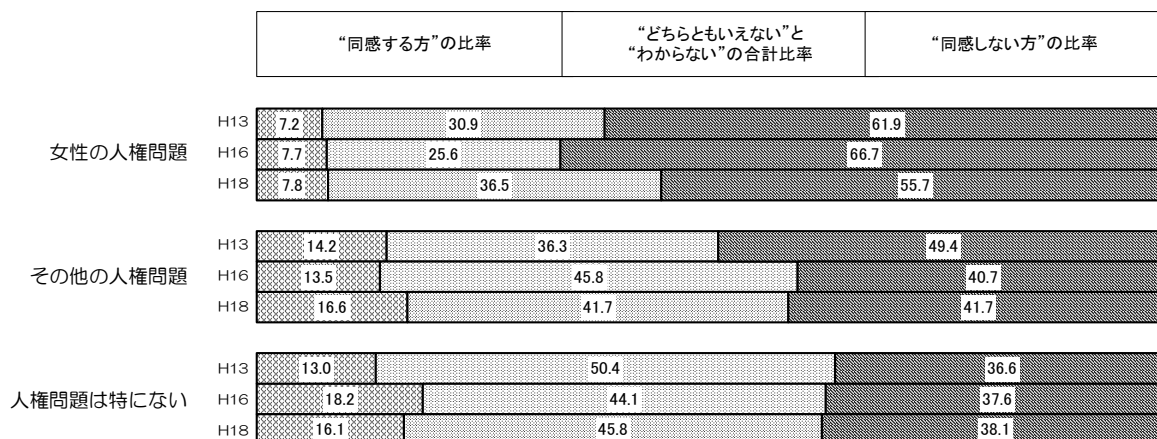
年齢別にみると、“同感しない方”については、前回と比べ 20 歳代から 40 歳代の減少が目立っており、これらの年代では“同感する方”との比率も増加している。

【年齢別性別による役割】



人権との関係を見ると、女性の人権問題が守られていないと感じる人の方が、同感しない傾向が高くなることが、前回と同様あらわれている。男女共同参画に関わる問題が、女性の人権と密接に結びついた問題として意識されている様子がうかがえる。

【人権問題の認識別性別による役割】



#### 4) 第1節 連携型地域社会の形成 第3項 市民と行政のパートナーシップの強化

目的: 市民主体の地域づくりが活発になる

指標: 地域活動に参加している人の割合

##### ① 目的

市民と行政のパートナーシップを強化していくためには、市民一人ひとりが社会に貢献しようという意識を持ち、自らに合った活動の場を見つけ出すことにより、市民による主体的な地域づくりが活発になることが重要であると考えます。

##### ② 指標

市民が、企業、NPO法人、ボランティア団体、町会、自治会などの一員として社会に貢献するという意志をもち、積極的に地域活動に参加することにより、市民主体の地域づくりが活発になることを目指します。

##### ③ 設問

この指標は、次の設問により地域を限定すると共に、積極性を加味し、直接的に聞いている。「社会・行動」

あなたは、市内で地域に貢献する活動を行っている団体、組織やグループの活動に、日頃積極的に参加していますか。(全てに○)

- |                    |            |             |
|--------------------|------------|-------------|
| 1 町会・自治会           | 2 ボランティア団体 | 3 PTA       |
| 4 NPO法人(特定非営利活動法人) | 5 子ども会育成会  | 6 企業による奉仕活動 |
| 7 有志・仲間との奉仕活動      | 8 その他( )   |             |
| 9 積極的に参加しているものはない  |            |             |

##### ④ 指標の現状

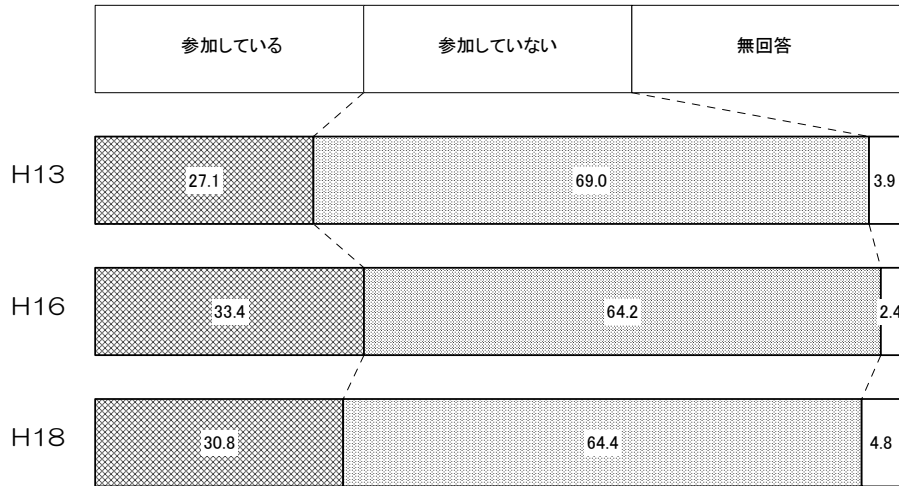
カテゴリー	H13年度	H16年度	H18年度	H19年度(目標値)
参加している	27.1%	33.4%	30.8%	29.0%

##### ⑤ 指標の分析

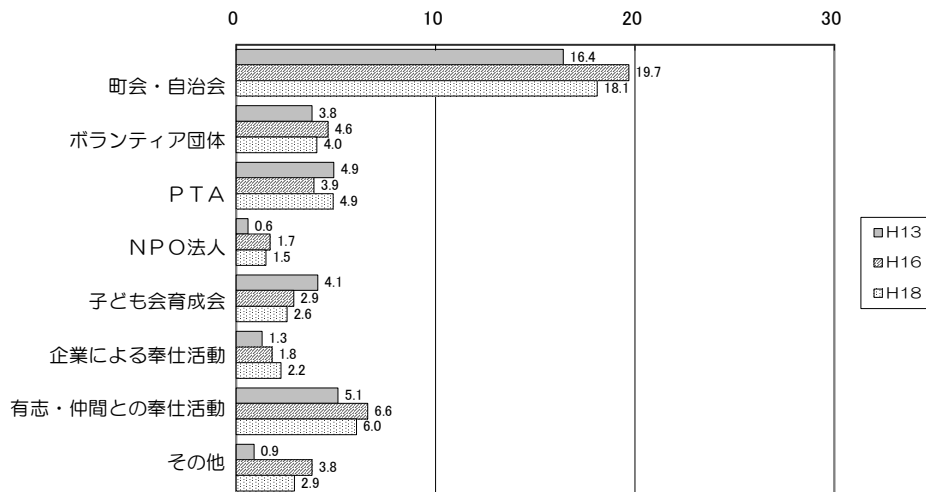
###### ◆ 地域活動への参加は停滞傾向

参加している人の割合は前回に比べやや減少しているが、平成19年度目標値を1.8ポイント上回る結果となっている。ただし、参加していない人の方が多く状況に変化はなく、前回からやや停滞気味の現状がうかがえる。参加していない人の割合は前回と同程度であるため、継続的に活動意欲を高めしていく必要がある。



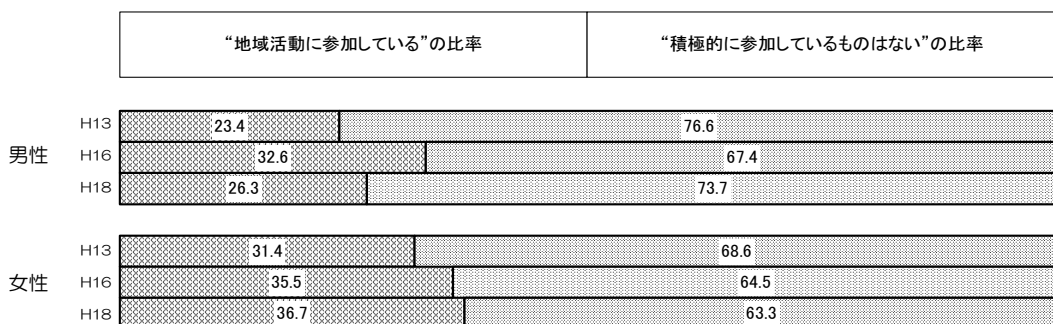


地域活動への参加の場・機会としては、前回も圧倒的に多かった“町会・自治会”が、今回も同様に最も多い結果となった。ほかの機会については、“PTA”と“企業による奉仕活動”が若干増加しているが、それ以外は全て減少傾向にある。



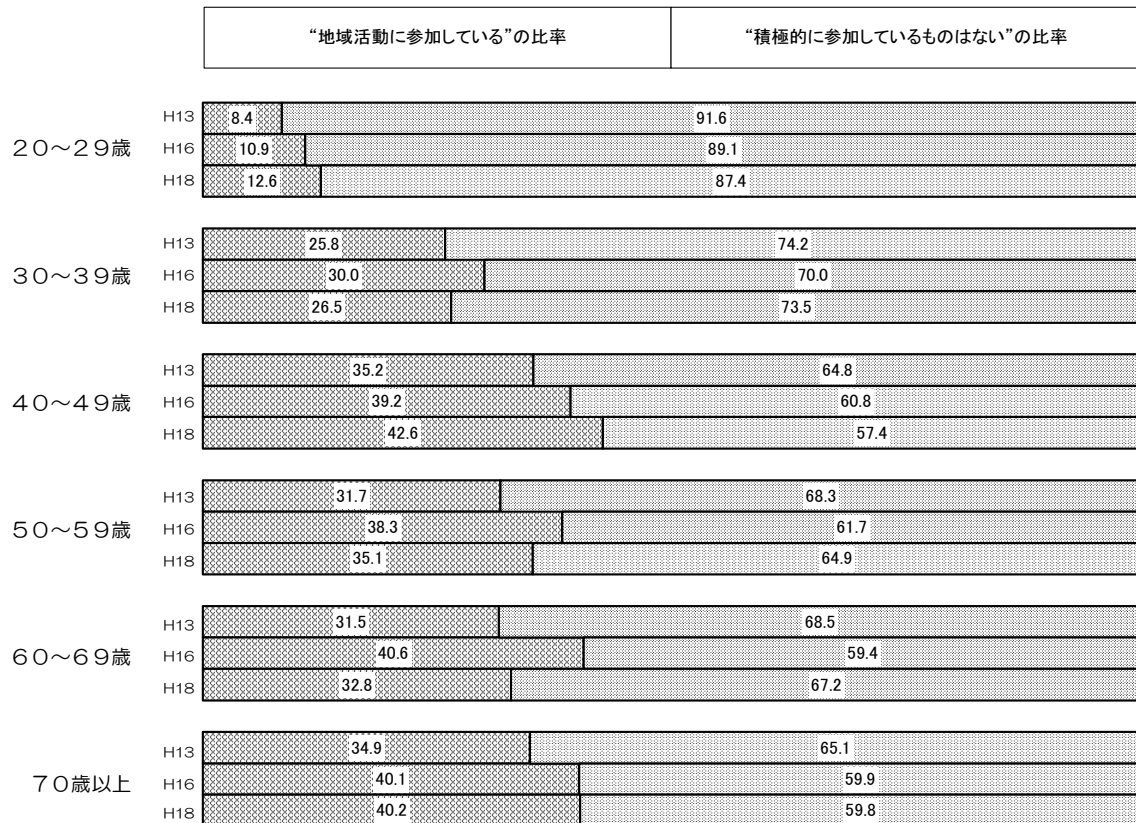
性別で見ると、前回と同様、男性より女性の方が参加している割合が高くなっており、また、前回に比べ女性の参加割合が増加している。一方、男性の参加率は減少している。

【性別地域活動】



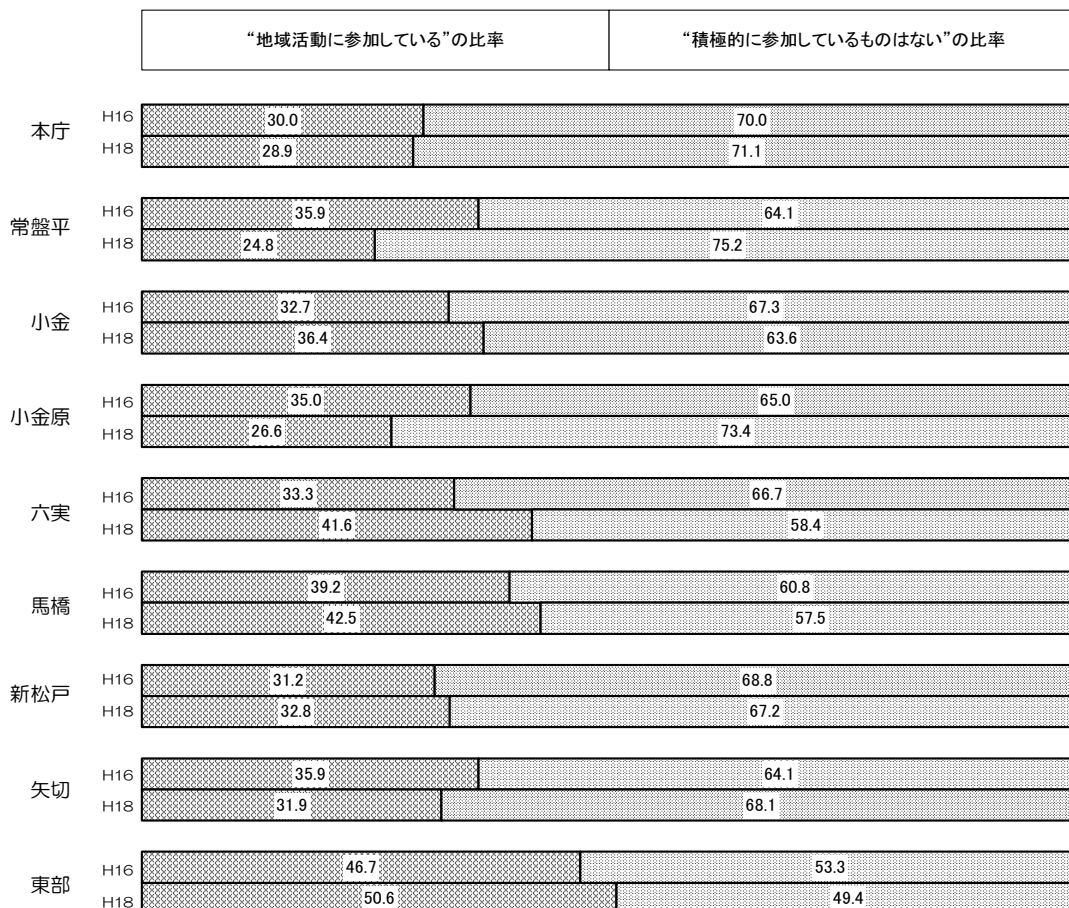
年齢別でみると、中・高年層の参加割合が高い傾向が前回から続いているものの、20歳代、40歳代を除き、参加割合は前回に比べると横ばいか減少している。

【年齢別地域活動】



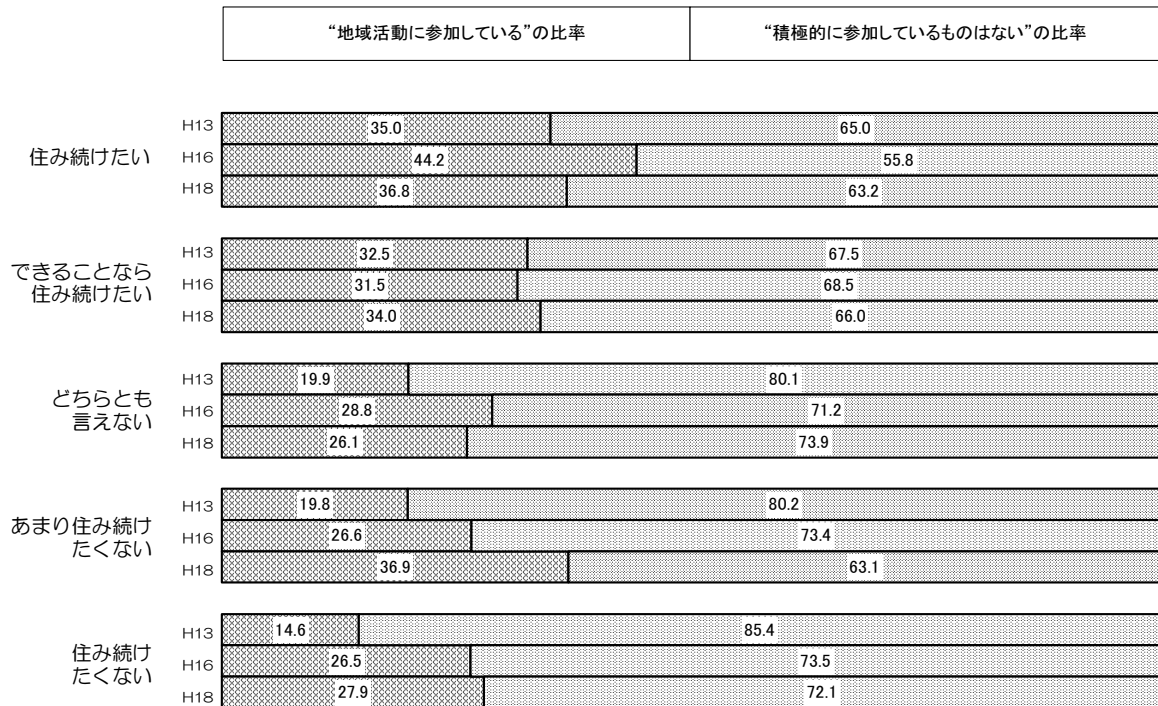
地区別でみると、参加率が40%を超えるのは、東部、馬橋、六実地区となっている。一方、参加率が20%台と低いのは、常盤平、小金原地区であり、前回と比べると大幅な減少がみられる。

【地区別地域活動】



定住意向との関係を見ると、住み続けたいとする人の地域活動参加割合は減少し、あまり住み続けたくないとする人の参加割合が増加しており、定住意向とは関係なく、地域活動への参加が行われている様子が見えてくる。

【定住意向別地域活動】



## 5) 第1節 連携型地域社会の形成 第5項 IT社会の実現

目的:IT技術が活用される地域社会になる

指標:インターネットを利用している人の割合

### ① 目的

情報化の進展により、情報が生活に欠かせない社会インフラとなる現在、誰もが皆情報通信技術の恩恵を受けられるようにする必要があります。インターネットに代表されるIT技術が活用できるようになることで、時間と空間にとらわれることなく生活に必要な情報を即時に簡単に送受信することで、様々なコミュニケーションができる社会に対応できるようにすることが重要と考えます。

### ② 指標

インターネットを利用できる環境にある人は、その双方向性を活かして、活発に外部とのコミュニケーションを図ることにより、社会における活動範囲が拡大するとともに、生活の質の改善にもつながっていくと考えられます。そこでインターネットを利用している人の割合を知ることによってITインフラの整備拡充に伴いIT技術を活用、享受できている人の増を目指します。

### ③ 設問

この指標は、次の設問により直接的に聞いている。「個人・行動」

あなたは、ご自身でインターネットを利用しますか。(1つに○)

- |                |             |             |
|----------------|-------------|-------------|
| 1 毎日のように利用している | 2 時々利用している  | 3 たまに利用している |
| 4 ほとんど利用していない  | 5 全く利用していない |             |

併せて、付問(前問で1~3を選択した人のみ)により活用内容についても聞いている。

あなたは、インターネットをどのようなことに活用していますか。(全てに○)

- 1 電子メールの送信によく利用している
- 2 メールマガジンやニュースなどのメール情報をよく受信している
- 3 いろいろなホームページを開いて情報を入手している
- 4 チケット予約やショッピング、オークション参加、株売買など買い物をしている
- 5 自分自身でホームページを開設し、情報発信している
- 6 その他( )

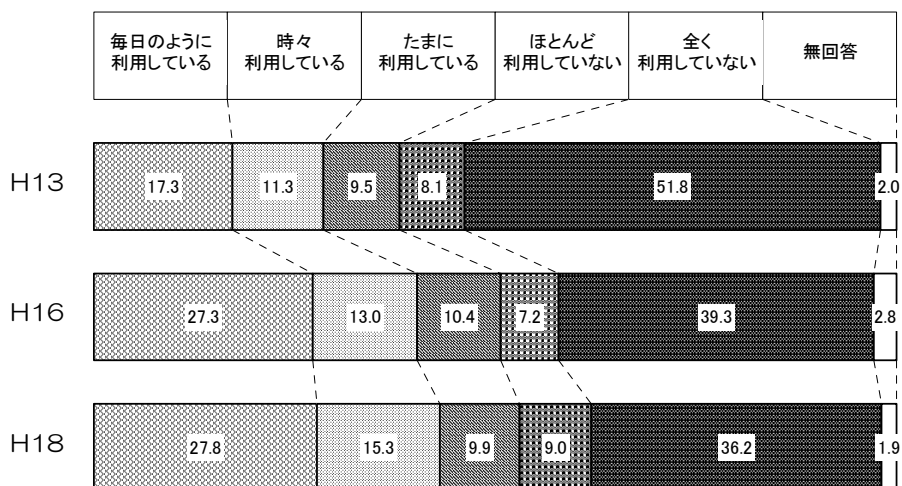
④ 指標の現状（値）

カテゴリー	H13年度	H16年度	H18年度	H19年度（目標値）
毎日のように利用している	17.3%	27.3%	27.8%	
時々利用している	11.3%	13.0%	15.3%	
たまに利用している	9.5%	10.4%	9.9%	
計	38.1%	50.7%	53.0%	45.0%

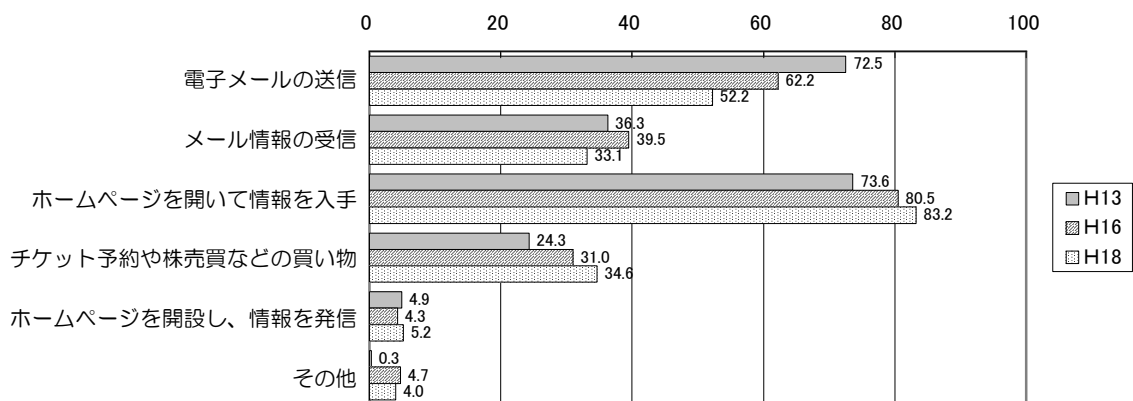
⑤ 指標の分析

◆ インターネット利用者層の広がり、日常的な利用傾向の進展

インターネットを利用している人の割合は前回より増加し、平成19年度目標値を8.0ポイント上回る結果となっている。“毎日のように利用している”人の割合は前回と同程度で約3割となっており、インターネットが日常生活に密着した存在になりつつある様子がうかがえる。一方、“全く利用していない”は前回よりさらに減少しており、インターネット利用者層が大きく広がるとともに、日常的に利用するライフスタイルが浸透しつつあるといえる。

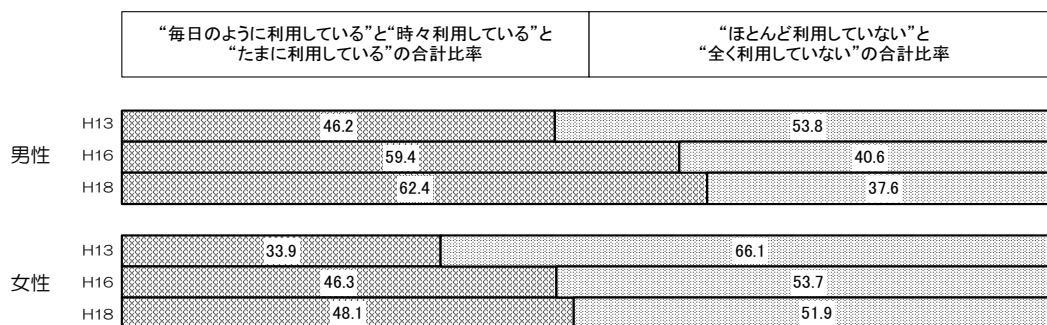


インターネットを利用している人の活用方法としては、“ホームページを開いて情報を入手”が前回と同様最も多くあがっている。また一方では、“電子メールの送信”が減少、“チケット予約や株売買などの買い物”が増加するなどの傾向がみられる。インターネットの日常的な利用増加に伴い、買い物など生活に直結した身近な存在として、インターネットが活用されつつある様子がうかがえる。



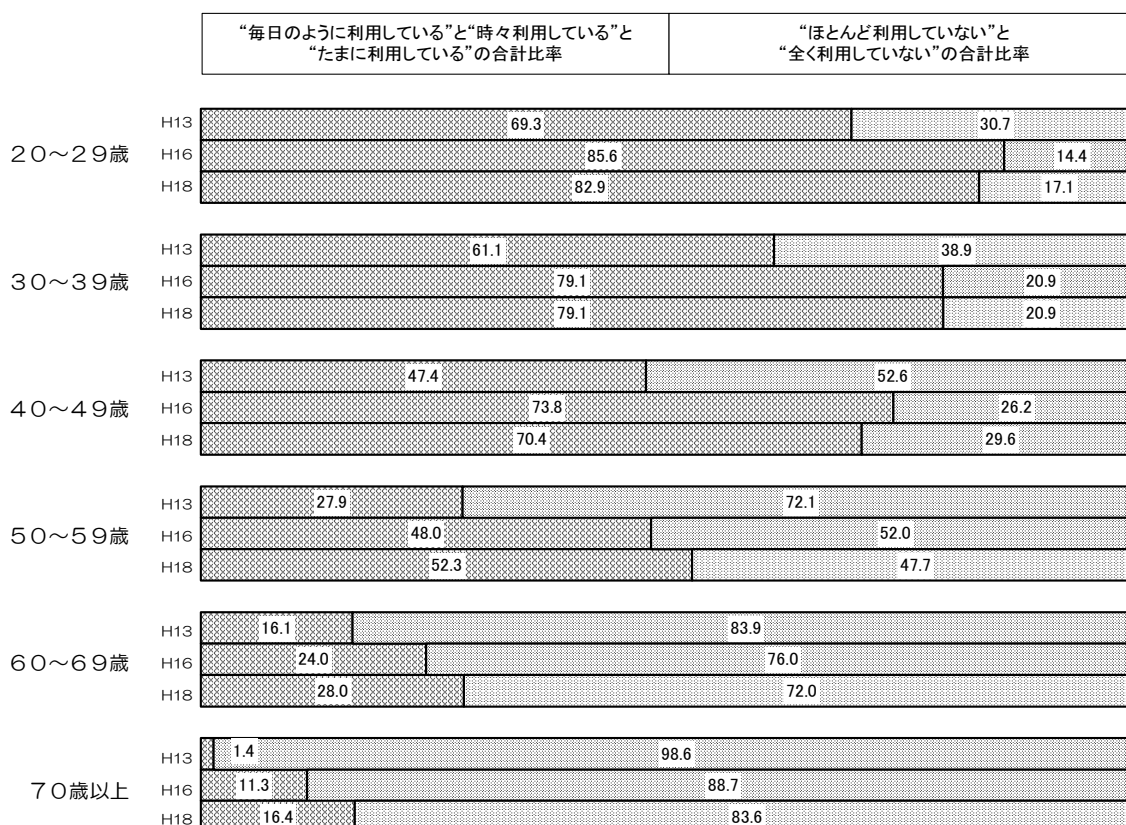
性別で見ると、男性の方が利用する割合が高いものの、男女とも前回に比べ利用割合が高まっており、インターネットの利用・普及は男女の違いなく進んでいる状況にある。

【性別インターネット利用】



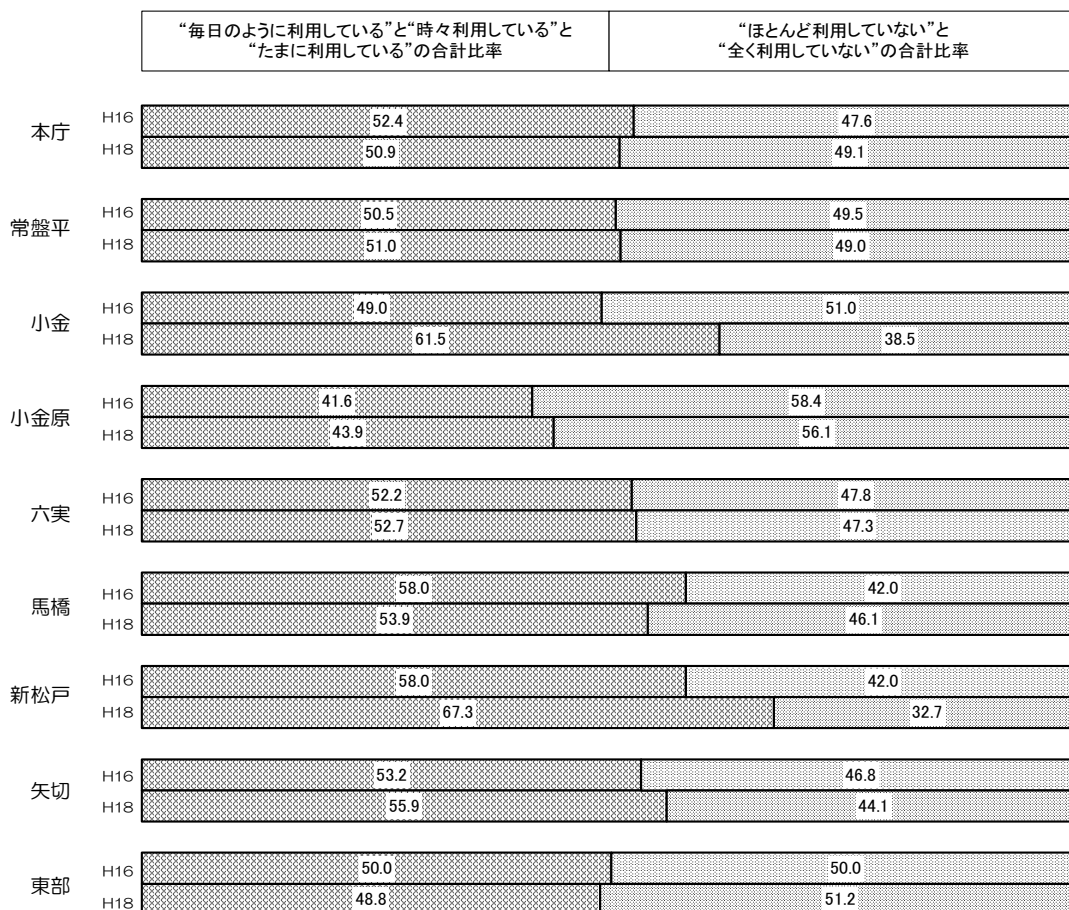
年齢別にみると、若年層中心の利用となっていることには変わらないものの、50歳以上での利用割合が着実に増加している。

【年齢別インターネット利用】



地区別でみると、“インターネットを利用している”が60%を超えるのは、新松戸と小金地区となっている。

【地区別インターネット利用】





## 6) 第2節 豊かな人生を支える福祉社会の実現

### 第1項 多様な生きがい感のある環境づくり

目的:生涯を通して、自分に合った社会参加ができ、生きがい感をもてるようになる

指標:生きがい感をもっている人の割合

#### ① 目的

生涯を通して、心豊かに生活するためには、社会（家庭を含む）の中で自分の居場所が認知され、自分の希望や自分にあった活動ができることが重要であると考えます。

#### ② 指標

生涯にわたり、その意欲や能力に応じて地域活動や就労等の社会参加の機会をもち、年齢や身体状況に係わりなく、いつでも心のはりや生きがいを持ち続ける人を増やすことを目指します。

#### ③ 設問

この指標は、次の設問により直接的に聞いている。「個人・態度（認知）」

あなたは日頃、生活の中で生きがいを感じていますか。（1つに○）

- 1 大変感じている      2 かなり感じている      3 ある程度感じている  
4 あまり感じていない      5 ほとんど感じていない

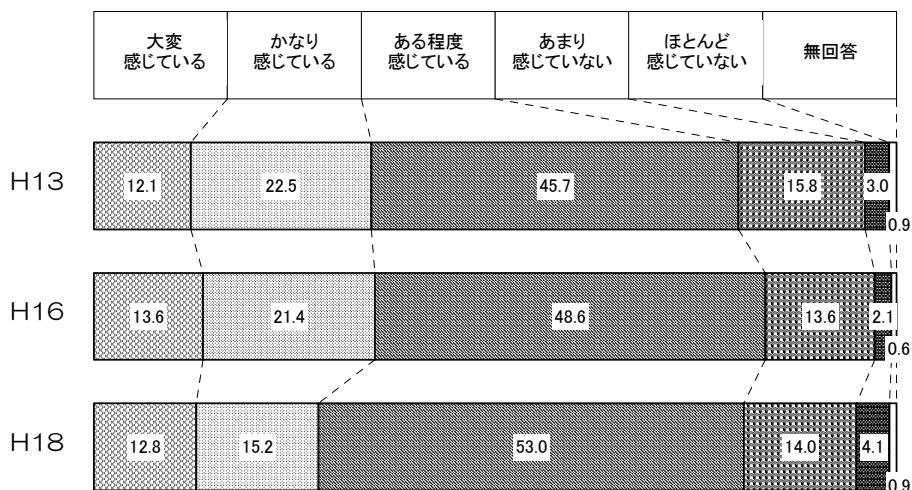
#### ④ 指標の現状（値）

カテゴリー	H13年度	H16年度	H18年度	H19年度（目標値）
大変感じている	12.1%	13.6%	12.8%	
かなり感じている	22.5%	21.4%	15.2%	
ある程度感じている	45.7%	48.6%	53.0%	
計	80.3%	83.6%	81.0%	80.3%

#### ⑤ 指標の分析

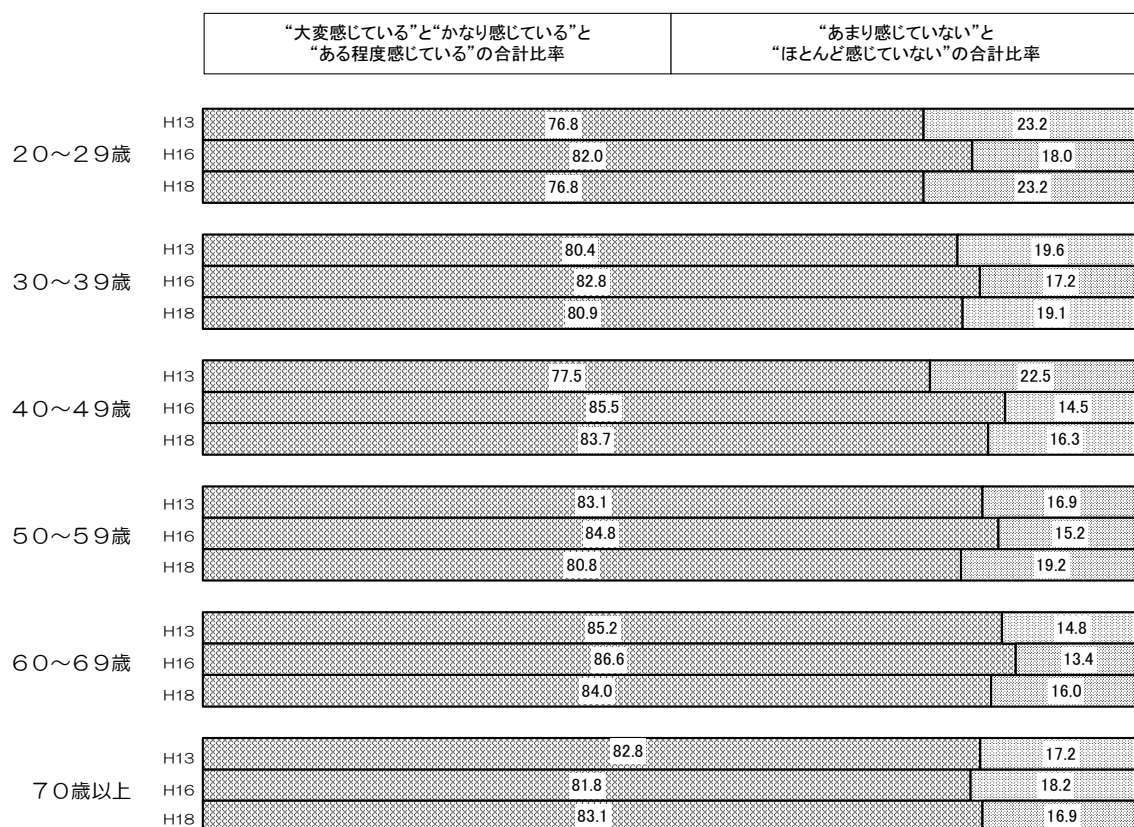
##### ◆ 日頃、生きがいを感じる人は僅かに減少

生きがいを感じている人の割合は、平成16年度値に比べ2.6ポイント減少しているが、平成19年度の目標値は0.7ポイントと僅かながら上回っている。内訳をみると、“かなり感じている”が6ポイント強減少しているが、“ある程度感じている”は4ポイント強増加している。



次に、年齢別にみると、各年代ともに生きがい感を持っている人の割合が圧倒的に高い傾向に変わりはない。前回に比べて20歳代と50歳代で生きがい感を持つ人がやや減っている。

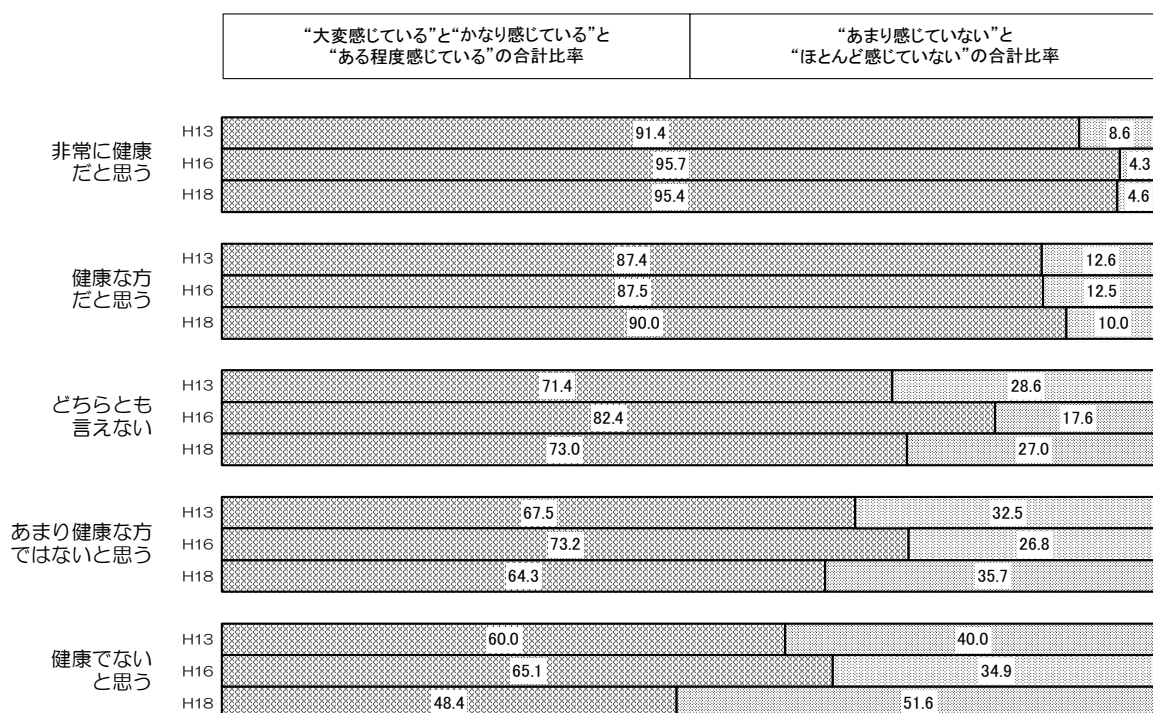
【年齢別生きがい感】



本人の健康感との関係を見ると、健康状況に比例して生きがい感が高まる傾向は前回と同様であり、健康であることが、生きがいを感じることの要因の一つとして重要であるといえる。

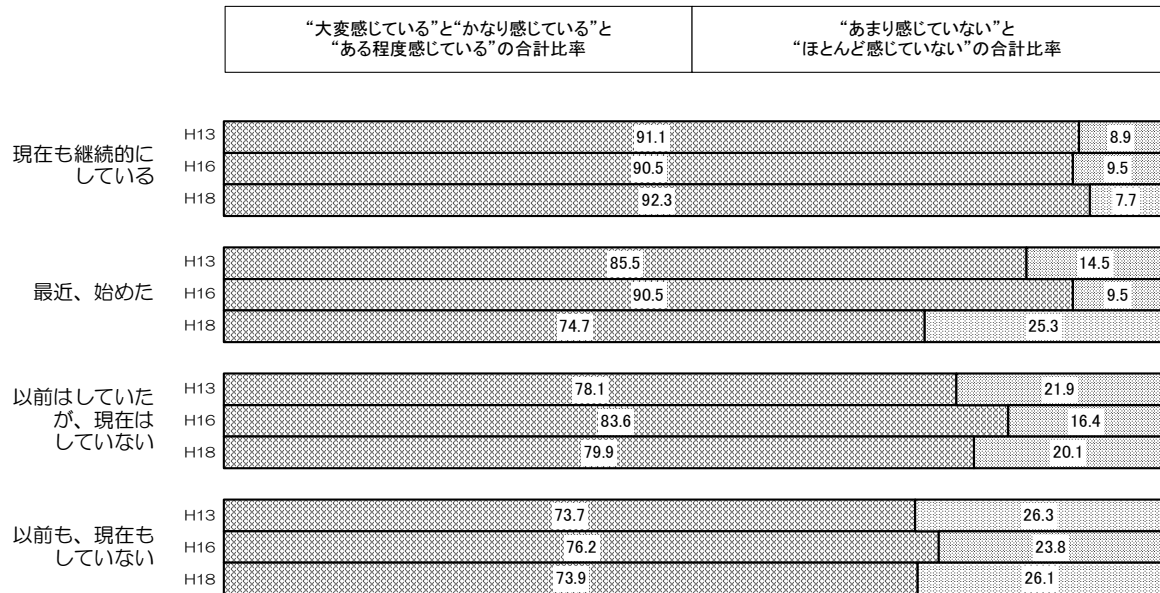
どちらとも言えない、あまり健康なほうではないと思う、健康でないと思うとしている人は、前回から生きがい感が 10ポイント前後の減少がみられる。

【本人の健康感別生きがい感】

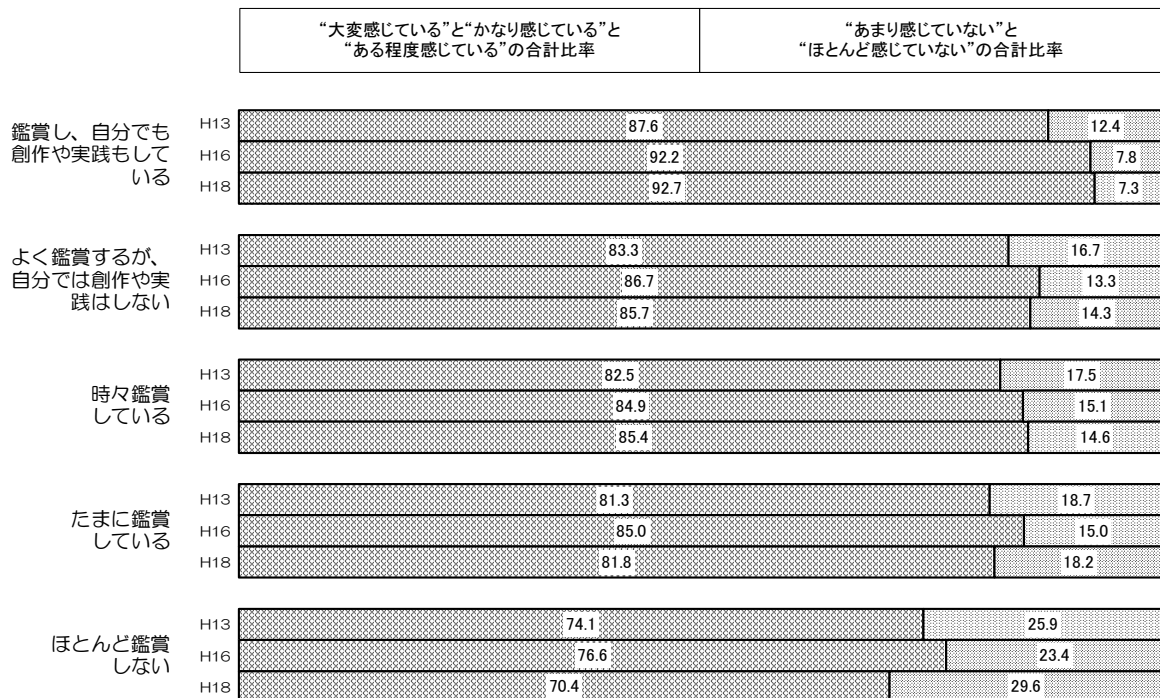


スポーツの実施状況との関係で見ると、継続的にスポーツを行っている人の生きがい感が高いものとなっている。また、芸術文化の実施状況との関係でも、創作や実践している人の生きがい感が高い。

【スポーツの実施状況別生きがい感】



【芸術文化の実施状況別生きがい感】



## 7) 第2節 豊かな人生を支える福祉社会の実現

### 第2項 健康の維持・増進

目的:生涯を通して、健康に良いと思う行動や身近な人の健康に配慮ができ、病気や障害をもつことになっても、自分に合った健康生活が送れるようになる

指標:本人が健康であると思う人の割合

#### ① 目的

すべての人が生涯を通してその持てる能力を発揮するために、健康はその前提となる重要なものです。自分の健康は自分で守り、つくり、身近な人の健康に配慮をすることが必要であり、本人の意思や努力にもかかわらず病気にかかったり、障害を持たざるを得なくなっても、病気や障害とうまく付き合い、その人の置かれた状況に応じて健康な生活が送れるようにすることが大切です。

#### ② 指標

健康は、あらゆる社会活動と市民生活の基盤であり、病気や障害を持つことになっても、その人の置かれた状況に応じて健康な生活が送れることが必要となります。そこで、本人が健康であると思う人の割合を増やしていくことを目指します。

#### ③ 設問

この指標は、次の設問により直接的に聞いている。「個人・態度（認知）」

あなたは今、健康だと思いますか。（1つに○）

- 1 非常に健康だと思う                      2 健康な方だと思う                      3 どちらとも言えない  
4 あまり健康な方ではないと思う      5 健康でないと思う

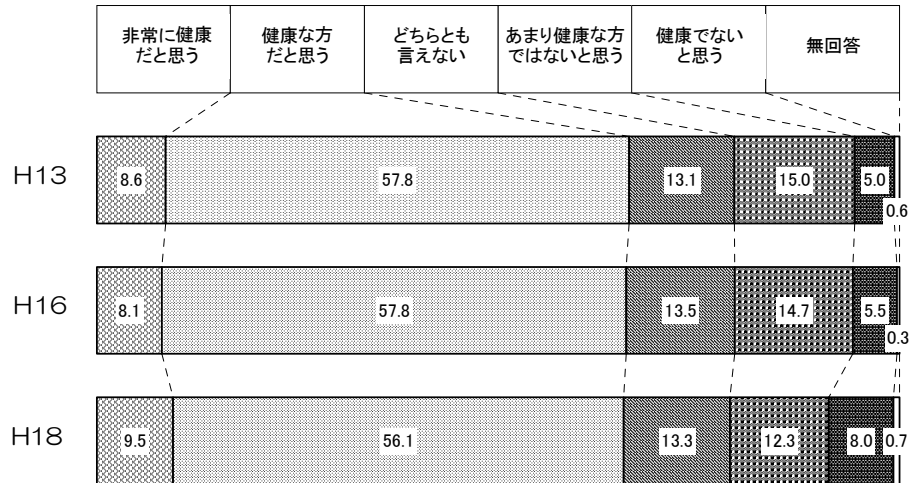
#### ④ 指標の現状（値）

カテゴリー	H13年度	H16年度	H18年度	H19年度（目標値）
非常に健康だと思う	8.6%	8.1%	9.5%	
健康な方だと思う	57.8%	57.8%	56.1%	
計	66.4%	65.9%	65.7%	67.1%

#### ⑤ 指標の分析

##### ◆ 「健康である」と思う人が前回同様多くを占める

健康であると思う人は市民の約3分の2を占めており、前回との差はみられない。ただし、平成19年度目標値は1.4ポイントと僅かながら下回っている。



性別でみると、女性の方が健康だと思ふとする人がやや多くなっている。

【性別健康感】

	“非常に健康だと思ふ”と “健康な方だと思ふ”の合計比率	“どちらとも言えない”の比率	“あまり健康な方ではないと思ふ”と “健康でないと思ふ”の合計比率	
男性	H13	66.2	13.0	20.8
	H16	63.1	14.7	22.2
	H18	63.0	14.3	22.7
女性	H13	67.0	13.3	19.6
	H16	68.7	12.9	18.4
	H18	68.3	13.0	18.7

年齢別にみると、年齢層が上がるにつれ、健康であると思う人が徐々に減少する傾向が前回同様続いている。

【年齢別健康感】

		“非常に健康だと思う” “健康な方だと思う”の合計比率	“どちらともいえない”の比率	“あまり健康な方ではないと思う” “健康でないと思う”の合計比率
20～29歳	H13	72.4	12.9	14.7
	H16	71.2	13.7	15.1
	H18	68.9	9.8	21.3
30～39歳	H13	72.8	12.7	14.6
	H16	69.0	16.2	14.8
	H18	73.2	14.6	12.1
40～49歳	H13	65.7	16.7	17.5
	H16	68.3	13.1	18.6
	H18	67.6	13.0	19.4
50～59歳	H13	70.4	11.7	18.0
	H16	67.4	12.9	19.6
	H18	65.5	16.8	17.8
60～69歳	H13	62.6	13.1	24.2
	H16	63.8	15.0	21.3
	H18	64.6	11.8	23.6
70歳以上	H13	47.2	12.9	39.9
	H16	58.8	10.0	31.2
	H18	53.8	13.3	32.8

スポーツの実施状況との関係を見ると、現在スポーツをしている人の方が健康であると思う割合が高い傾向が前回と同様みられる。

【スポーツの実施状況別健康感】

		“非常に健康だと思う” “健康な方だと思う”の合計比率	“どちらともいえない”の比率	“あまり健康な方ではないと思う” “健康でないと思う”の合計比率
現在も継続的に している	H13	79.3	8.3	12.4
	H16	75.6	11.5	12.9
	H18	77.6	10.1	12.3
最近、始めた	H13	66.2	14.3	19.5
	H16	73.8	11.9	14.3
	H18	67.5	12.5	20.0
以前はしていたが、 現在はしていない	H13	64.2	14.3	21.5
	H16	62.3	15.3	22.5
	H18	61.9	14.8	23.3
以前も、現在も していない	H13	57.3	16.5	26.2
	H16	60.9	14.1	24.9
	H18	60.6	14.9	24.5

## 8) 第2節 豊かな人生を支える福祉社会の実現

### 第3項 日常生活および緊急時の安全・安心性の向上

目的:生涯を通して、必要な時に必要度に応じて十分な医療、介護、保護、支援などのサービスが受けられ、生活する上での安心感がもてるようになる

指標:日常生活(心配事が起きた時を含む)に対するの安心感をもち人の割合

#### ① 目的

生涯を通してそれぞれのライフステージの中で、急病、事故による受傷、要介護状態(経済的な自立が困難になった場合を含む)、虐待、家庭内暴力への対応など日常生活におけるさまざまな不安や心配事を解消し、安心感を高めることが重要であると考えます。

#### ② 指標

ここ数年の社会的・経済的状況による生活保護世帯の増加、万が一のための救急医療体制、高齢化社会の進展による要介護者の増加等、市民を取り巻く社会環境のなかで、日常生活上のセーフティネット(安全網)を確立し、生活する上での安心感の向上を目指します。

#### ③ 設問

この指標は、次の設問により逆説的に聞いている。「個人・態度(認知)」

あなたは今、生活の中で不安になったり、心配になったりすることがありますか。気になることがあれば、(全てに○)

- |            |            |                       |
|------------|------------|-----------------------|
| 1 自分の健康    | 2 家族の健康    | 3 将来自分や家族が必要になったときの介護 |
| 4 現在の生活や家計 | 5 将来の生活や家計 | 6 仕事                  |
| 7 出産や子育て   | 8 子どもの将来   | 9 住居や住まい              |
| 10 財産や資産   | 11 人との付き合い | 12 生きがい               |
| 13 その他( )  | 14 特にない    |                       |

#### ④ 指標の現状(値)

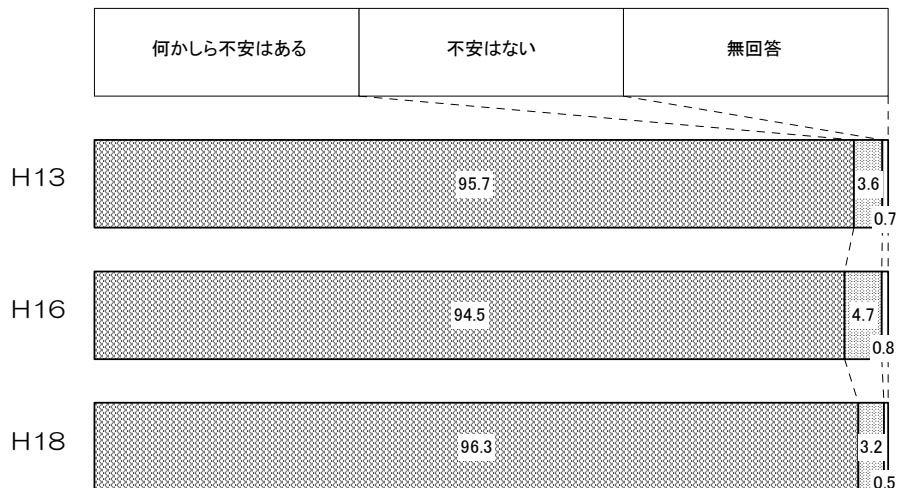
カテゴリー	H13年度	H16年度	H18年度	H19年度(目標値)
特にない	3.6%	4.7%	3.2%	4.2%



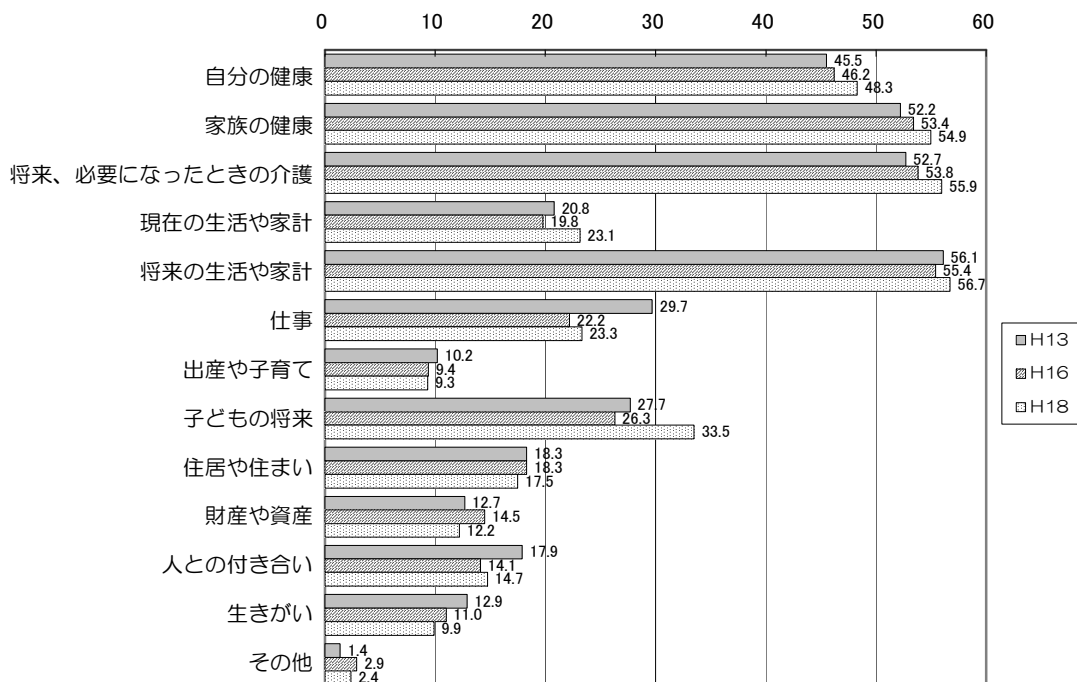
## ⑤ 指標の分析

### ◆ 特に不安を感じない人が僅かに減少

日常生活の中で、何らかの不安や心配事を感じている人がほとんどであり、前回との差はみられない。一方で、不安はないとする人は、ごく僅かではあるものの減少しており、平成 19 年度目標値を 1.0 ポイント下回っている。不安感という漠然とした意識の背景には健康や生活・家計、仕事、子どもなど、さまざまな要素がからんでくるが、不安の解消に向けて多様な取り組みを継続していく必要がある。

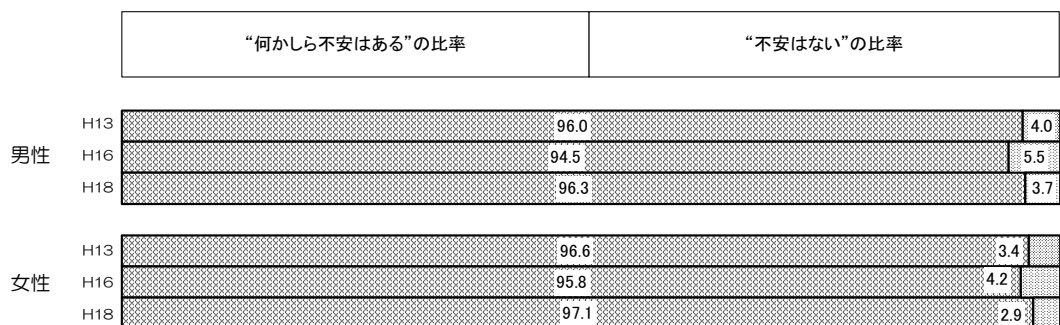


不安や心配事の内容としては、“将来の生活や家計”が最も多く、次いで“将来、必要になったときの介護”、“家族の健康”が半数を超えている。これらは前回と同様の順序となっており、経済的な面も含めた生活全般、健康や福祉の面などが、不安な点の多くを占めていることがわかる。また、“子どもの将来”を心配する人が前回より 7 ポイント増加している。

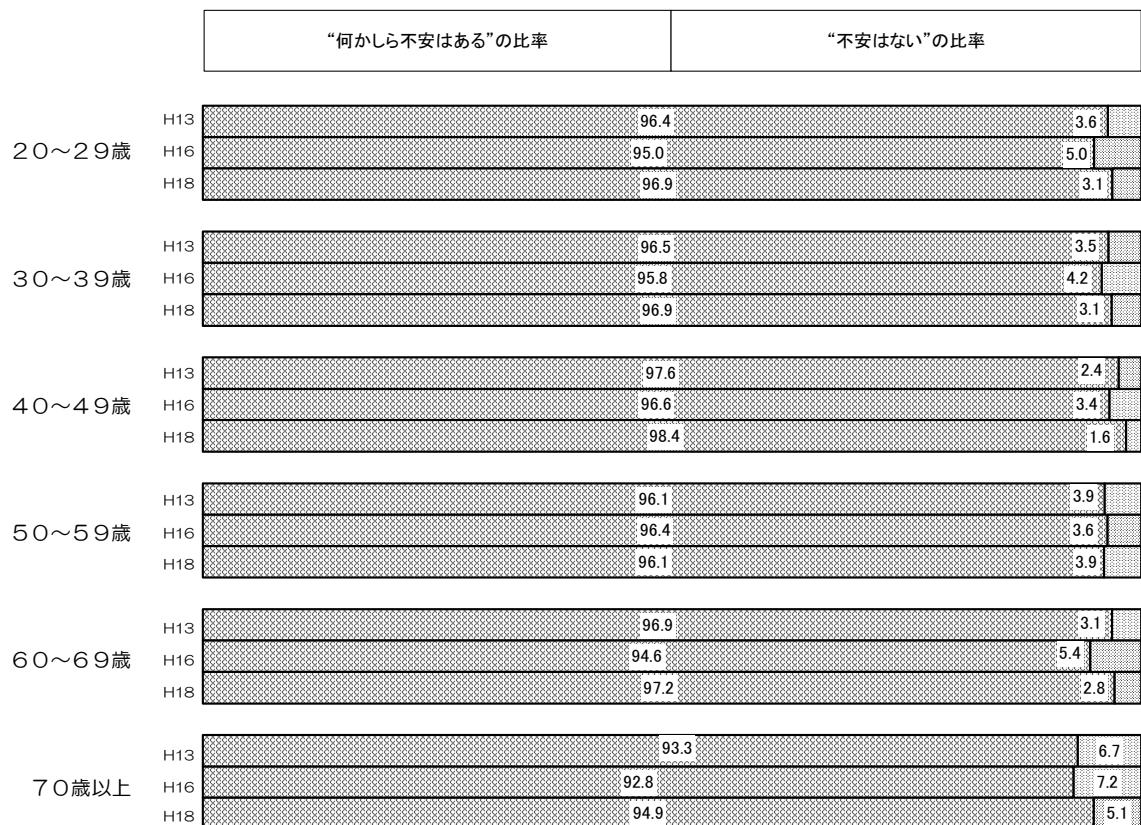


性別や年齢別にみた場合でも、多くの人が何らかの不安を持っている傾向に変わりはなく、前回と比べても同様の傾向となっている。

【性別安心感】



【年齢別安心感】



## 9) 第2節 豊かな人生を支える福祉社会の実現

### 第4項 福祉のための基盤整備

目的:生涯を通して、必要な時に健康福祉施設サービスが必要度に応じて利用できるようになる  
指標:出産や子育てに不安や心配がない人の割合

#### ① 目的

高齢者や障害者を含むすべての市民が、福祉の担い手であると同時に受け手であることを自覚し、相互に支えあい、施設サービスが必要となったとき、必要度に応じた施設利用ができるようにすることが重要と考えます。

#### ② 指標

健康福祉サービスの中では、子育て支援施設の充実が最も重要な課題のひとつとなっています。そこで子育て支援施設の充足により子育てに満足している人を増やします。

#### ③ 設問

この指標は、次の設問により出産や子育てに不安や心配がない人の割合を逆説的に取得している。「個人・態度（認知）」

あなたは今、生活の中で不安になったり、心配になったりすることがありますか。気になることがあれば、(全てに○)

- |            |            |                       |
|------------|------------|-----------------------|
| 1 自分の健康    | 2 家族の健康    | 3 将来自分や家族が必要になったときの介護 |
| 4 現在の生活や家計 | 5 将来の生活や家計 | 6 仕事                  |
| 7 出産や子育て   | 8 子どもの将来   | 9 住居や住まい              |
| 10 財産や資産   | 11 人との付き合い | 12 生きがい               |
| 13 その他 ( ) | 14 特になし    |                       |

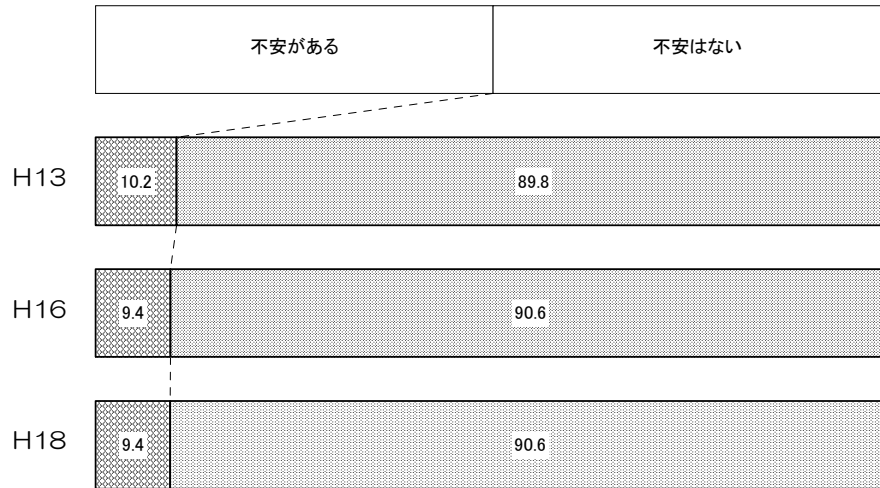
#### ④ 指標の現状(値)

カテゴリー	H13年度	H16年度	H18年度	H19年度(目標値)
出産や子育てに不安や心配がない	89.8%	90.6%	90.6%	90.0%

#### ⑤ 指標の分析

##### ◆ 不安を感じない人が大多数を占める

出産や子育てについて、不安や心配を感じている人は全体の1割弱となっており、前回と同様の結果となっている。なお、不安や心配はないとする人は平成19年度目標値を0.6ポイントと僅かではあるが上回る値となっている。



## 10) 第3節 次代を育む文化・教育環境の創造

目的:多くの市民が暮らしたいと思う文化や教育環境がある

指標:文化・教育に魅力を感じて、いつまでも住み続けたいと思う人の割合

### ① 目的

このまちにいつまでも住みつづけたい、住んでいて良かったと市民が感じ、喜びや生きがいとともに、ふるさととして愛着が感じられるまちにするためには、教育と文化も大きな役割を担っています。

### ② 指標

松戸市の文化・教育環境の整備方針や施策の評価は、本市の定住志向に関する市民意識調査において、文化・教育の環境整備を理由に住み続けたいという市民の割合としてとらえることが的確です。今後、この評価を高めて行くことを目指します。

### ③ 設問

この指標は、「文化・教育環境の4項目の満足度」を組み合わせ聞いている。「社会・態度（評価）」

「子どもの教育環境」「文化・芸術の鑑賞や活動環境」「スポーツや健康づくりのための環境」「史跡や神社など歴史・伝統文化遺産」の4項目

あなたが松戸市で生活する中で、次のことについてそれぞれの程度満足していますか。(1つに○)

- 1 十分満足している    2 まあまあ満足している    3 普通である    4 やや不満である  
5 きわめて不満である    6 わからない

### ④ 指標の現状（値）

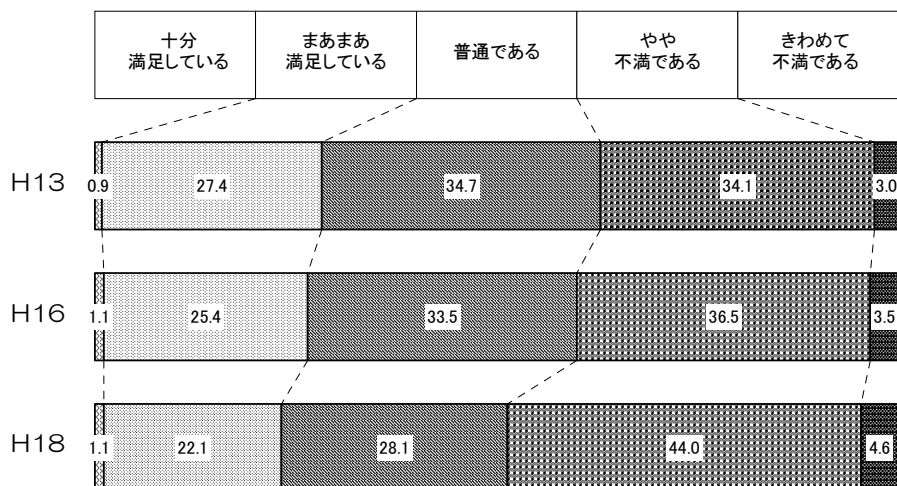
カテゴリー	H13年度	H16年度	H18年度	H19年度(目標値)
十分満足しており、住み続けたい	0.7%	1.1%	1.1%	
まあまあ満足しており、住み続けたい	20.6%	20.1%	16.4%	
計	21.3%	21.2%	17.5%	25.0%

(注)「十分満足しており、住み続けたい」は文化・教育環境4項目の総合満足度が「十分満足している」に該当し、定住意向で“住み続けたい”と回答している人の割合である。同様に「まあまあ満足しており、住み続けたい」も文化・教育環境の総合満足度が「まあまあ満足している」に該当し、定住意向で“住み続けたい”と回答している人の割合である。

## ⑤ 指標の分析

### ◆ 文化・教育環境にまあまあ満足しており、住みたい人の割合が減少

文化・教育環境の4項目についての総合満足度は、“やや不満である”人が最も多く、前回より10ポイント近く増え、“まあまあ満足”がやや減少する結果となった。定住意向においても“住みたい”とする人が減少したため、指標値は前回より3.7ポイント減少し、平成19年度目標値を7.5ポイント下回る結果となっている。



注) 文化・教育環境の4項目の総合満足度については、次のような方法にもとづき算出している。

- ・ Q17 エ、オ、カ、セの4つの質問の選択肢に表1の評価点をそれぞれ与える。
- ・ 4つの質問の評価点の合計点を表2にしたがい分布をとる。

表1

①「十分満足」	+2
②「まあまあ満足」	+1
③「普通」	0
④「やや不満」	-1
⑤「きわめて不満」	-2

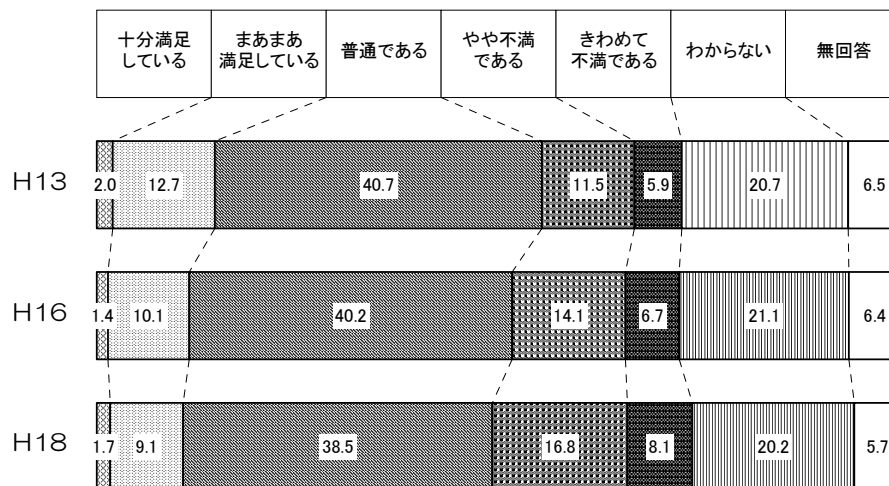
表2

① 5点以上 (十分満足している)
② 1~4点 (まあまあ満足している)
③ 0点 (普通である)
④ -1~-4点 (やや不満である)
⑤ -5点以下 (きわめて不満である)

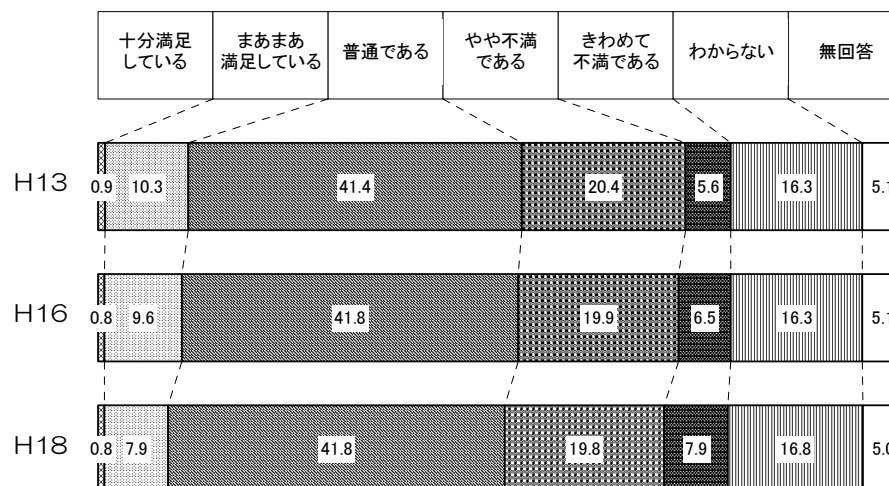
教育・文化環境の個別項目の満足度をみると、全ての項目で“十分満足している”と“まあまあ満足している”の合計が2割を下回っており、全体的に“普通である”との回答が4～5割を占めている。

子どもの教育、文化・芸術の鑑賞や活動環境、スポーツや健康づくりのための環境の3項目については、“十分満足している”と“まあまあ満足している”の合計を“やや不満である”と“きわめて不満である”の合計が上回っており、不満を感じている人が多くなっている。

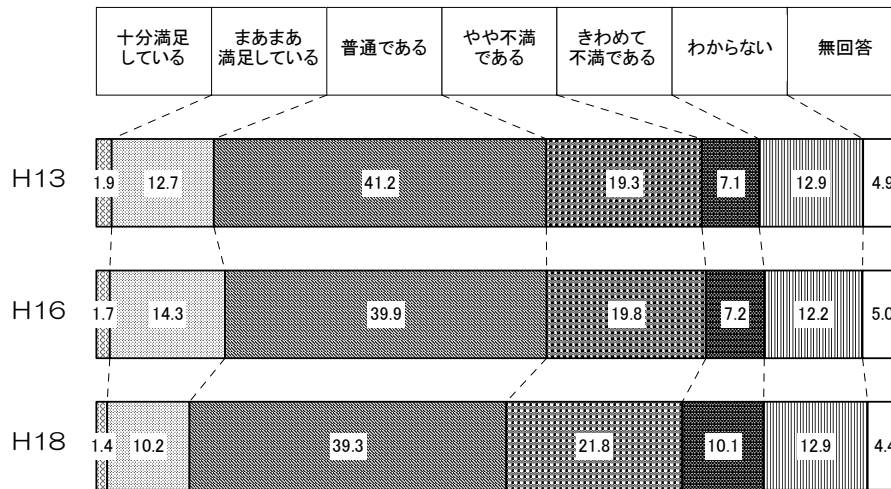
【子どもの教育環境】



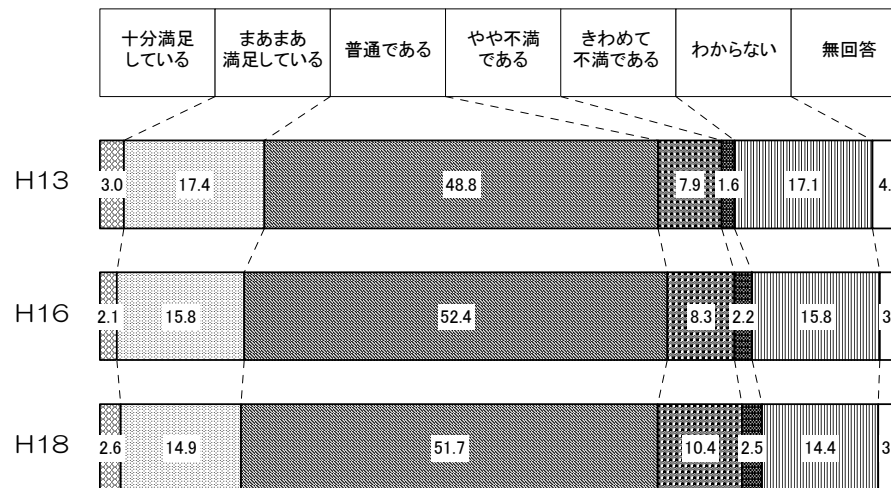
【文化・芸術の鑑賞や活動環境】



【スポーツや健康づくりのための環境】



【史跡や神社仏閣など歴史・伝統文化遺産】





## 11) 第3節 次代を育む文化・教育環境の創造 第1項 生涯学習の推進

目的:より多くの人々が積極的に学習活動を行い、その成果を活かすようになる

指標:学習活動を行っている人の割合

### ① 目的

学習は、その体験を成果として何らかの形で活かすことにより、学んだ事柄が自分の中に定着し、さらに次の学習に進んでいくという構造を持っています。このことは、学習者の主体的な学習と、地域の中での多様な学習活動による学び合う関係を育てていきます。また、本市の生涯学習に関する市民意識調査においては、学習活動と地域活動との間に相関関係が認められました。

これらのことは、学習活動が地域社会での活動へと発展し、地域づくりの重要な要素となることを示唆しています。

### ② 指標

地域づくりの基盤となる生涯学習社会の実現に向けて、学習活動に取り組む市民が多くなることを目指します。

### ③ 設問

この指標は、次の設問により期間を限定して直接的に聞いている。「個人・行動」

あなたは日頃、特定の関心があるテーマについて、自主的に学習活動をしていることがありますか。過去1年間を振り返って、学習活動に取り組んだ日数は平均するとどのくらいですか。(1つに〇)

- 1 ほぼ毎日                      2 週に数日ほど                      3 月に数日ほど  
4 年に数日ほど                      5 全くない

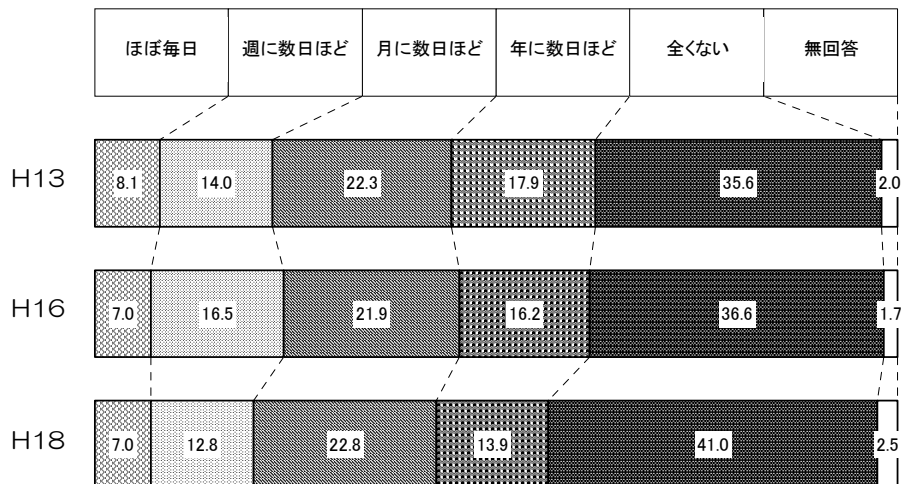
### ④ 指標の現状

カテゴリー	H13年度	H16年度	H18年度	H19年度(目標値)
ほぼ毎日	8.1%	7.0%	7.0%	
週に数日ほど	14.0%	16.5%	12.8%	
月に数日ほど	22.3%	21.9%	22.8%	
計	44.4%	45.4%	42.6%	50.0%

## ⑤ 指標の分析

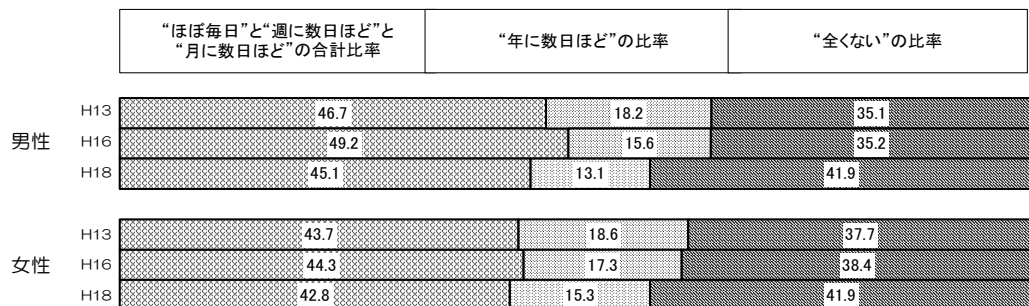
### ◆ 学習活動に取り組む人は、全体の4割を占める

過去一年間に“月に数日以上”学習活動に取り組んでいる人はやや減少し、平成 19 年度目標値を 7.4 ポイント下回る結果となっている。一方、“全くない”が 5 ポイント弱増加し4割を超えており、“月に数日以上”“月に数日以上”学習活動に取り組んでいる人とはほぼ同程度となっている。



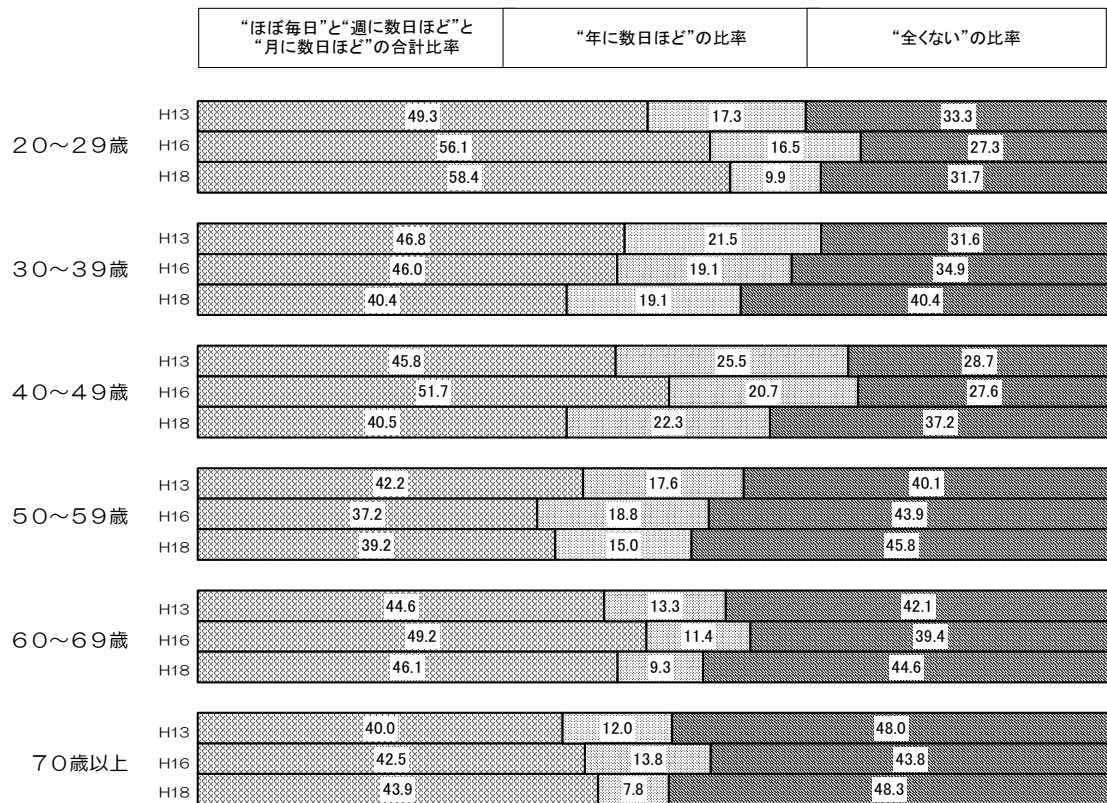
性別で見ると、定期的に学習活動を行っている人は女性に比べ男性にやや多く、前回と同様の傾向となっている。

#### 【性別学習活動】



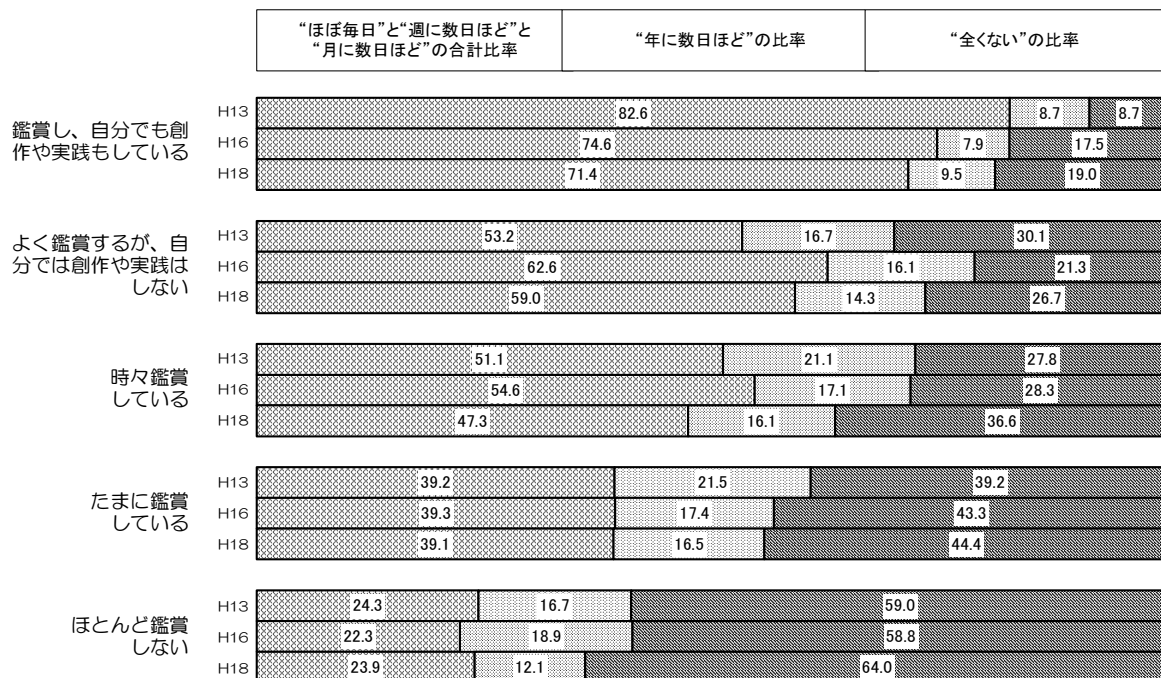
年齢別にみると、20歳代で定期的に学習活動を行っている人の割合が6割近くになっている。その他の年齢層では4割前後となっている。また、40歳代においては、学習活動をしている人の割合が10ポイント強減少し、“全くない”とする人は、10ポイント程度増加している。一方、“全くない”とする人は年齢層とともに増加しており、50歳代、60歳代、70歳以上では半数近くとなっている。

【年齢別学習活動】



芸術文化活動との関係を見ると、芸術文化活動を行っている人の方が学習活動も定期的に行っている割合が高い傾向にあり、鑑賞し、自分でも創作や実践もしている人では7割を超えている。

【芸術文化の実施状況別学習活動】



## 12) 第3節 次代を育む文化・教育環境の創造 第1項 生涯学習の推進

目的:より多くの人々が積極的に学習活動を行い、その成果を活かすようになる

指標:学習活動の成果を地域社会で活かしている人の割合

### ① 目的

学習は、その体験を成果として何らかの形で活かすことにより、学んだ事柄が自分の中に定着し、さらに次の学習に進んでいくという構造を持っています。このことは、学習者の主体的な学習と、地域の中での多様な学習活動による学び合う関係を育てていきます。また、本市の生涯学習に関する市民意識調査においては、学習活動と地域活動との間に相関関係が認められました。

これらのことは、学習活動が地域社会での活動へと発展し、地域づくりの重要な要素となることを示唆しています。

### ② 指標

地域づくりの基盤となる生涯学習社会の実現に向けて、取り組んだ学習活動を活かす市民が多くなることを目指します。

### ③ 設問

この指標は、次の設問により直接的に聞いている。「個人・態度（認知）」

あなたがこれまでに、自主的に取り組んだ学習活動の成果が活かされていると思いますか。（全てに○）

- |                               |                     |
|-------------------------------|---------------------|
| 1 仕事、職業に活かされている               | 2 自分自身の向上に活かされている   |
| 3 家庭や家族に活かされている               | 4 地域活動や社会活動に活かされている |
| 5 親睦を深めたり、友人を得るときに活かされている     |                     |
| 6 その他（                      ） |                     |
| 7 活かされていない                    |                     |

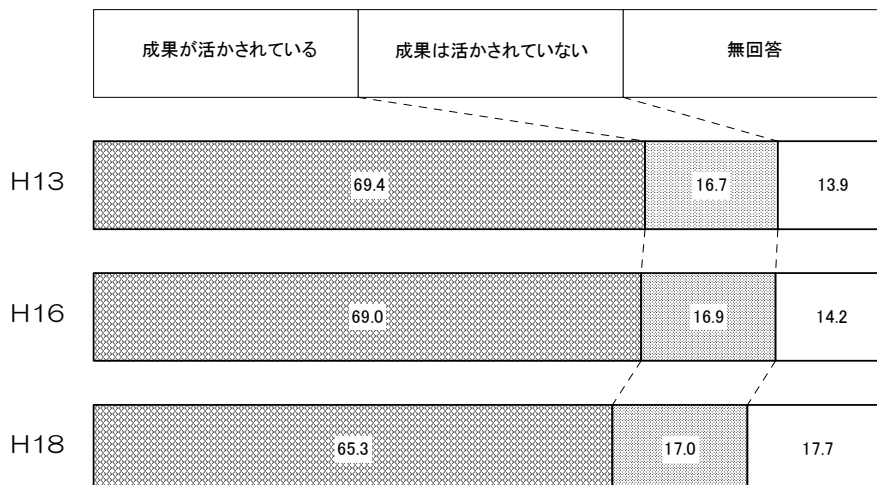
### ④ 指標の現状（値）

カテゴリー	H13年度	H16年度	H18年度	H19年度（目標値）
成果が活かされている	69.4%	69.0%	65.3%	75.0%

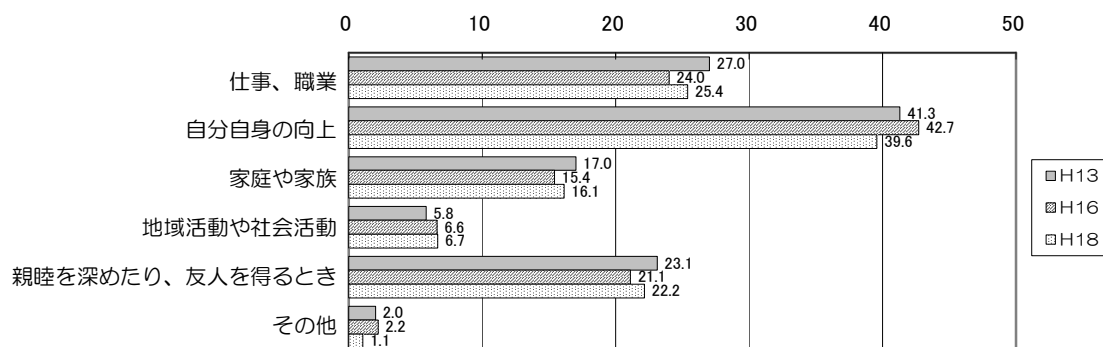
### ⑤ 指標の分析

#### ◆ 学習活動の成果を活かす人の割合は僅かに減少

これまでに、自主的に取り組んだ学習活動の成果を、何らかの形・方面で活かしていると考える人の割合は、前回に比べ僅かに減少し、平成19年度目標値にはまだ9.7ポイントの開きがある。

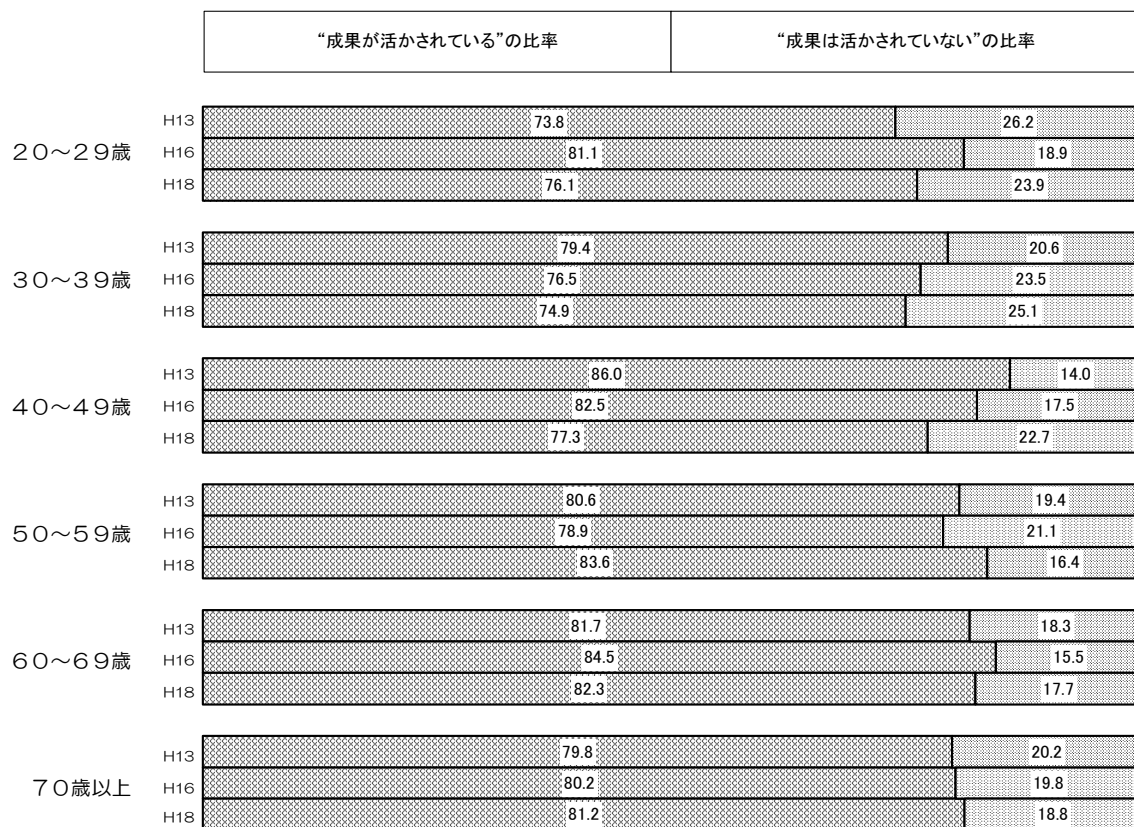


成果を活かしている対象は、前回と同様、“自分自身の向上”が最も多くあがっており4割弱となっている。次いで“仕事、職業”、“親睦を深めたり、友人を得るとき”が2割強で続いている。



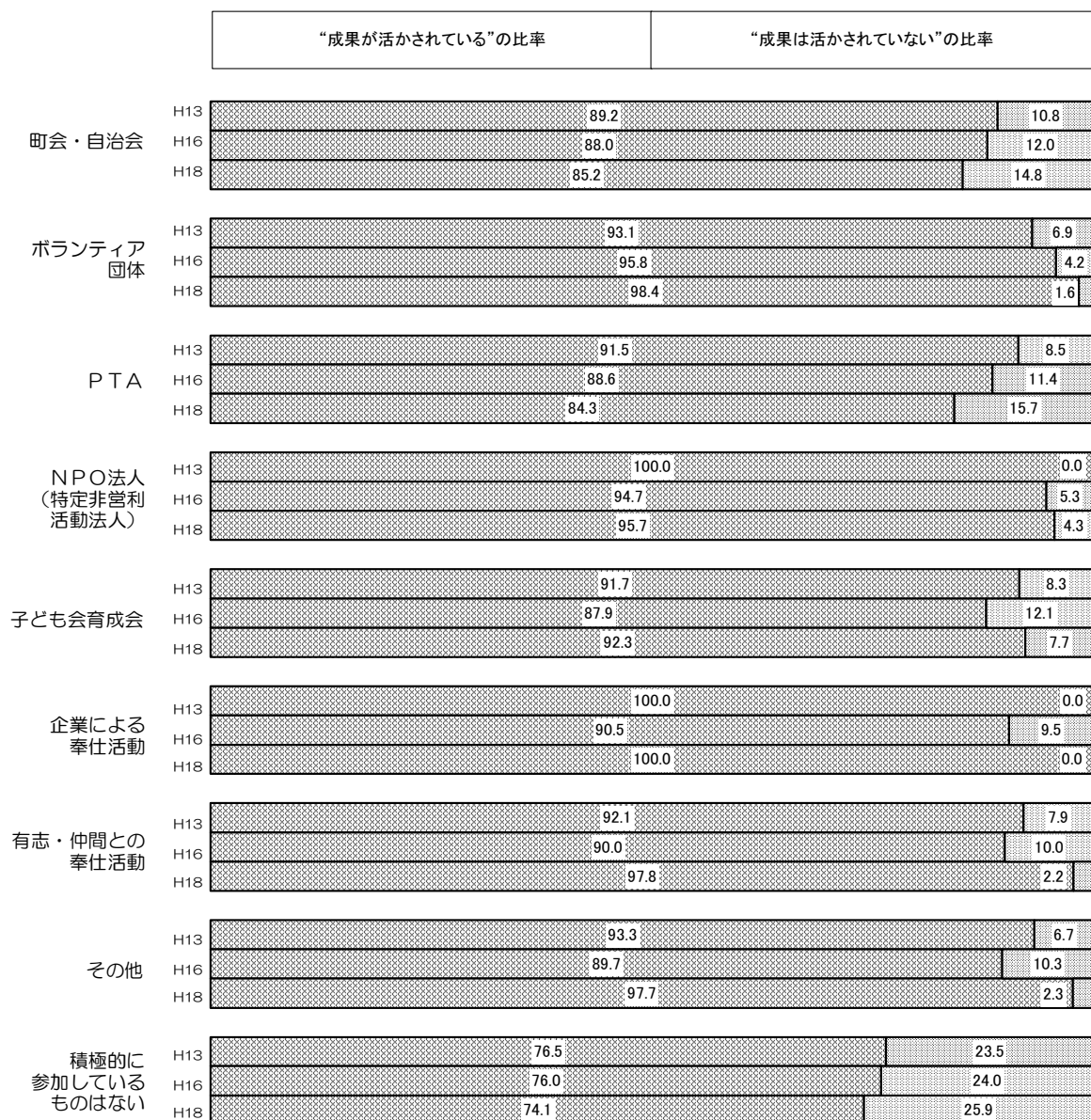
年齢別にみると、いずれの年代でも活かされていると考える人が多いものの、年齢層が上がるに連れ、僅かながら増加している傾向にある。

【年齢別学習活動の成果】



また、地域活動への参加との関係を見ると、何らかの地域活動に参加している人の方が、学習成果が活かされていると感じる割合がより高まる傾向にある。

【地域活動への参加別学習活動の成果】





## 13) 第3節 次代を育む文化・教育環境の創造

### 第3項 生涯にわたるスポーツ活動の支援

目的:より多くの人々がスポーツに親しむようになる

指標:スポーツを行っている人の割合

#### ① 目的

人生をより豊かにし、身体・精神の両面に良好な作用をするスポーツは、ストレスの多い現代社会において、心身の健全な発達や活力に満ちた社会を形成していく上で必要です。市民それぞれのライフステージに合ったスポーツを親しむことが重要であると考えます。

#### ② 指標

スポーツを行っている市民の割合を測ることでスポーツの振興度合を把握し、スポーツに親しむ市民の増加を目指します。

#### ③ 設問

この指標は、次の設問により直接的に聞いている。「個人・行動」

あなたは日頃、運動・スポーツをしていますか。(1つに○)

- |                     |                |
|---------------------|----------------|
| 1 現在も継続的にしている       | 2 最近、始めた       |
| 3 以前はしていたが、現在はしていない | 4 以前も、現在もしていない |

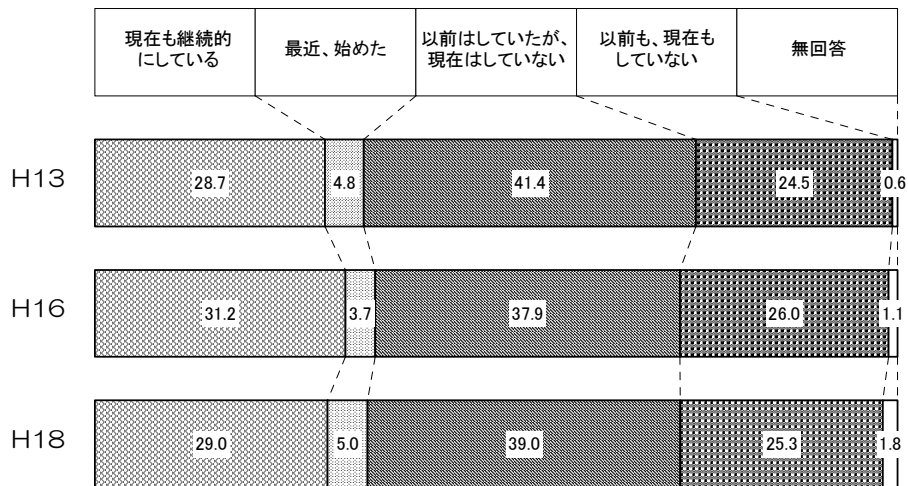
#### ④ 指標の現状(値)

カテゴリー	H13年度	H16年度	H18年度	H19年度(目標値)
現在も継続的にしている	28.7%	31.2%	29.0%	
最近、始めた	4.8%	3.7%	5.0%	
計	33.4%	34.9%	34.0%	50.0%

#### ⑤ 指標の分析

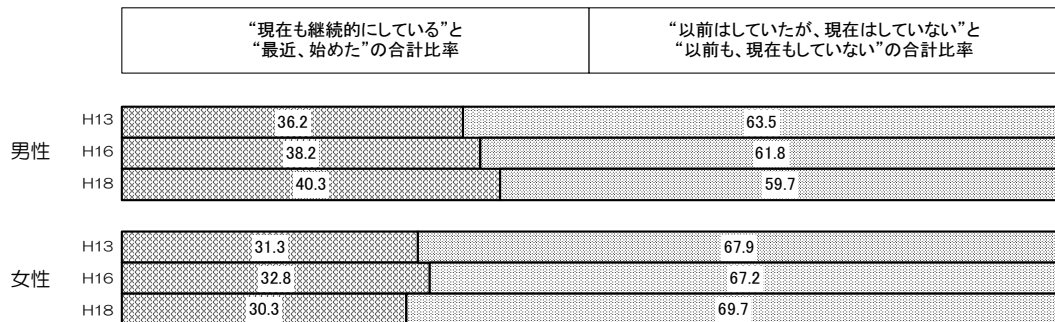
##### ◆ 日頃スポーツをしている人の割合はほぼ横ばい

日ごろ、運動・スポーツをしている人は、前回に比べほぼ横ばいとなっており、平成19年度目標値にはまだ16.0ポイントの開きがある。内訳をみると、“現在も継続的にしている”人が僅かに減少した一方、“以前はしていたが、現在はしていない”とする人は僅かに増加しており、これまで継続していた人の減少がうかがえ、今後の目標到達にあたっての懸念要因とも捉えられる。



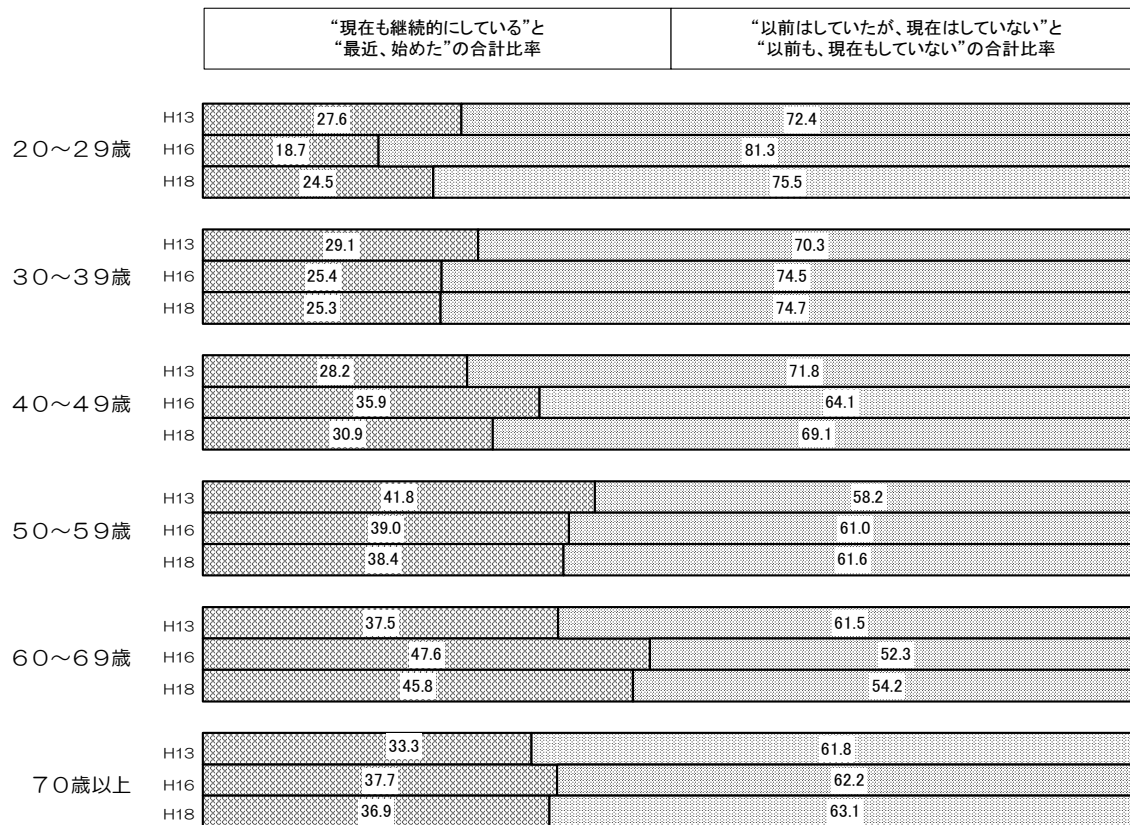
性別で見ると、前回と同様、男性の方がスポーツ活動を行っている人が多なっている。

【性別スポーツ活動】



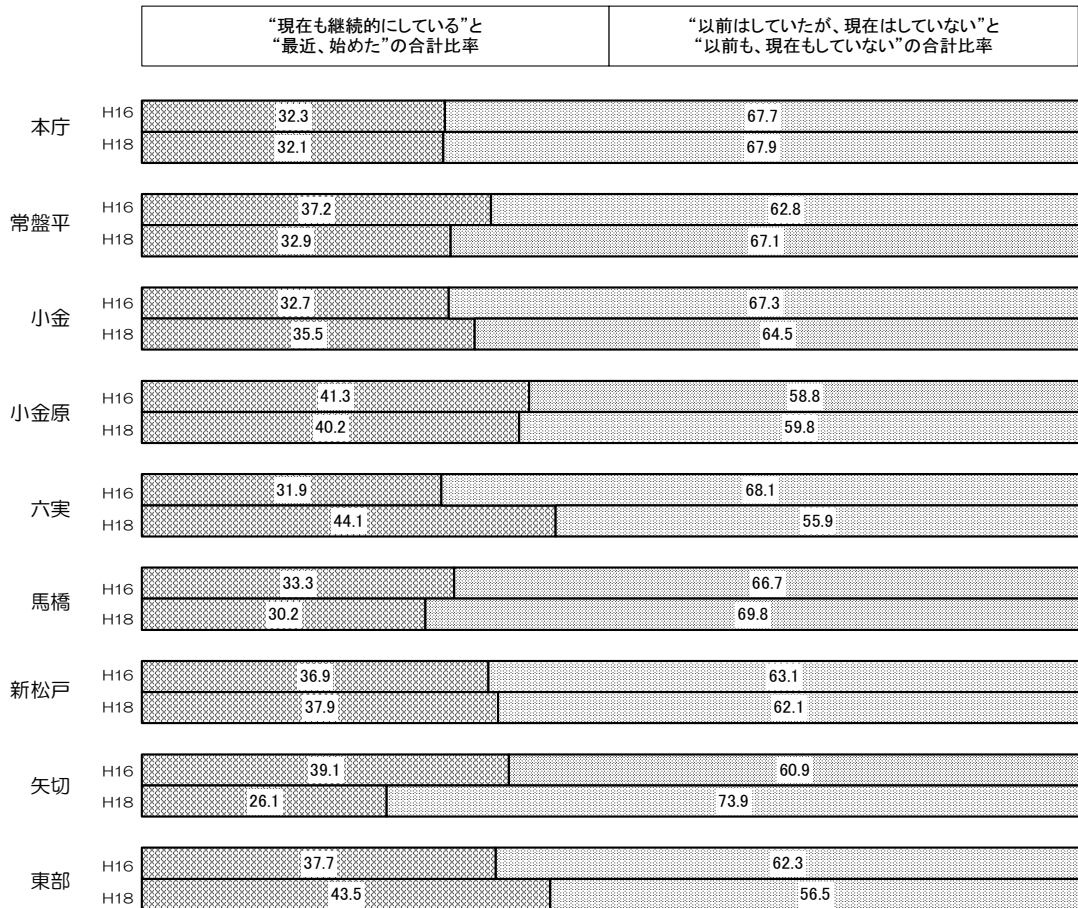
年齢別にみると、おおむね年齢層が上がるにつれ、スポーツ活動を行っている人の割合も高まる傾向にある。

【年齢別スポーツ活動】



地区別でみると、スポーツ活動を行っている人が多いのは、六実、東部、小金原地区で4割を超えている。一方、スポーツ活動を行っている人が少ない地区は、矢切地区で26.1%となっている。

【地区別スポーツ活動】



## 14) 第3節 次代を育む文化・教育環境の創造

### 第4項 国際化の推進と平和意識の高揚

目的:外国籍市民が暮らしやすくなる

指標:外国籍市民と交流している人の割合

#### ① 目的

国際化の時代にあって市民一人ひとりが、多種多様な民族的、文化的アイデンティティを尊重し、人に優しい生活システムを構築していくことにより、外国籍市民が暮らしやすくなるまちづくりの実現が必要であると考えます。

#### ② 指標

外国籍市民と交流する人達が増えることにより、日常生活の中で様々な不安やトラブルが減少するようになることを目指します。

#### ③ 設問

この指標は、次の設問により直接的に聞いている。「個人・行動」

あなたは日頃、松戸市に在住したり、滞在したりしている外国の方達と親しく接することがどのくらいありますか。(1つに○)

- 1 大変よくある    2 しばしばある    3 ときどきある    4 あまりない  
5 ほとんどない

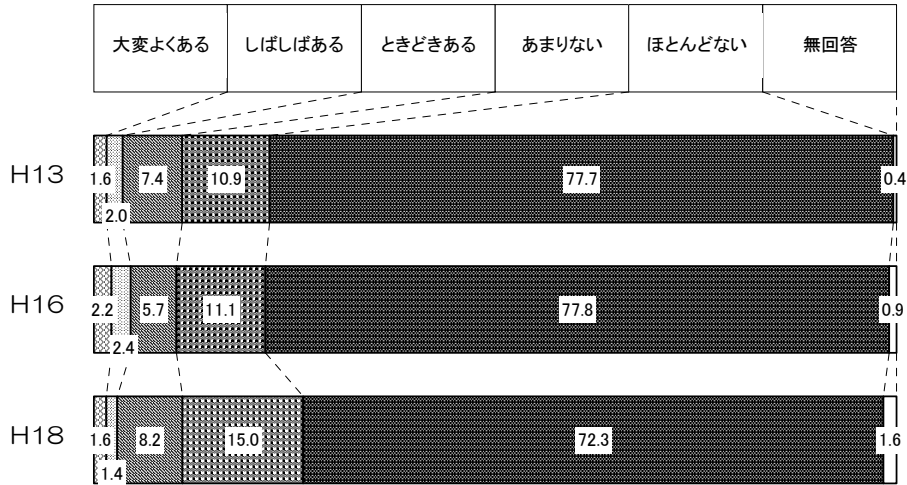
#### ④ 指標の現状(値)

カテゴリー	H13年度	H16年度	H18年度	H19年度(目標値)
大変よくある	1.6%	2.2%	1.6%	
しばしばある	2.0%	2.4%	1.4%	
計	3.6%	4.5%	2.9%	7.0%

#### ⑤ 指標の分析

##### ◆ 外国籍市民との交流は減少

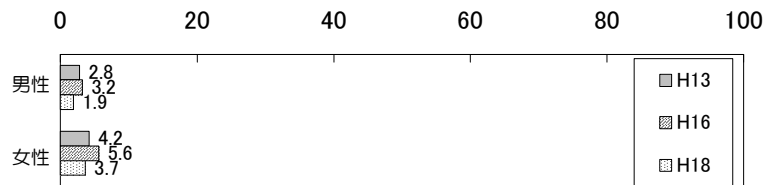
外国籍市民との交流が一定程度ある人は前回に比べ減少しており、平成19年度目標値を4.1ポイント下回っている。ただ、“ときどきある”は僅かに増加しており、外国籍市民との交流が“ほとんどない”人は減少している。



性別でみると、大きな差はみられないものの、女性の方がやや交流する人が多くなっている。

【性別外国籍市民との交流】

〔“大変よくある”と“しばしばある”の合計比率〕

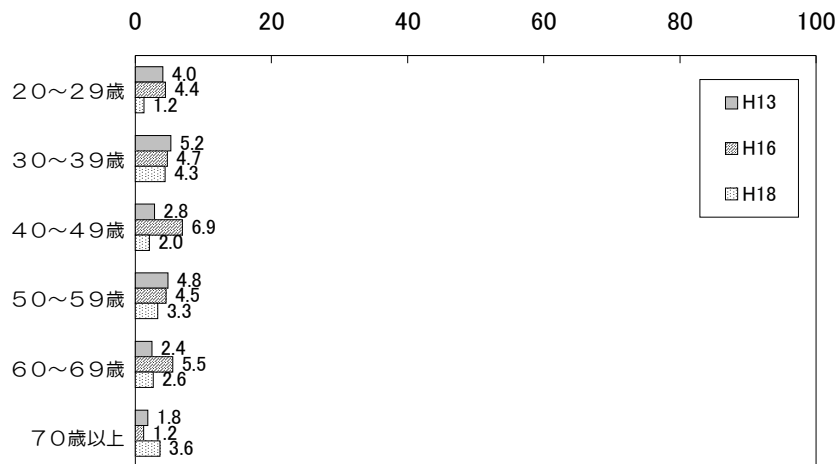


平成 18 年度	n 数	“大変よくある”と“しばしばある”の合計比率	“ときどきある”の比率	“あまりない”の比率	“ほとんどない”の比率
全体	1581	3.0	8.3	15.2	73.5
男性	671	1.9	6.6	14.0	77.5
女性	899	3.7	9.7	16.0	70.6

年齢別にみると、交流している人の割合が高い年齢層はみられない。

【年齢別外国籍市民との交流】

〔“大変よくある”と“しばしばある”の合計比率〕



平成 18 年度	n 数	“大変よくある”と“しばしばある”の合計比率	“ときどきある”の比率	“あまりない”の比率	“ほとんどない”の比率
全体	1575	3.0	8.3	15.2	73.5
20～29 歳	163	1.2	6.1	19.0	73.6
30～39 歳	322	4.3	8.4	16.8	70.5
40～49 歳	246	2.0	9.8	19.5	68.7
50～59 歳	305	3.3	8.9	14.4	73.4
60～69 歳	346	2.6	8.7	11.3	77.5
70 歳以上	193	3.6	6.7	11.9	77.7

## 15) 第3節 次代を育む文化・教育環境の創造

### 第4項 国際化の推進と平和意識の高揚

目的:すべての人が世界平和を望むようになる

指標:国際紛争に対する関心を示す人の割合

#### ① 目的

世界の人々、これから生まれてくる子どもたちに再び戦争等の悲惨さを繰り返さないために、世界唯一の被爆国として、平和の重みを感じ、平和を愛し、平和の大切さを深めて、何よりも尊い恒久平和に対する意識を高めることが重要と考えます。

#### ② 指標

国内においては、平和な状態が維持されているが、国家間の紛争や軍備の拡張、テロの台頭による緊張の高まりは、当事国だけの問題でなく様々な形で他国の平和を脅かしているため、世界にも目を向けた市民の平和に対する意識の高揚を図ることを目指します。

#### ③ 設問

この指標は、次の設問により単なる興味関心ではなく、解決という意識を聞いている。「社会・態度(関心)」

あなたは、現在世界のあちこちで起こっている国際紛争の解決について特に関心をお持ちですか。(1つに○)

- 1 大変関心を持っている      2 かなり関心を持っている  
3 ある程度関心を持っている      4 あまり関心を持っていない      5 ほとんど関心がない

#### ④ 指標の現状(値)

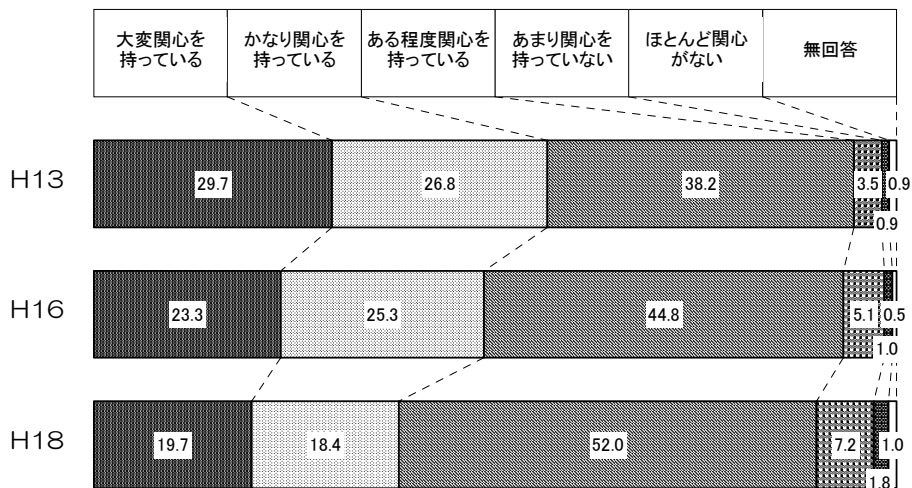
カテゴリー	H13年度	H16年度	H18年度	H19年度(目標値)
大変関心を持っている	29.7%	23.3%	19.7%	
かなり関心を持っている	26.8%	25.3%	18.4%	
計	56.5%	48.6%	38.0%	56.5%

#### ⑤ 指標の分析

##### ◆ 国際紛争の解決に対する関心は大幅に減少、日常的な関心事項に移行した可能性も

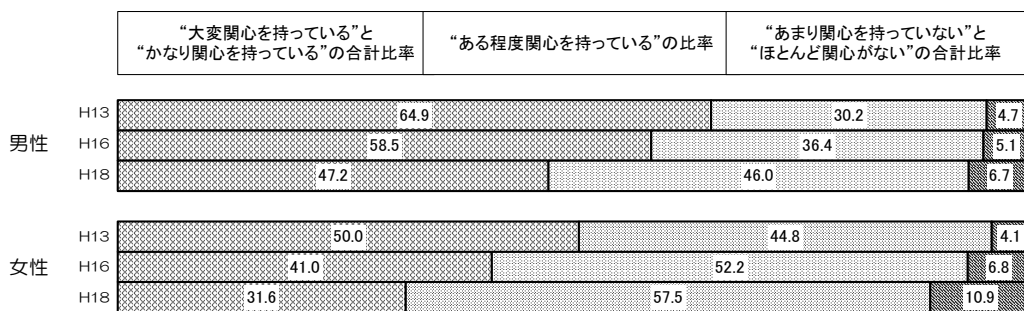
国際紛争の解決について、強い関心を持つ人の割合は、前回に比べ大幅に減少し、平成19年度目標値には18.5ポイントの隔たりがある。しかし、“ある程度関心を持っている”とする人は半数を超えており、国際情勢に対する関心が日常的なものとして、他の様々な関心事項と同じレベルに扱われているとも考えられる。





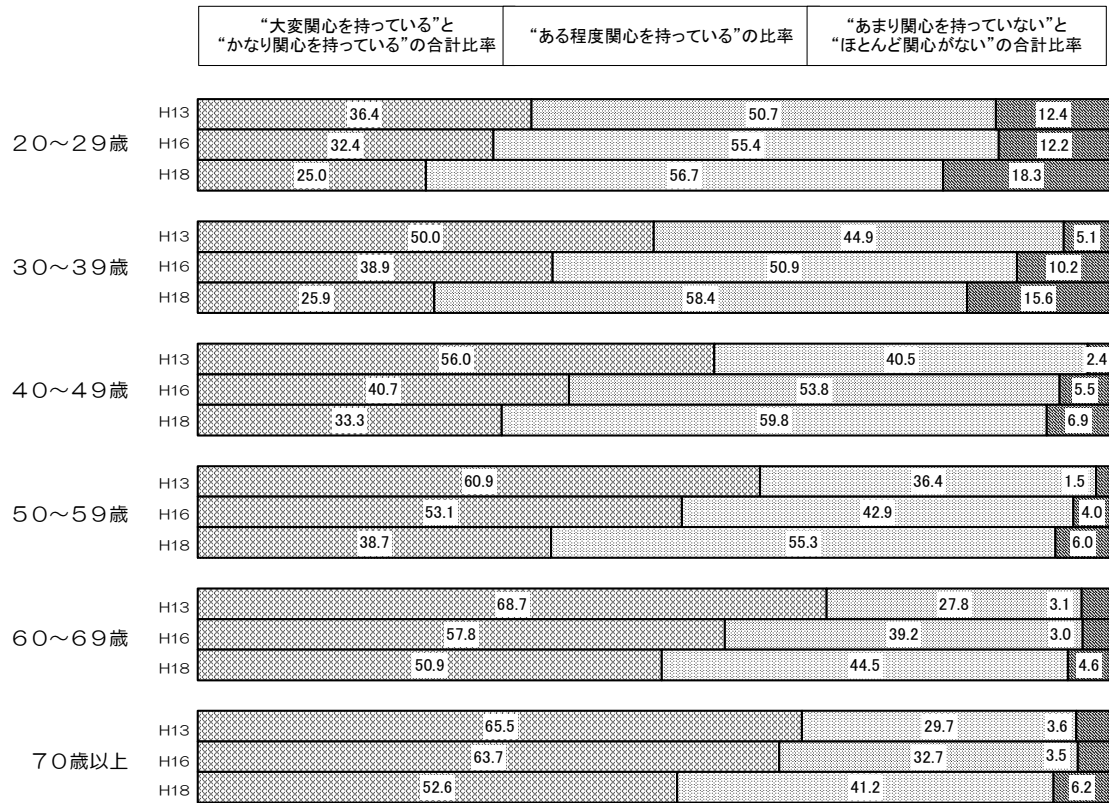
性別でみると、女性に比べ男性の方がより高い関心を持つ傾向にあるが、性別に関わりなく減少傾向にある。

【性別国際紛争】



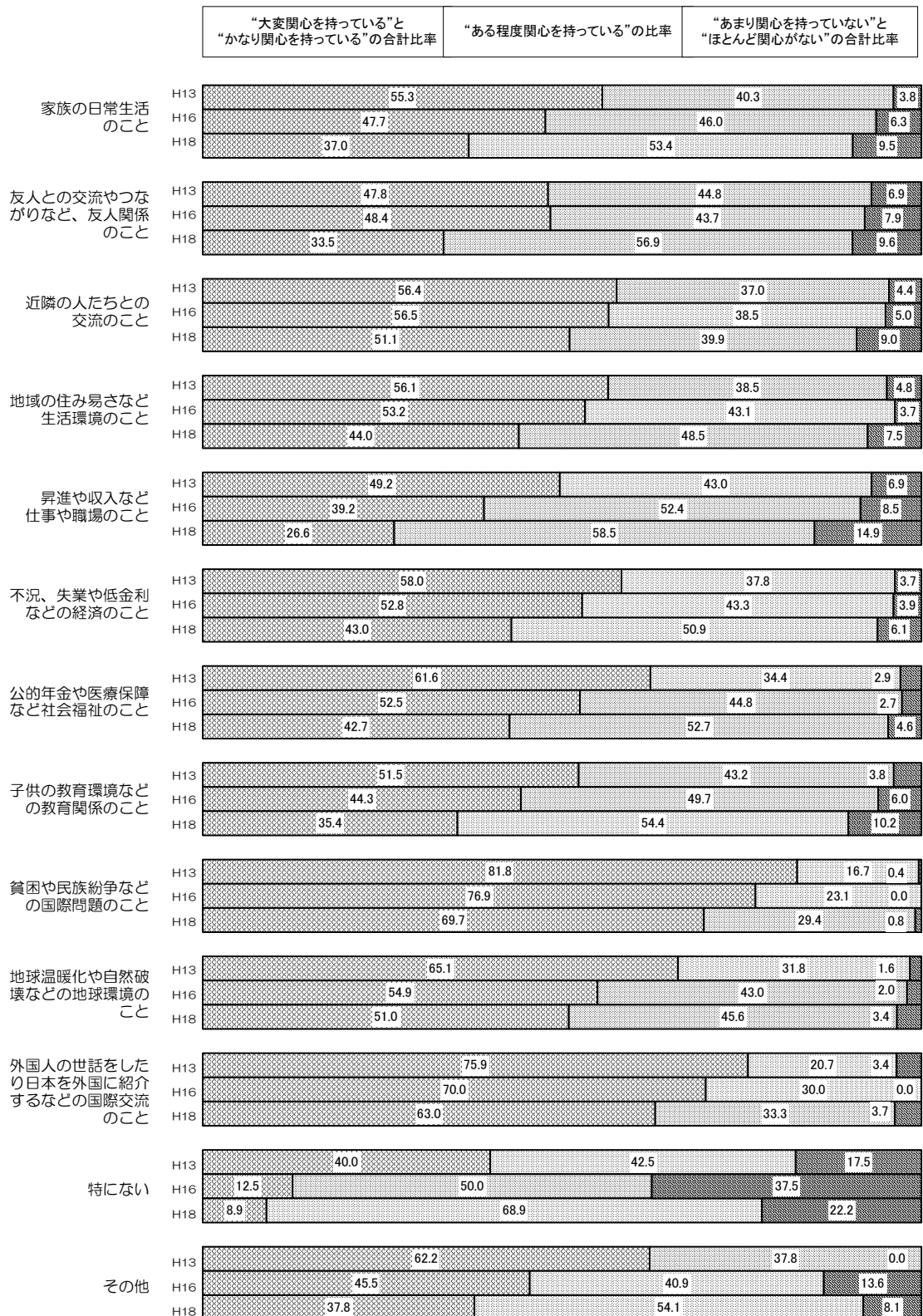
年齢別にみると、年齢層が上がるにつれ、関心が高まる傾向が、前回と同様みられるが、割合自体は年齢に関わりなく減少傾向にある。

【年齢別国際紛争】



日常的な興味や関心との関係をみると、国際問題や国際交流などに興味や関心を持つ人が国際紛争の解決にも高い関心を持っているが、その他の関心事項との差が減少しており、特別な問題ではなくなっているとも考えられる。

【興味や関心別国際紛争】



## 16) 第3節 次代を育む文化・教育環境の創造

### 第6項 多様な文化・芸術の創造

目的:より多くの人々が文化・芸術に親しみ、自ら創造的な活動をするようになる

指標:文化・芸術に親しむ人の割合

#### ① 目的

市民が自分の住むまちに愛着を感じ、郷土として誇りを持ち続けるには、文化的なアイデンティティーが大きな要素となります。市民自らが文化の担い手となり、独自の文化を創出していくことが求められており、わがまち「まつど」の文化芸術活動を促進し、市民はもとより市外の人にとっても魅力のあるまち「まつど」をつくり上げることが重要と考えます。

#### ② 指標

市民が親しんだり活動したりしている文化や芸術には様々なものがありますが、市民の自主的活動や自ら創造的な活動をする市民が増えていくことを目指します。そこで文化・芸術に親しむ市民の割合を指標として測ります。

#### ③ 設問

この指標は、次の設問により創作や実践と鑑賞を区分して直接的に聞いている。「個人・行動」

あなたは日頃、絵画、音楽、映像、演劇などの芸術文化を鑑賞したり、創作や実践することがありますか。(1つに○)

- |                         |             |
|-------------------------|-------------|
| 1 鑑賞し、自分でも創作や実践もしている    | 3 時々鑑賞している  |
| 2 よく鑑賞するが、自分では創作や実践はしない | 5 ほとんど鑑賞しない |
| 4 たまに鑑賞している             |             |

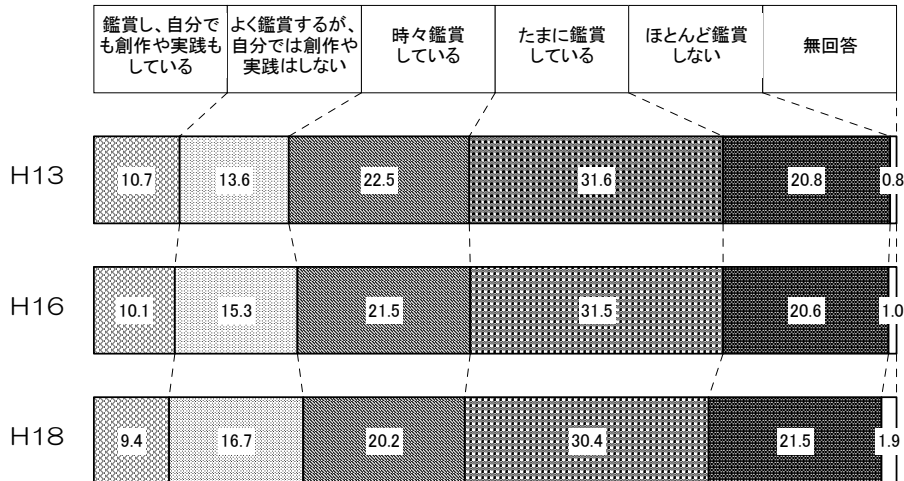
#### ④ 指標の現状(値)

カテゴリー	H13年度	H16年度	H18年度	H19年度(目標値)
鑑賞し、自分でも創作や実践もしている	10.7%	10.1%	9.4%	
よく鑑賞するが、自分では創作や実践はしない	13.6%	15.3%	16.7%	
時々鑑賞している	22.5%	21.5%	20.2%	
計	46.8%	46.9%	46.2%	50.0%

## ⑤ 指標の分析

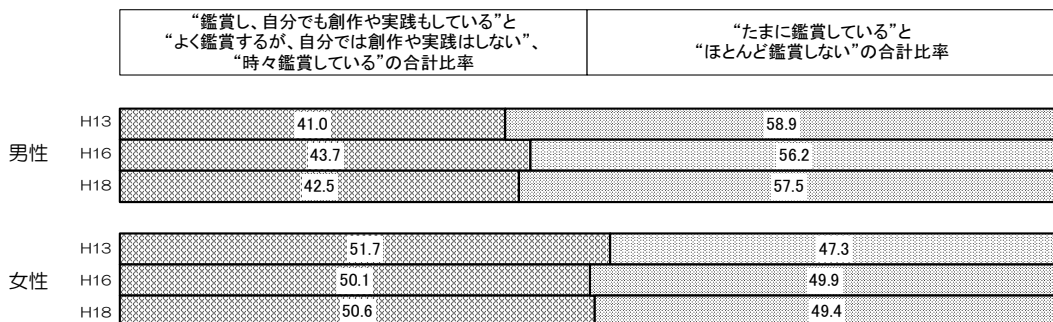
### ◆ 芸術文化に親しむ人はほぼ横ばいで推移

芸術文化に親しむ人の割合は、横ばい傾向で推移しており、平成19年度目標値とは3.8ポイントの開きがある。内訳としては、鑑賞、創作・実践ともに行う人はほぼ横ばい、よく鑑賞するが、創作・実践しない人はやや増加、時々鑑賞する人は僅かに減少となっている。基本的に、鑑賞中心の行動パターンは変わらない結果となっている。



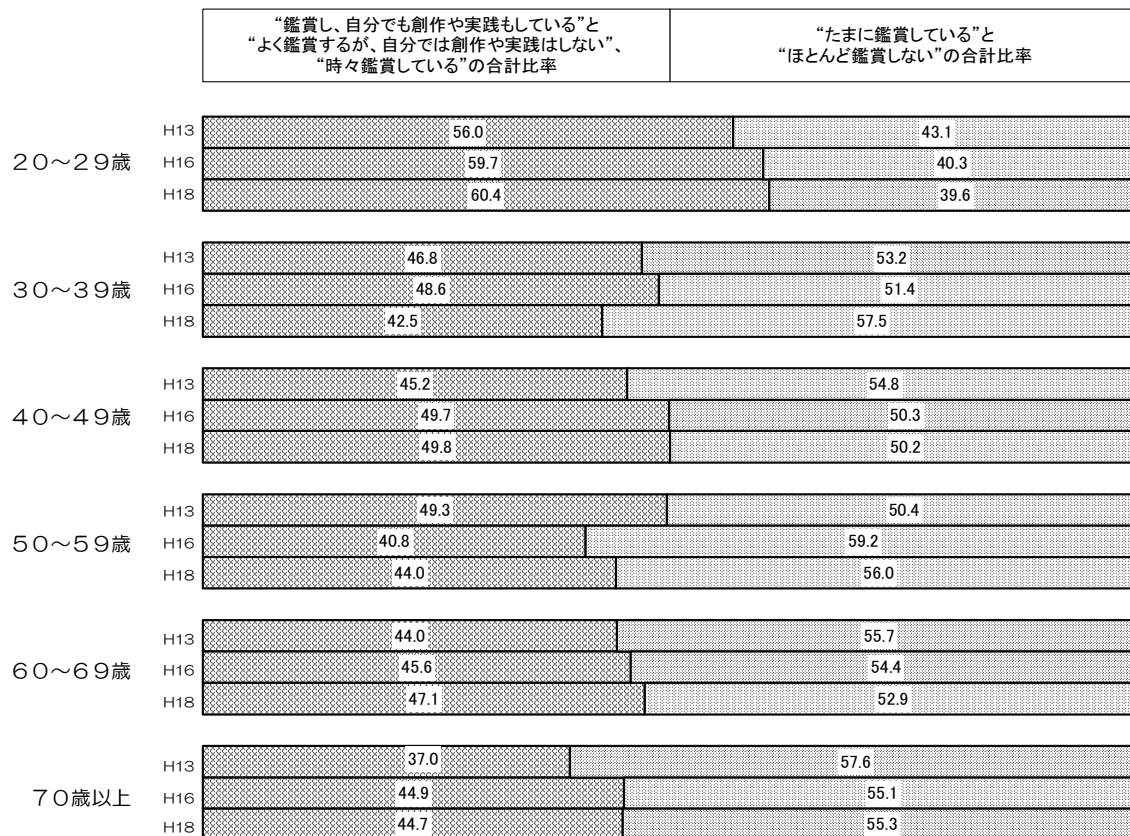
性別でみると、女性の方が芸術文化活動に対して積極的で、“鑑賞し、自分でも創作や実践もしている”と“よく鑑賞するが、自分では創作や実践はしない”、“時々鑑賞している”を合わせた芸術活動に積極的だとする人は半数を超えている。

#### 【性別文化・芸術活動】



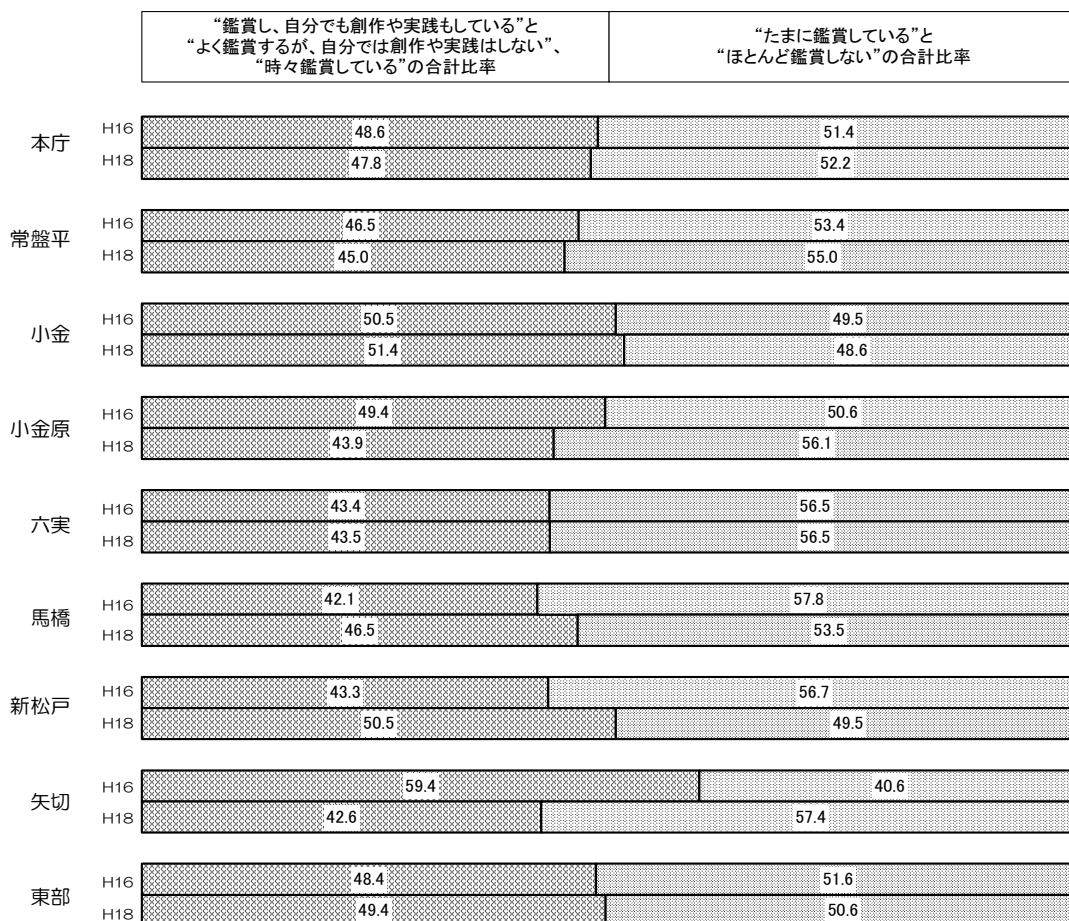
年齢別にみると、“鑑賞し、自分でも創作や実践もしている”と“よく鑑賞するが、自分では創作や実践はしない”、“時々鑑賞している”を合わせた芸術活動に積極的だとする人は、20歳代の若年世代では6割以上と比較的高い割合で、それ以外の中高年齢層では50%弱で推移している。

【文化・芸術活動×年齢】



地区別でみると、“鑑賞し、自分でも創作や実践もしている”と“よく鑑賞するが、自分では創作や実践はしない”、“時々鑑賞している”を合わせた芸術活動に積極的だとする人は、小金と新松戸で半数を超えているものの、その他の地区においても、ほぼ半数弱となっている。

【地区別文化・芸術活動】



## 17) 第4節 安全で快適な生活環境の実現

目的:安心してゆとりのある暮らしができるようにする

指標:安心やゆとりを感じている人の割合

### ① 目的

都市基盤の整備がある程度充足された現在、市民が求める生活は、量的な充足から質的向上へと変化し、住環境や自然環境に対する関心が高まり、災害や日常生活に対する安全性の向上が求められるとともに、より環境にやさしい生活スタイルが望まれており、安心してゆとりある社会づくりが重要と考えます。

### ② 指標

環境負荷低減、防災上の安全確保、消費生活におけるトラブルの減少は、暮らしに安心感を与え、住環境の拡大や自然環境の保全は、多くの人々にゆとり感を与えます。これらの安心やゆとりを感じている人の割合を増えることを目指します。

### ③ 設問

この指標は、「安心やゆとりの6項目の満足度」を組み合わせ聞いている。「地域・態度（評価）」

「保健・医療・福祉サービス」「緑地・河川などの自然環境」「空気のきれいさ、騒音、悪臭などの公害の少なさ」「まち並み、建物などまち全体の景観」「住環境のゆとりなどの住宅事情」「事故や災害に強い安全なまち」の6項目

あなたが松戸市で生活する中で、次のことについてそれぞれどの程度満足していますか。(1つに○)

- |            |              |         |
|------------|--------------|---------|
| 1 十分満足している | 2 まあまあ満足している | 3 普通である |
| 4 やや不満である  | 5 きわめて不満である  | 6 わからない |

### ④ 指標の現状（値）

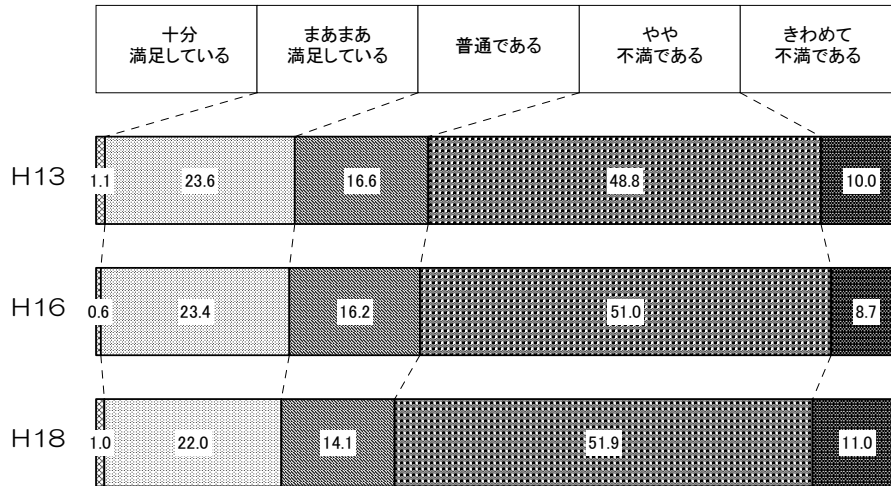
カテゴリー	H13年度	H16年度	H18年度	H19年度(目標値)
十分満足している	1. 1%	0. 6%	1. 0%	
まあまあ満足している	23. 6%	23. 4%	22. 0%	
計	24. 6%	24. 0%	23. 0%	30. 0%

### ⑤ 指標の分析

#### ◆ 安心やゆとりに関する満足度は僅かながら減少、安心感や安全性を求める地域ニーズ

日ごろ生活する中で、安心やゆとりに満足を感じている人の割合は、前回から僅かに減少し、平成19年度目標値には7.0ポイントの開きがある。保健福祉サービスや地域環境全般に関わる総合的な指標であり、少子高齢化や環境の保全、地域安全の確保など、社会的背景も踏まえ増大するニーズ・課題に対応していくことが求められ、今後も幅広い分野・対象への取り組みを継続していく必要がある。





注) 安心やゆとりの6項目の総合満足度については、次のような方法にもとづき算出している。  
 ・ Q17ア、ケ、コ、サ、シ、スの6つの質問の選択肢に表1の評価点をそれぞれ与える。  
 ・ 6つの質問の評価点の合計点を表2にしたがい分布をとる。

表1

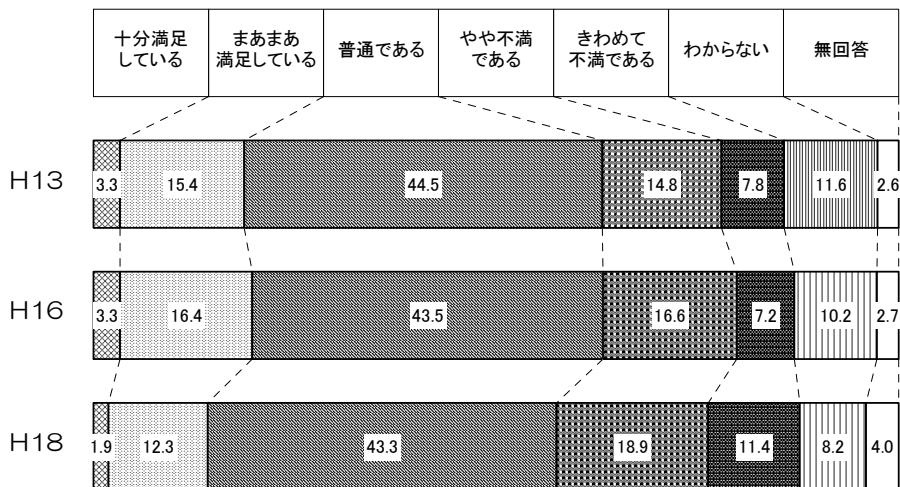
①「十分満足」	+2
②「まあまあ満足」	+1
③「普通」	0
④「やや不満」	-1
⑤「きわめて不満」	-2

表2

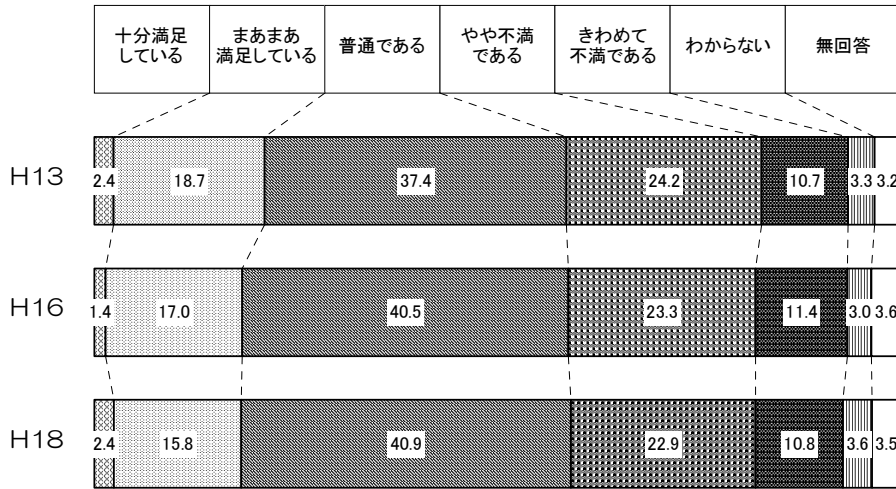
① 7点以上(十分満足している)
② 1~6点(まあまあ満足している)
③ 0点(普通である)
④ -1~-6点(やや不満である)
⑤ -7点以下(きわめて不満である)

「安心やゆとりの6項目の満足度」に関する各項目ごとにもみると、保健・医療・福祉の“十分満足している”と“まあまあ満足している”を合わせた満足度が5ポイント強減少しており、保健・医療・福祉サービスへの不満度の増大がみてとれる。自然環境、公害、景観、住宅事情、まちの安全性などについては、ほぼ横ばいとなっている。

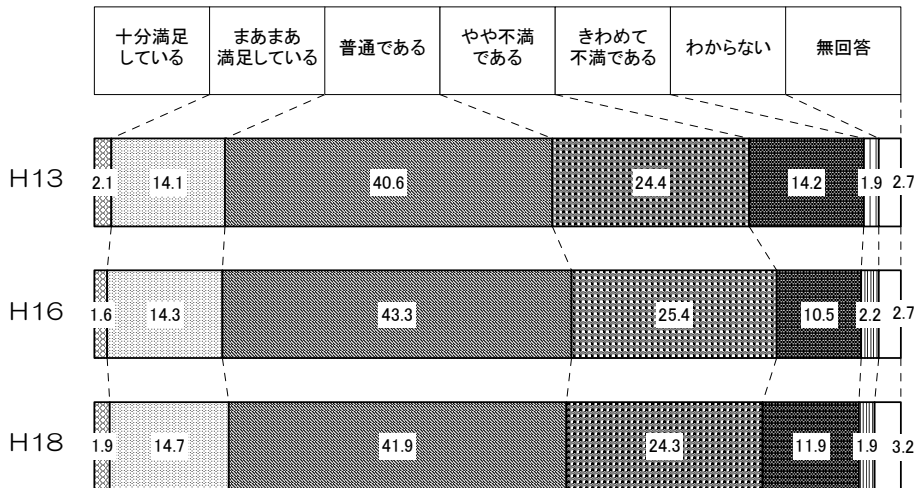
【保健・医療・福祉サービス】



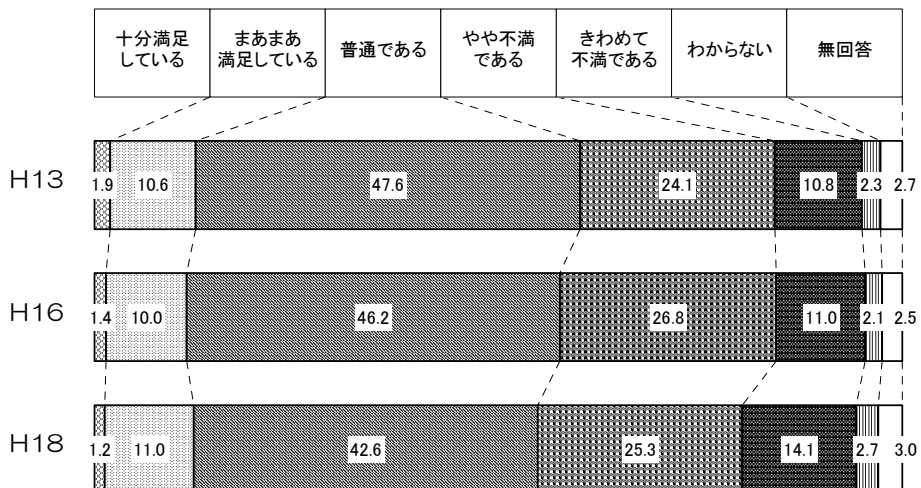
【緑地・河川などの自然環境】



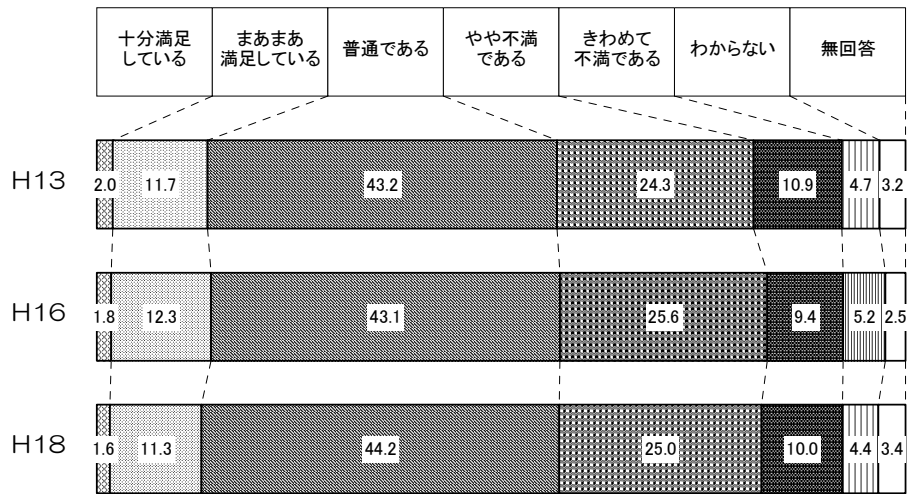
【空気のきれいさ、騒音・悪臭などの公害の少なさ】



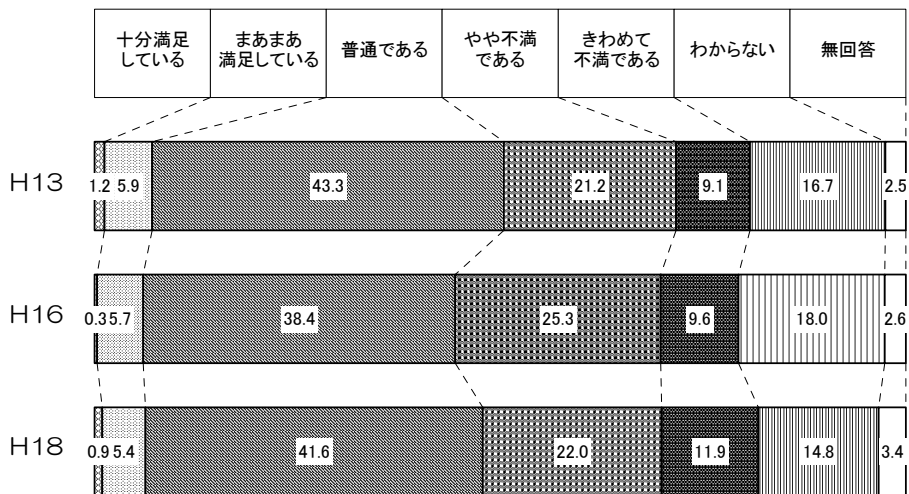
【まち並み、建物などまち全体の景観】



【住環境のゆとりなどの住宅事情】



【事故や災害に強い安全なまち】



## 18) 第4節 安全で快適な生活環境の実現

### 第2項 人と自然が共生するまちづくり

目的: 緑や水にふれあえるようにする

指標: 緑地・河川などの自然環境に満足している人の割合

#### ① 目的

市民は、自由時間の増大などにより、自然とふれあう余暇活動や、緑や川のボランティア活動への参加といった生活意識の変化に伴い、ゆとり、潤い、安らぎを豊かな緑や水辺に求めています。また、緑には機能面では環境保全、レクリエーション、防災および景観といった大切な役割があり、河川には治水・利水機能だけでなく多様な自然環境や水辺空間を活かした潤いのある生活と、地域の文化を育む場としての役割が求められています。

#### ② 指標

緑や水にふれあう度合いが増すことによって、これらの自然環境に対する市民の満足度も高くなると考え、緑地、河川などの自然環境に満足している人の割合を測ります。

#### ③ 設問

この指標は、次の設問により直接的に聞いている。「地域・態度（評価）」

「緑地・河川などの自然環境」の項目

あなたが松戸市で生活する中で、次のことについてそれぞれの程度満足していますか。(1つに○)

- |            |              |         |
|------------|--------------|---------|
| 1 十分満足している | 2 まあまあ満足している | 3 普通である |
| 4 やや不満である  | 5 きわめて不満である  | 6 わからない |

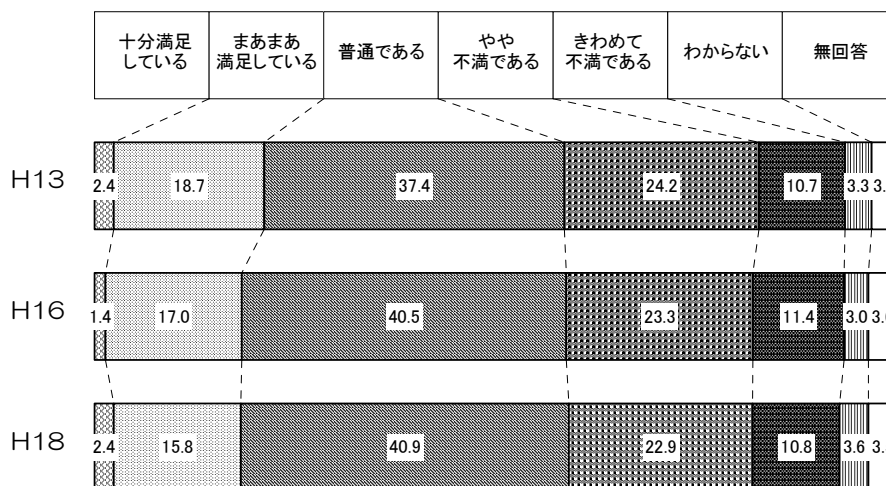
#### ④ 指標の現状（値）

カテゴリー	H13年度	H16年度	H18年度	H19年度（目標値）
十分満足している	2.4%	1.4%	2.4%	
まあまあ満足している	18.7%	17.0%	15.8%	
計	21.1%	18.4%	18.2%	25.0%

#### ⑤ 指標の分析

##### ◆ 自然環境に対する満足度は横ばい

緑地や河川などの自然環境についての満足度は、前回とほぼ同様の結果となっている。平成19年度目標値には、6.8ポイントの開きがある。



性別でみると、“十分満足している”と“まあまあ満足している”を合わせた満足度は男性の方がやや多いが、顕著な差はみられない。

【性別別自然環境】

		“十分満足している”と “まあまあ満足している”の合計比率	“普通である”の比率	“やや不満である”と “きわめて不満である”の比率
男性	H16	19.3	43.5	37.2
	H18	21.4	42.6	36.0
女性	H16	20.0	42.8	37.1
	H18	18.2	45.3	36.5

年齢別にみると、“十分満足している”と“まあまあ満足している”を合わせた満足度は70歳以上で3割を超えているが、一方“やや不満である”と“きわめて不満である”を合わせた不満度は、若年齢層から中壮年層で比較的高くなっている。

【年齢別自然環境】

		“十分満足している”と “まあまあ満足している”の合計比率	“普通である”の比率	“やや不満である”と “きわめて不満である”の比率
20～29歳	H16	20.5	37.1	42.4
	H18	18.8	39.0	42.2
30～39歳	H16	25.6	39.1	35.3
	H18	20.1	47.1	32.8
40～49歳	H16	14.2	39.7	46.1
	H18	14.0	42.6	43.4
50～59歳	H16	15.7	41.0	43.3
	H18	16.0	42.4	41.7
60～69歳	H16	19.4	49.1	31.5
	H18	21.6	45.3	33.0
70歳以上	H16	22.1	52.4	25.5
	H18	30.3	45.5	24.2

## 19) 第4節 安全で快適な生活環境の実現

### 第4項 安全で安心な地域環境づくり

目的:日常生活における火災・交通事故および地震等の災害が発生した時に被害を少なくする

指標:災害に対して自ら対策を講じている人の割合

#### ① 目的

災害はいつどこで発生するのか分かりません。市民が安心して日常生活を送ることができるまちをつくるために、市民と行政が協力して、災害が発生しても最小限の被害で止めることができる「災害に強いまちづくり」が重要と考えます。

#### ② 指標

ひとたび大地震が起これば建物の倒壊、火災、ライフライン等への多大な被害が発生し、人的被害が拡大する危険が潜んでいます。これらの被害を最小限に抑えるためには、行政による防災体制の確立を図るとともに、地域住民の防火防災意識の高揚や自主的な訓練など、日ごろからの備えが極めて重要です。

#### ③ 設問

この指標は、次の設問により直接的に聞いている。「個人・行動」

あなたは日頃、防災のための準備をしていますか。(全てに○)

- |               |               |                |
|---------------|---------------|----------------|
| 1 消火器の設置      | 2 家具などの転倒防止   | 3 水や食糧の備蓄      |
| 4 非常持ち出し用品の確保 | 5 身内との連絡方法の確立 | 6 避難経路や避難場所の確認 |
| 7 防災訓練などへの参加  | 8 その他( )      | 9 特に準備はしていない   |

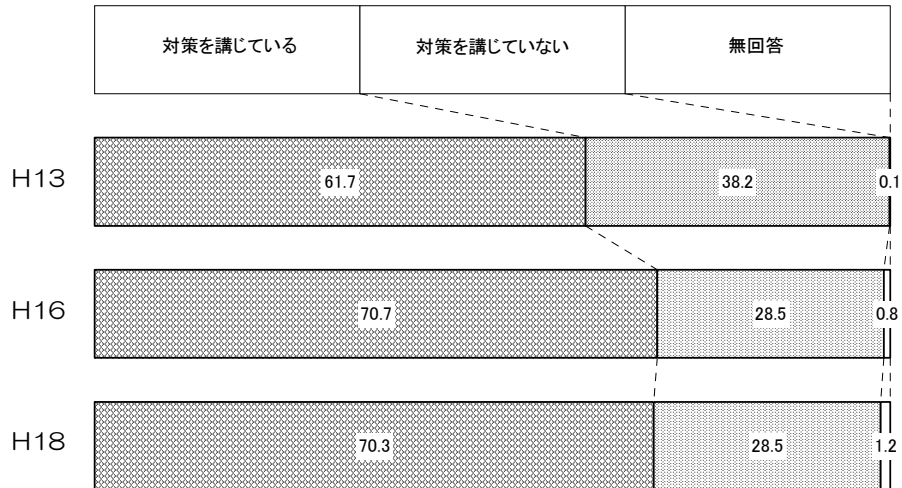
#### ④ 指標の現状(値)

カテゴリー	H13年度	H16年度	H18年度	H19年度(目標値)
対策を講じている	61.7%	70.7%	70.3%	70.2%

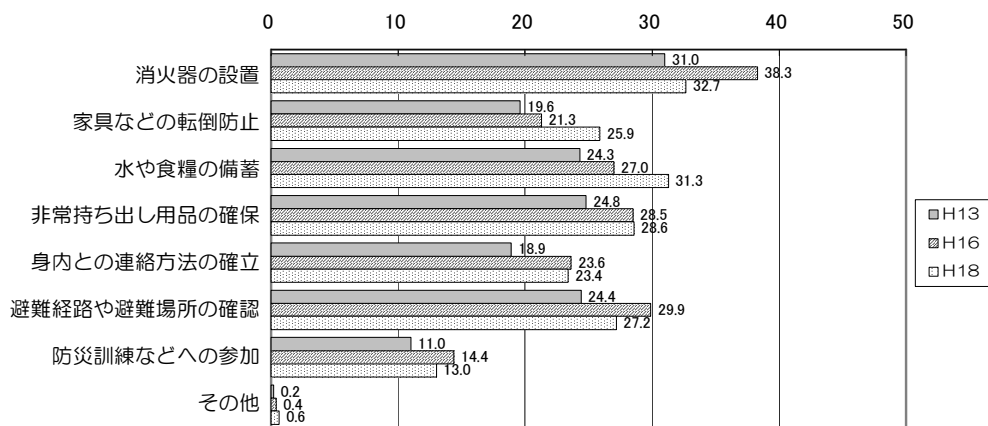
#### ⑤ 指標の分析

##### ◆ 災害に対する備えをする人は、横ばいで推移

災害に対して何らかの対策を講じている人は、前回同様7割となっており、平成19年度目標を達成している。さまざまな災害が伝えられ、国内においても地震や台風などの大災害が発生している昨今、市民一人ひとりの防災に対する関心も、高まっていることがうかがえる。

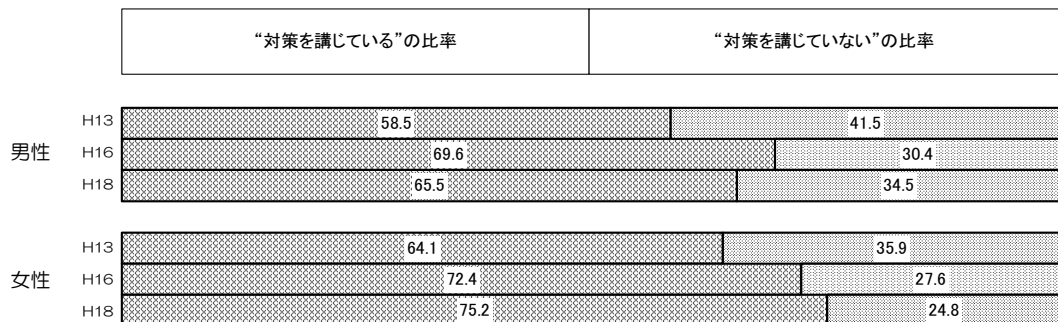


対策を講じている内容としては、“消火器の設置”と“水や食料の備蓄”とする人が3割を超えて比較的高くなっている。また、前回との比較で増加する傾向にある項目としては、“家具などの転倒防止”、“水や食料の備蓄”があげられる。



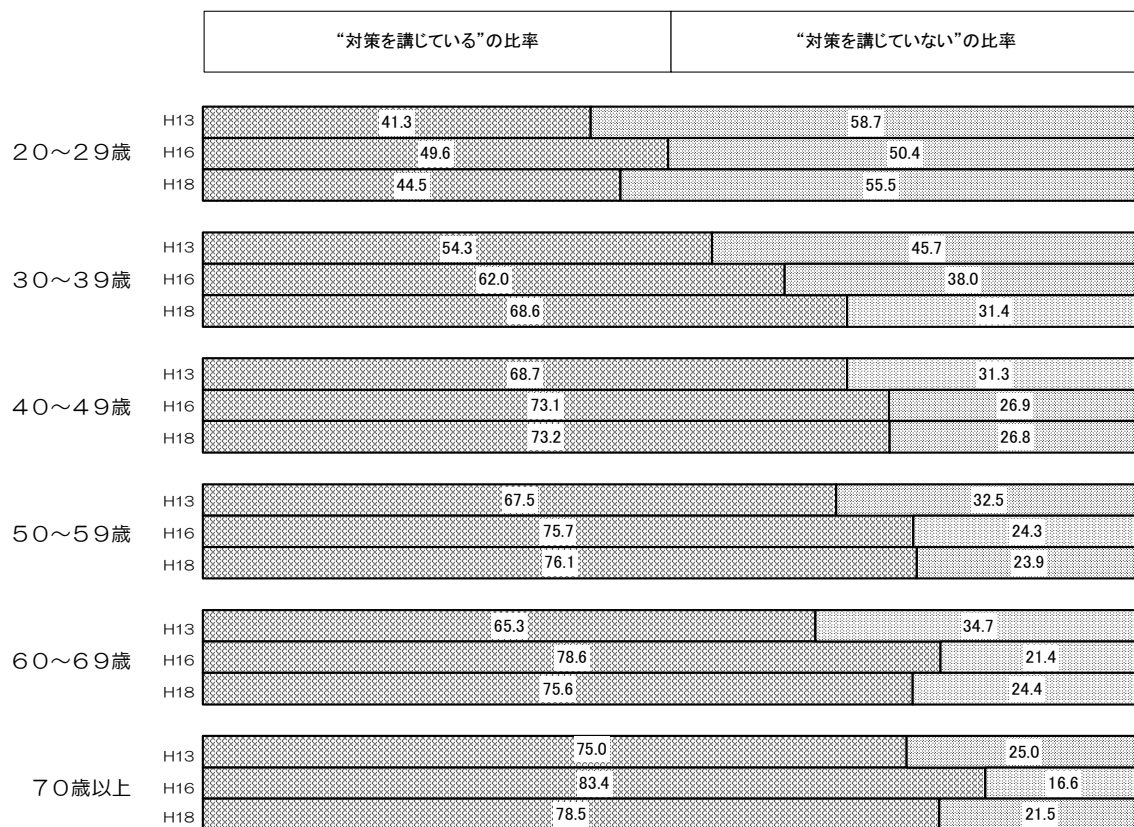
性別でみると、女性の方が対策を講じている人の割合がやや多い。

【性別防災意識】



年齢別にみると、年齢層が上がるにつれ、対策を講じている人の割合が高くなっており、20歳代を除く世代で6割を超える結果となっている。

【年齢別防災意識】





## 20) 第4節 安全で快適な生活環境の実現

### 第5項 自立をめざした消費者行政の推進

目的:商品やサービスの購入時に、トラブルに巻き込まれることが少なくなる

指標:商品やサービスの購入時に、トラブルに巻き込まれた人の割合

#### ① 目的

消費者生活に関する相談件数は、年々増加の一途をたどっています。

販売形態の多様化や悪質商法によってトラブルに巻き込まれてしまうことが多くあり、なかでも、キャッチセールスやアポイント商法等の被害が多い若者（10代、20代）や催眠商法等の被害が多い高齢者（60代以上）の相談が相談件数の4割以上を占めています。

また、相談件数の多い30代では、資格商法やマルチ商法等の被害に巻き込まれてしまうケースが目立っています。このような多様化するトラブルに市民が巻き込まれないようにすることが必要と考えます。

#### ② 指標

消費者トラブルに巻き込まれた人の割合を減少させ、自立した消費行動をとれるよう支援していきます。

#### ③ 設問

この指標は、次の設問により期間を限定して直接的に聞いている。「個人・行動」

設問:あなたは、この1年間に買い物などの消費の際にトラブルや被害にあったことがありますか。

(全てに○)

- 1 店舗で購入した商品やサービスでのトラブルや被害
- 2 訪問販売で購入した商品やサービスでのトラブルや被害
- 3 通信販売で購入した商品やサービスでのトラブルや被害
- 4 電話勧誘販売で購入した商品やサービスでのトラブルや被害
- 5 その他( )
- 6 トラブルや被害にあっていない

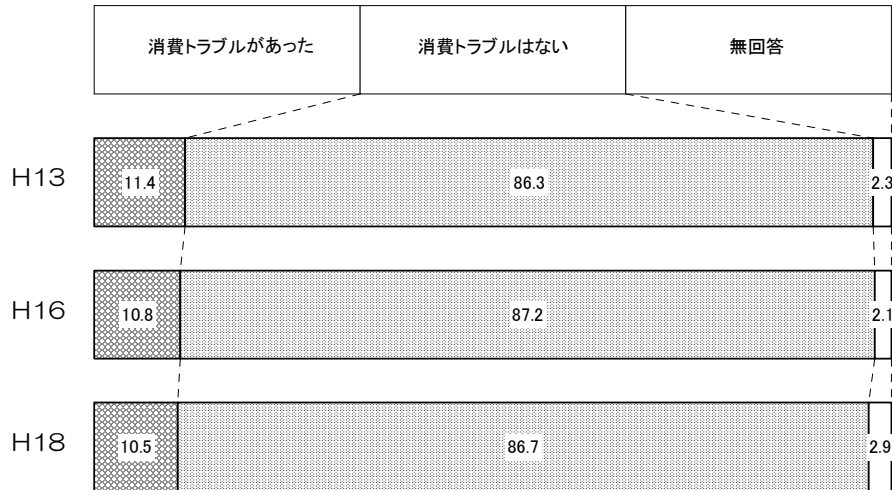
#### ④ 指標の現状(値)

カテゴリー	H13年度	H16年度	H18年度	H19年度(目標値)
トラブルや被害に巻き込まれた	11.4%	10.8%	10.5%	10.0%

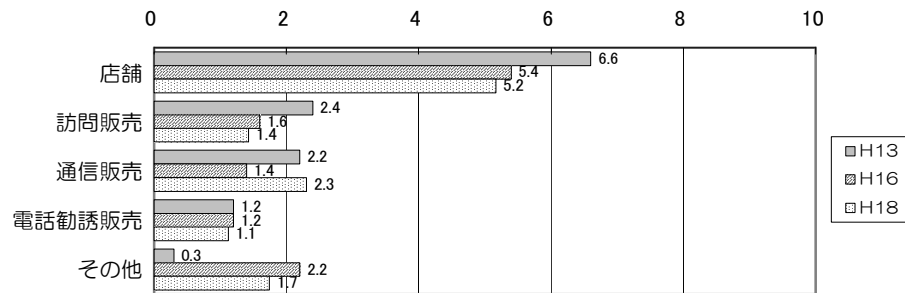
## ⑤ 指標の分析

### ◆ 消費者トラブルにあう人は横ばい

消費者トラブルにあったことのある人の割合は、前回に比べほぼ横ばいとなっており、平成19年度目標値に近づきつつある状況となっている。回答者全体に占める割合は少ないものの、消費者トラブルの多様化、複雑化が進む今日、未然防止に向けた消費者保護対策にさらに取り組んでいく必要がある。

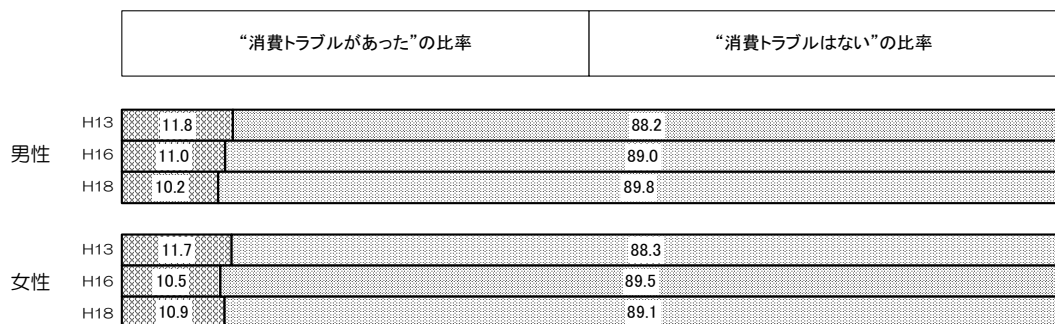


トラブルや被害の内容としては、前回同様“店舗”によるものが最も多くなっている。“通信販売”は前回に比べ僅かであるが増加している。



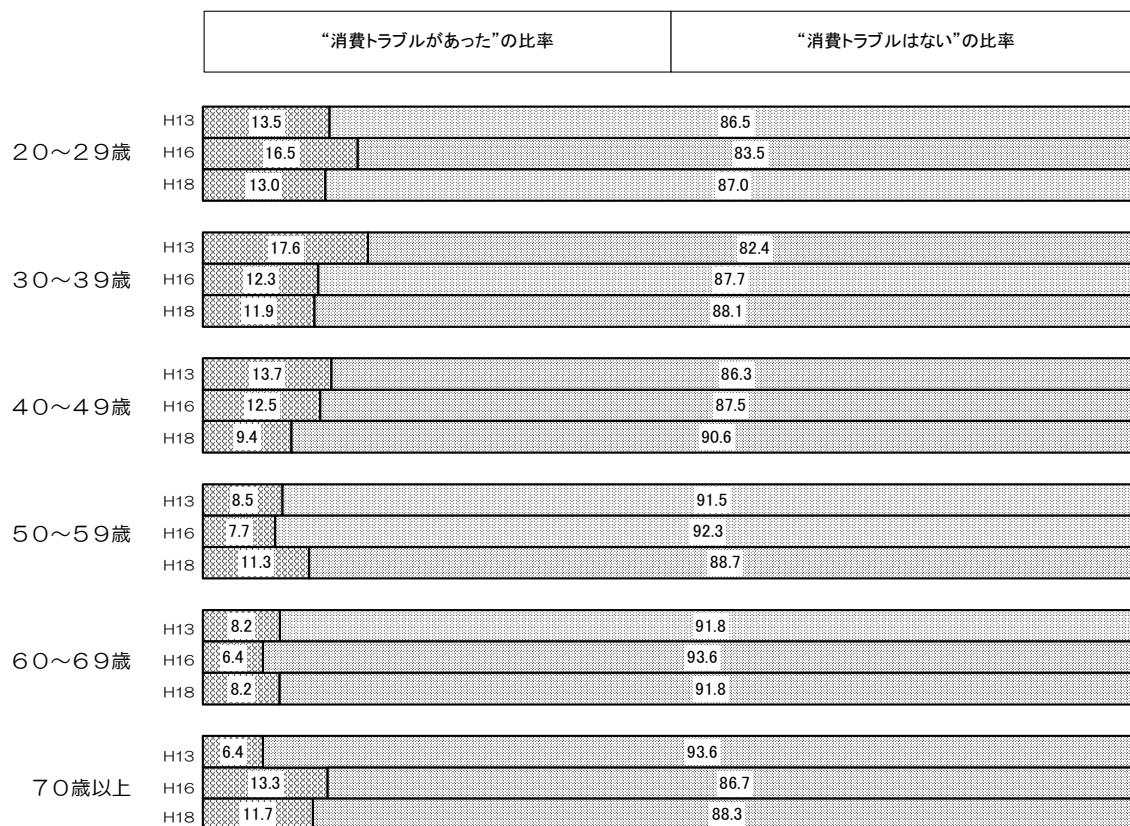
性別による違いはほとんどみられない。

#### 【性別消費トラブル】



年齢別にみると、何らかのトラブルにあっていてる人の割合は年齢層にかかわらず1割前後みられる。

【年齢別消費トラブル】



## 21) 第5節 魅力ある都市空間の形成と産業の振興

目的: 快適で便利な賑わいのあるまちに住むことができるようにする

指標: 快適・便利・賑わいがあると感じている人の割合

### ① 目的

首都圏の近郊都市として発展してきた本市にとっては、都市基盤の強化や商工業の維持発展により快適性や利便性を向上させることや地域の独自性を高め、観光や就労・就学の交流人口を増やすことが重要であると考えます。

### ② 指標

都市機能の強化は、快適性や利便性の向上となり、産業の振興と雇用の確保、観光資源の活用や商圈の拡大等による交流人口の増加は賑わいをもたらすものです。そこで、都市機能の強化により快適・便利・賑わいがあると感じている人の割合を増加させることを目指します。

### ③ 設問

この指標は、「快適・便利・賑わいの4項目の満足度」を組み合わせ聞いている。「地域・態度（評価）」

「まちの賑わいや買い物の便」「通勤、通学などの交通の便」「道路、公園、下水道などの都市施設」「特色ある祭りや地域ぐるみのイベント」の4項目

あなたが松戸市で生活する中で、次のことについてそれぞれどの程度満足していますか。(1つに○)

- |            |              |         |
|------------|--------------|---------|
| 1 十分満足している | 2 まあまあ満足している | 3 普通である |
| 4 やや不満である  | 5 きわめて不満である  | 6 わからない |

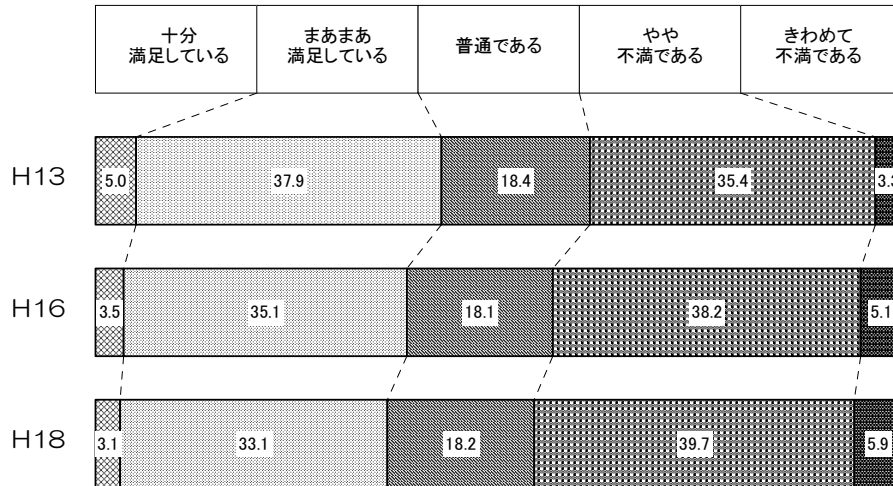
### ④ 指標の現状（値）

カテゴリー	H13年度	H16年度	H18年度	H19年度（目標値）
十分満足している	5.0%	3.5%	3.1%	
まあまあ満足している	37.9%	35.1%	33.1%	
計	42.9%	38.6%	36.2%	45.0%

### ⑤ 指標の分析

#### ◆ 快適・便利・賑わいの満足度は僅かに減少、多様化・高度化する住民ニーズへの対応も課題

日ごろ生活する中で、快適・便利・賑わいについて満足している人の割合は、前回から僅かに減少しており、平成19年度目標値には8.8ポイントの開きがある。生活の利便性や都市としての活力に関する指標については、住民ニーズの多様化・高度化を背景として、満足度の向上につながらない様子が見えてくる。



注) 快適・便利・賑わいの4項目の総合満足度については、次のような方法にもとづき算出している。

- ・ Q17 イ、ウ、キ、ソの4つの質問の選択肢に表1の評価点をそれぞれ与える。
- ・ 4つの質問の評価点の合計点を表2にしたがい分布をとる。

表1

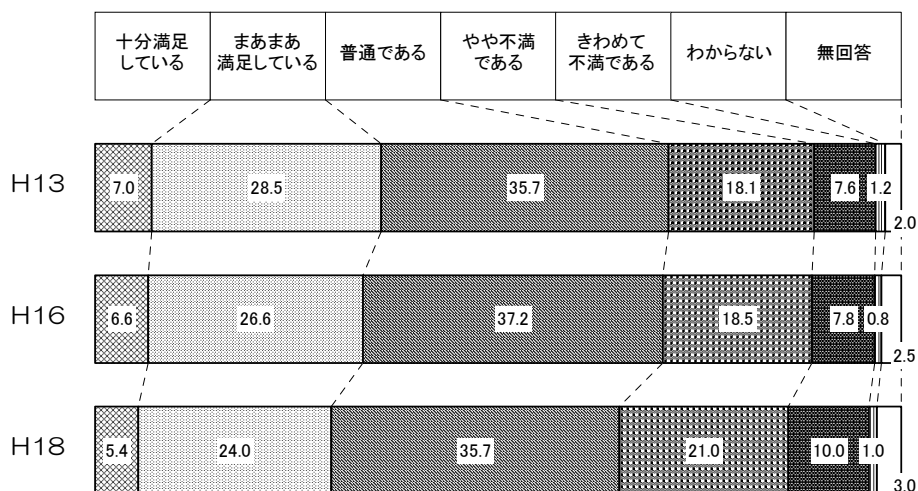
①「十分満足」	+2
②「まあまあ満足」	+1
③「普通」	0
④「やや不満」	-1
⑤「きわめて不満」	-2

表2

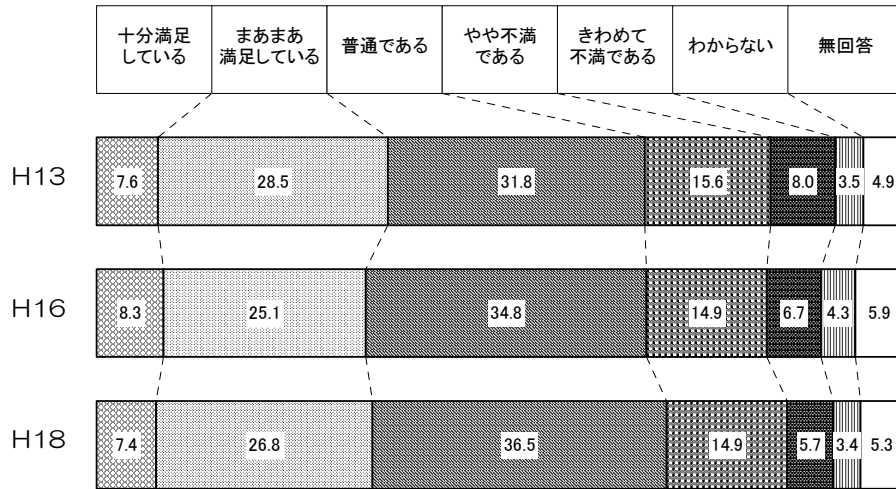
- ① 5点以上（十分満足している）
- ② 1～4点（まあまあ満足している）
- ③ 0点（普通である）
- ④ -1～-4点（やや不満である）
- ⑤ -5点以下（きわめて不満である）

「快適・便利・賑わいの4項目の満足度」に関する各項目ごとにもみると、「十分満足している」と「まあまあ満足している」を合わせた満足度の比較的高い項目としては交通の便があげられ、反対に不満の大きいものは買い物の便と都市施設があがっている。

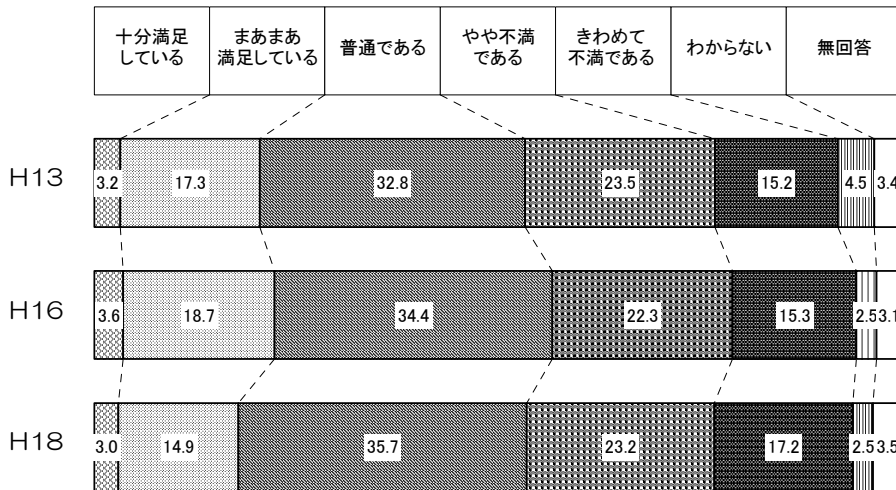
【まちの賑わいや買い物の便】



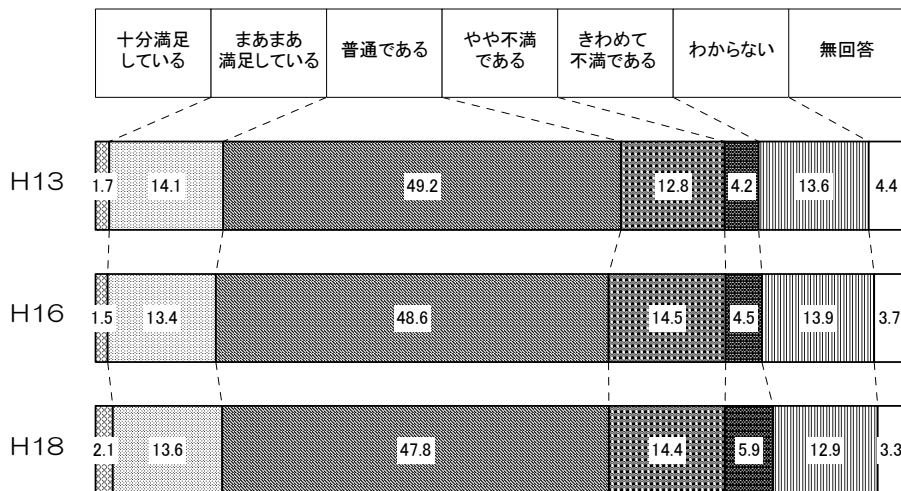
【通勤・通学などの交通の便】



【道路、公園、下水道などの都市施設】



【特色ある祭りや地域ぐるみのイベント】



## 22) 第5節 魅力ある都市空間の形成と産業の振興

### 第2項 都市基盤の整備

目的:いつでも安心して水が使えるようにする

指標:(水道水に)満足している人の割合

#### ① 目的

市民は健康に係る水の安全性について関心が高く、水道は生活を支える基本的要素であり、安全な水をいつでも使えるようにしておくことが重要と考えます。

#### ② 指標

水道の質・量・料金は、利用者にとって基本的な要件となっています。これらに満足している人の割合が増えることを目指します。

#### ③ 設問

この指標は、次の設問により直接的に聞いている。「地域・態度(評価)」

あなたが松戸市で生活する中で、水道水のおいしさ、安さについてどの程度満足していますか。

- |            |              |         |
|------------|--------------|---------|
| 1 十分満足している | 2 まあまあ満足している | 3 普通である |
| 4 やや不満である  | 5 きわめて不満である  | 6 わからない |

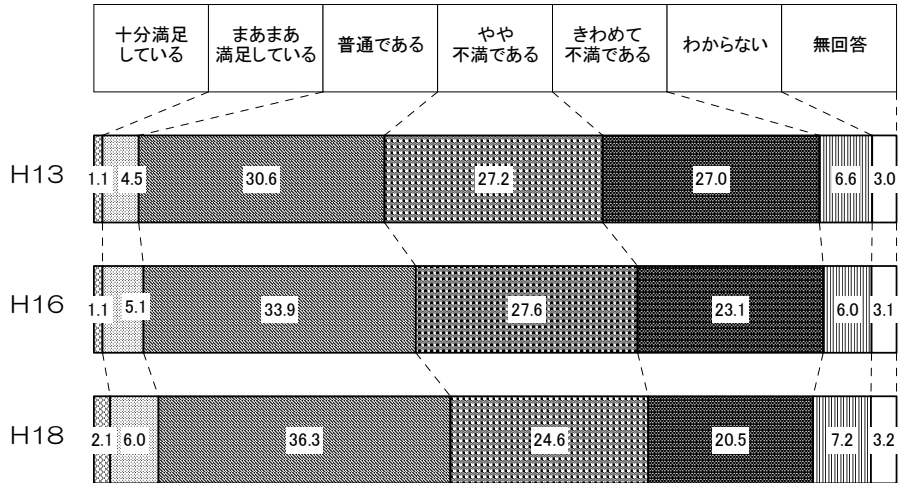
#### ④ 指標の現状(値)

カテゴリー	H13年度	H16年度	H18年度	H19年度(目標値)
十分満足している	1. 1%	1. 1%	2. 1%	
まあまあ満足している	4. 5%	5. 1%	6. 0%	
計	5. 6%	6. 2%	8. 1%	

#### ⑤ 指標の分析

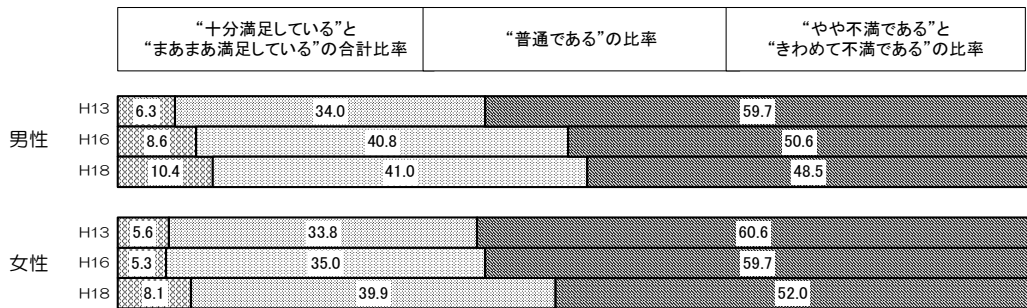
##### ◆ 水道水に満足する人は僅かに増加、全体では不満を感じる人が多い

水道水に対し満足している人の割合は、前回に比べ僅かに向上している。全体では不満との回答が多いものの、今回は“やや不満である”、“きわめて不満である”が減少しているのが注目される。



性別で見ると、男女の差はほとんどない。

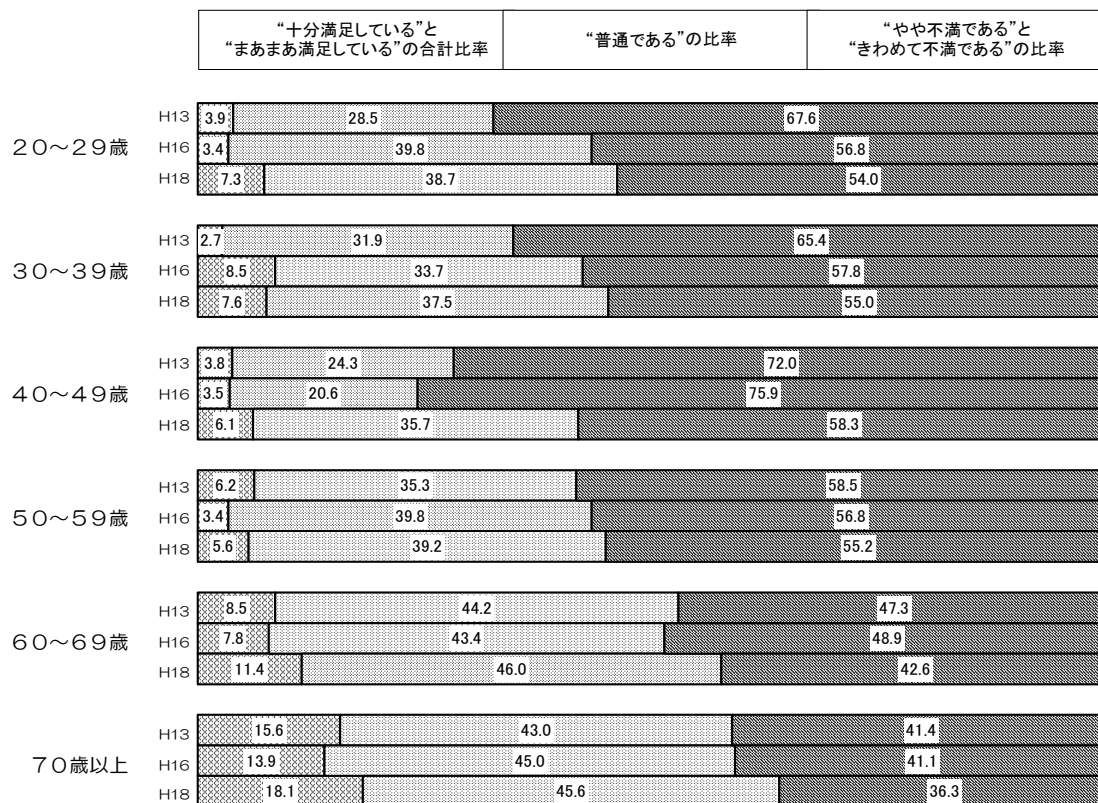
【性別水道水】





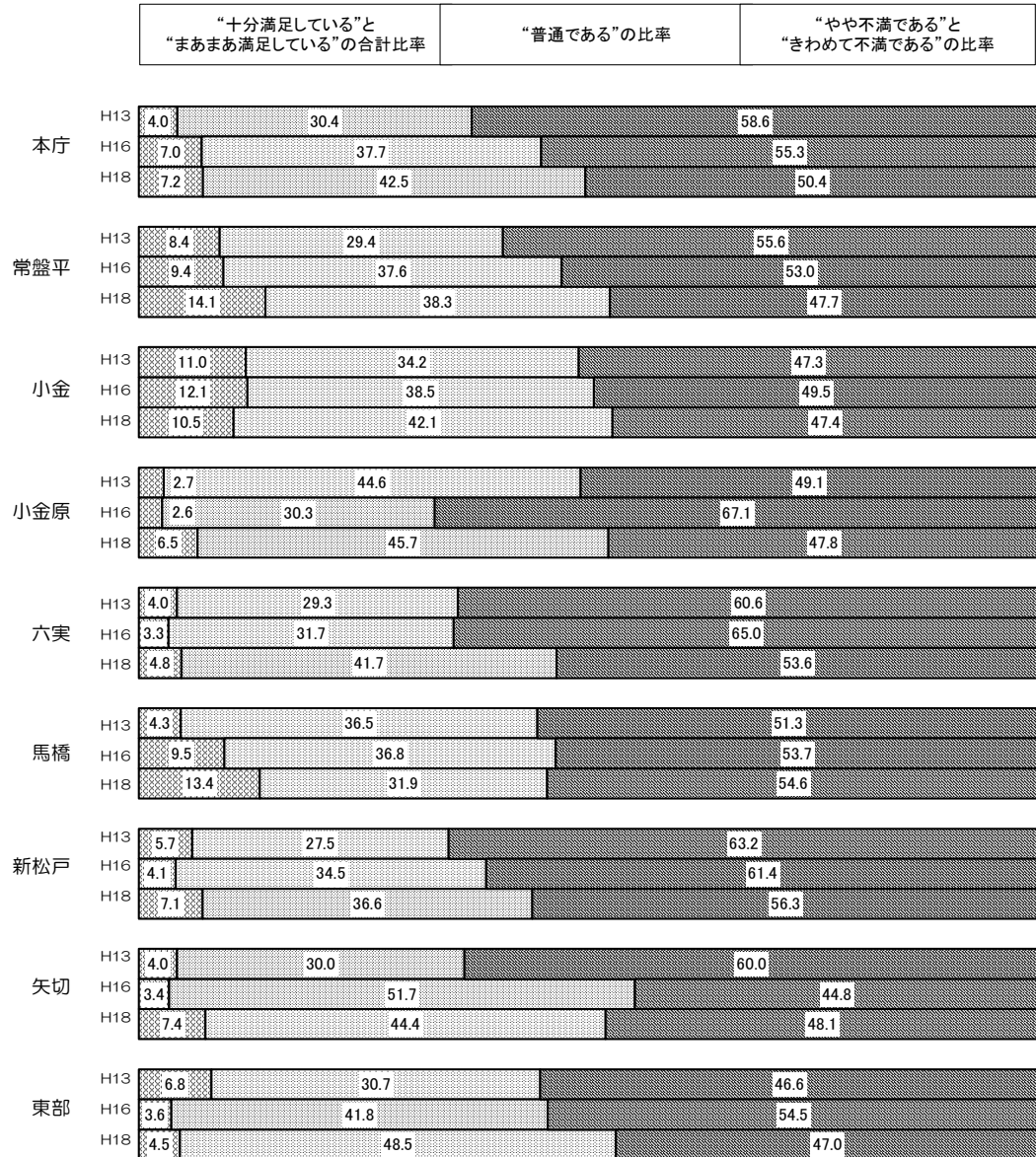
年齢別でみると、おおむね年齢が上がるにつれ満足度が高まる傾向にある。

【年齢別水道水】



地区別にみると、“十分満足している”と“まあまあ満足している”を合わせた満足度が 10%を超えるのは、常盤平、馬橋、小金である。一方、“やや不満である”と“きわめて不満である”を合わせた不満度が 50%を超えるのは新松戸、馬橋、六実、本庁である。

【地区別水道水】



## 23) 第6節 都市経営の視点に立った行財政運営

### 第5項 庁舎および庁舎機能の整備充実

目的:市役所・支所の利便性を向上させる

指標:市役所・支所を不便と感じている人の割合

#### ① 目的

市役所や支所は市民サービスの基点であり、その利便性を向上させることが市民サービスの向上に直接影響を与えると考えられます。

#### ② 指標

市役所や支所といった市民に身近な施設のハード面における利便性や不便性を調査することで、庁舎機能のうち今後整備すべき優先順位を検証できると思われれます。また、市役所や支所といった公的な場所が全てバリアフリーになっていることは市民の役にたつ人のいる場所としては大事なことと思われれます。

#### ③ 設問

この指標は、次の設問により直接的に聞いている。「個人・意向」

あなたは市役所への問合せや、窓口の手続、サービスの利用などの際、市役所や支所などが身近で便利だと感じていますか。(1つに○)

- |                  |                 |
|------------------|-----------------|
| 1 大変便利だと感じている    | 2 かなり便利だと感じている  |
| 3 ある程度便利だと感じている  | 4 あまり便利だと感じていない |
| 5 ほとんど便利だと感じていない |                 |

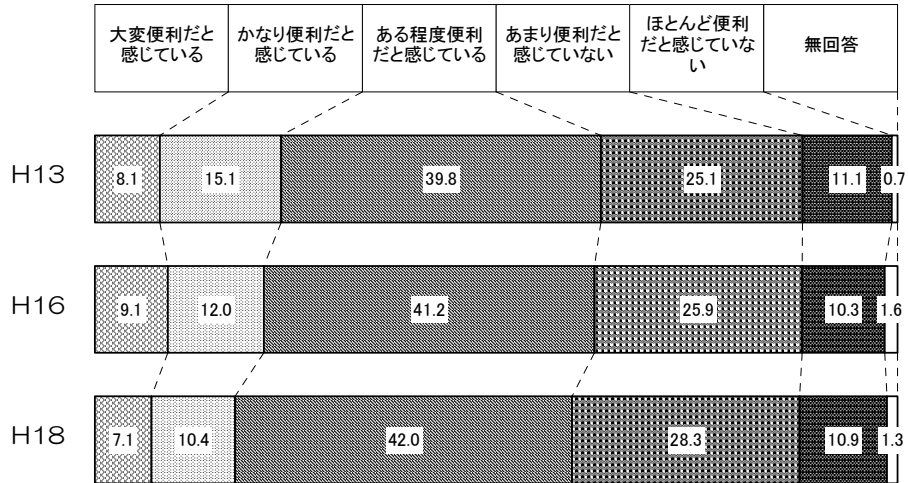
#### ④ 指標の現状(値)

カテゴリー	H13年度	H16年度	H18年度	H19年度(目標値)
あまり便利だと感じていない	25.1%	25.9%	28.3%	
ほとんど便利だと感じていない	11.1%	10.3%	10.9%	
計	36.2%	36.2%	39.2%	32.0%

#### ⑤ 指標の分析

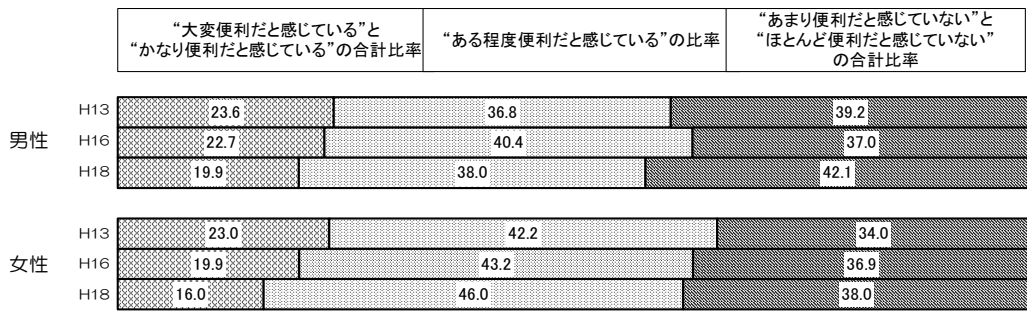
##### ◆ 市役所・支所の利便性については不便であるとする人が増加

市役所・支所を便利だと感じていない人の割合は、前回から増加しており、平成19年度目標値には7.2ポイントの開きがある。“ある程度便利”を含めれば、全体では何らかの利便性を感じている人の割合が高く、今後より高めていく方向性が求められる。一方で、市役所・役所を利用する頻度等によっても評価が左右される部分もあり、めったに利用することのない人にとっては、そもそも便利・不便を実感するに至っていない場合も考えられる。



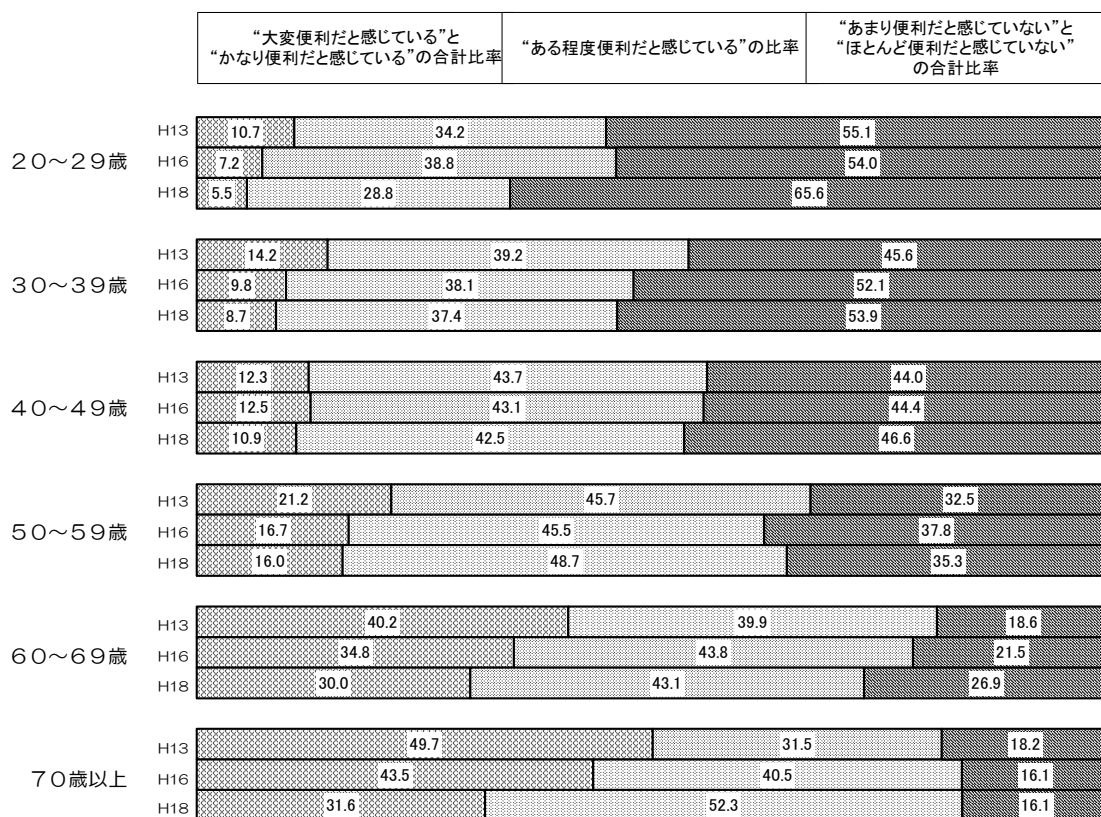
性別でみると、男女による大きな違いはみられない。

【性別市役所の利便性】



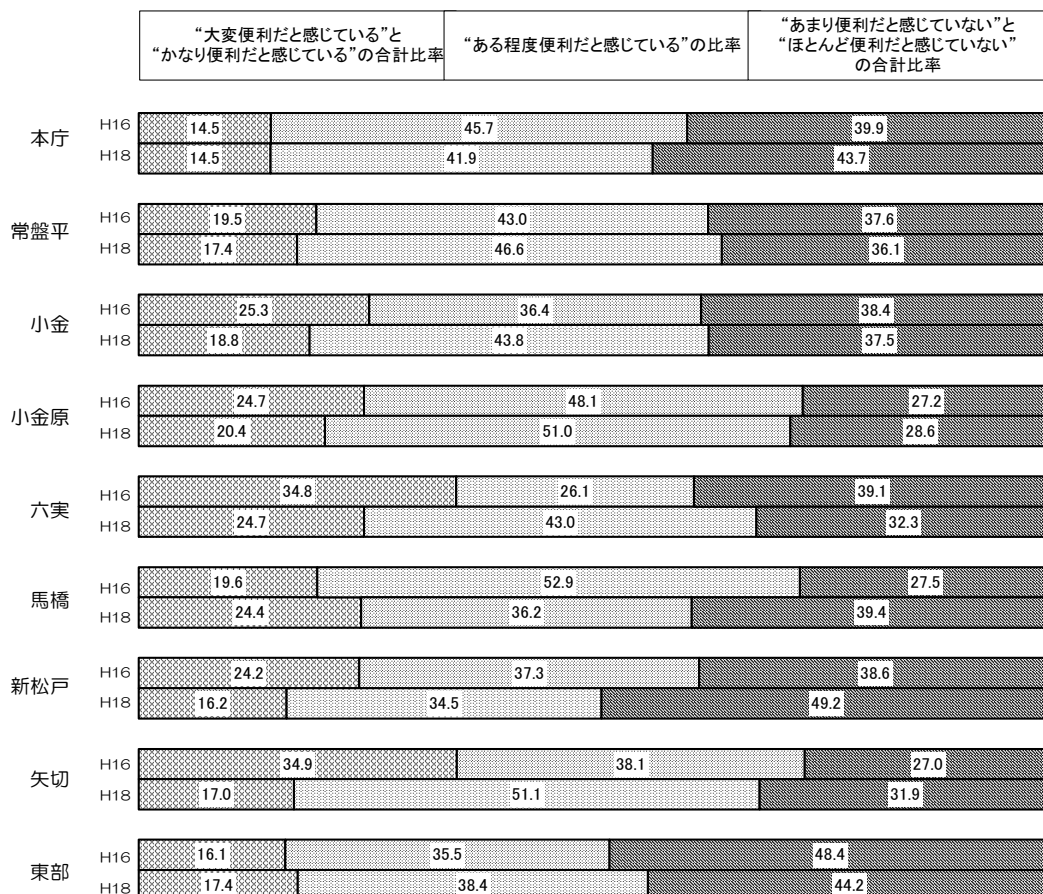
年齢別にみると、年齢層が上がるにつれて便利だと思う人が増加し、不便だと思う人が減少する傾向が、前回と同様みられるが、以前と比べて“大変便利だと感じている”と“かなり便利だと感じている”を合わせた満足度は年々減少している。“あまり便利だと感じていない”と“ほとんど便利だと感じていない”を合わせた不満度は若年層や中年層で増加傾向にある。

【年齢別市役所の利便性】



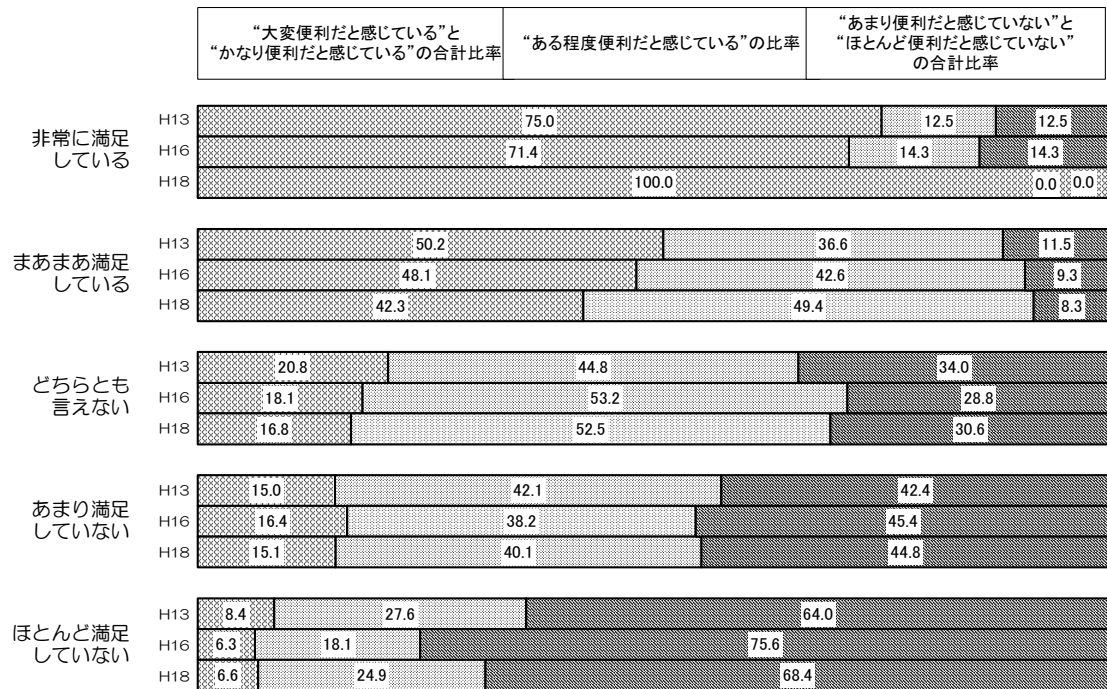
地区別でみると、“大変便利だと感じている”と“かなり便利だと感じている”を合わせた満足度が 20%を超えるのは、六実、馬橋、小金原となっている。“あまり便利だと感じていない”と“ほとんど便利だと感じていない”を合わせた不満度が 40%を超えるのは、新松戸、東部、本庁となっている。

【地区別市役所の利便性】



行政サービスとの関係を見ると、行政サービスに満足している人は、市役所・支所の利便性にも満足する傾向がみられ、行政サービスに対する満足度と、市役所の利便性は、前回と同様、比例するものであることがわかる。

【行政サービスの満足度別市役所の利便性】







## 4-2 平成19年度目標値の達成状況



## ★平成19年度目標値の達成状況

23 項目の指標のうち、平成19年度目標値を達成しているのは5指標となっている。

(%)

節	項	主な指標	平成18年度 結果	平成19年度 目標値	平成18年度 — 平成19年度	目標達成 状況
1		松戸に住み続けたいと思う人の割合	56.4	62.0	-5.6	▲
	1	身の周りで人権が守られていると思っている人の割合	37.8	45.0	-7.2	▲
	2	性別による役割固定を支持しない人の割合	41.8	45.0	-3.2	
	3	地域活動に参加している人の割合	30.8	29.0	1.8	
	5	インターネットを利用している人の割合	53.0	45.0	8.0	△
2	1	生きがい感をもっている人の割合	81.0	80.3	0.7	
	2	本人が健康であると思う人の割合	65.7	67.1	-1.4	
	3	日常生活（心配事が起きた時を含む）に対する安心感をもつ人の割合	3.2	4.2	-1.0	
	4	出産や子育てに不安や心配がない人の割合	90.6	90.0	0.6	
3		文化・教育に魅力を感じて、いつまでも住み続けたいと思う人の割合	17.5	25.0	-7.5	▲
	1	学習活動を行っている人の割合	42.6	50.0	-7.4	▲
		学習活動の成果を地域社会で活かしている人の割合	65.3	75.0	-9.7	▲
	3	スポーツを行っている人の割合	34.0	50.0	-16.0	■
	4	外国籍市民と交流している人の割合	2.9	7.0	-4.1	
		国際紛争に対する関心を示す人の割合	38.0	56.5	-18.5	■
6	文化・芸術に親しむ人の割合	46.2	50.0	-3.8		
4		安心やゆとりを感じている人の割合	23.0	30.0	-7.0	▲
	2	緑地・河川などの自然環境に満足している人の割合	18.2	25.0	-6.8	▲
	4	災害に対して自ら対策を講じている人の割合	70.3	70.2	0.1	
	5	商品やサービスの購入時に、トラブルに巻き込まれた人の割合	10.5	10.0	0.5	
5		快適・便利・賑わいがあると感じている人の割合	36.2	45.0	-8.8	▲
	2	（水道水に）満足している人の割合	8.1	-	-	-
6	5	市役所・支所を不便と感じている人の割合	39.2	32.0	7.2	△

※目標達成状況欄の記号は以下の基準による。

▲:平成19年度目標値より5%以上10%未満低い

■:平成19年度目標値より15%以上低い

△:平成19年度目標値より5%以上10%未満高い

網掛け項目は、平成19年度目標値を達成している項目



### 4-3 松戸市に対する意見・要望 (自由記載)



この調査に回答された 1,607 名の内、623 名（38.8%）の人が松戸市の対する意見・要望（自由記載欄）に記述がありました。

### ① 分類

意見や要望を分野別、項目別等に 3 段階で整理しました。

表：分類一覧

大	中	小	件数	大	中	小	件数
都市基盤	交通	バス	17	保健医療福祉	保健医療	保健	8
		電車	10			医療	33
	道路	駐車	7			乳幼児医療費	37
		駐輪	18		福祉	全般	9
		幹線道路	7			障害者	10
		生活道路	46			高齢者	20
		歩道	40			母子・保育	30
	駅前	8	児童館		10		
	景観	4	文化・教育		教育	学校	35
	上下水道	22		生涯学習		6	
	公園	29		青少年非行	3		
	みどり	8		文化	全般	19	
	住宅	8			施設	15	
	防災	7	図書館	26			
	防犯			59	スポーツ施設	12	
		市街地整備	環境整備	15	公共施設	28	
			駅前整備	34	地域活動	コミュニティ	9
公共空間の美化			17		ボランティア	2	
環境	自然			10	市政	将来像	34
	公害	河川浄化	2	行政全般		65	
		対策	18	税金・年金・各種保険等		66	
	処理	ごみ	22	広報・情報提供		17	
		リサイクル	4	職員の態度・待遇		52	
清掃		9	市議会・議員	37			
産業	駅前商店街			18		その他	13
	その他			12	その他	29	
延べ回答件数							1,076

## ② 主な意見・要望

### 1. 都市基盤

---

#### (1)交通

##### ○ バス

- ・バス路線の充実と早朝・深夜帯のバスを増やしてほしい。
- ・マンションなのにバスが通っておらず、駅までの買い物等に困る。計画ではあるらしい？
- ・コミュニティーバスの市内運行を実施してほしい。
- ・夜間のバスの運行本数を増やしてほしい。
- ・バスについて、ノンステップバスが増えるよう依頼してほしい。
- ・私は高塚新田に住んでいますが、松戸市ではありますが、あまり松戸に住んでいるという実感がありません。松戸市の端の方なので、松戸市の方に買い物などにも行く事もなく、ほとんど市川市で済ませています。もう少し、松戸の駅の方やスポーツセンターの方へ行く町バスなど利用できるように考えてもらいたい。
- ・森のホールがもっと集客力のある場所になるように、例えば松戸駅、新八柱、北小金、新松戸をつなぐ循環バス等を配備することを考えても良いと思うのですが。
- ・東京都に比べて交通の不便さが目立つ。バスの経路と営業時間を延長し、夜遅くでも女性が駅から安心して帰宅できるようにしてほしい。30分に1本、夜は9時が最終ではライフスタイルに全く合っていない。お年寄りも車の運転ででかけるのは難しいと思うので、身近なバスをもっと普及してもらいたい(東京都並に)。
- ・常盤平～馬橋間の新京成バスが6号でいつも混んでいて遅すぎる。馬橋に行くのに6号をつきこむことはできないものか。行きと帰りのコースを変えとか。バス停も駅前ではなく、セブンイレブン前と遠くて不便。終バスも早すぎる(八柱発も)。色々な講習会など広報にのっているが、仕事をしているので(シフトが前月に決まるので)、その月の予定で参加募集して、いつも行きたくても行けなくて残念です。
- ・市営の墓地を白井に確保して頂き、それに当選したことは嬉しかったのですが、交通の便の悪さには泣いています。バス、電車、タクシーを使って墓参りをしますと、花代を入れて1回に7・8千円はかかります。定期バスがあれば、それに合わせて行動するのになと思います。

##### ○ 電車

- ・都心へ出る交通(電車・道路)が柏市や野田市ましてや我孫子市に比べてもなかなか便利にならないような気がしますので、より交通の便がよくなるようよろしくお願い致します。
- ・もう少し交通の便を良くしてほしいと思います。
- ・ラッシュ時間帯の馬橋駅構内に人が多過ぎて危険ではないかと思えます。危険防止と他に分散化を求めます。  
①新松戸～新八柱間に駅の増設。②常盤平～馬橋区間以外に新松戸、新八柱行のバスの運行。
- ・新松戸駅に常盤線快速電車が停車できるようにしてほしい。
- ・北総線がとてとても不便です。どうにかありませんか？ 電車の本数の少なさ、電車賃の高さ…どちらか1つならまだ仕方がないかと思う事もできるが、少なくとも高いなんてとてもじゃないけど、いい加減にしてほしいです。バスも市川か松戸までしかなくて、とにかく交通機関が最悪です。自転車置き場もお金を取るし。
- ・市川、松戸間のアクセス充実対策は？
- ・北総線。東松戸駅は羽田へ行くのによく利用するが、エレベーターがないため大きな荷物がある時は大変である。特急電車の停車も望む。武蔵野線の新八柱駅の改札は新松戸寄りに片寄っている。南側にも自動改札で



産業道路側へ出られるようにしてほしい。

- ・ 40 年以上松戸に住んでいるが、交通の便の悪さに不満がある。大昔、新京成線が金町方面に延びるという話があったのも断ち切れ、半蔵内線も松戸に入るとの話も聞いていたのに、東武線の方面に持っていかれた。今現在は有楽町線が松戸に来るといふ噂を耳にしているが本当でしょうか？ 何十年も住んでいるが、こんなに交通の便の悪い地域はないと思う。市の行政機関も問題があるのではないか。都心から 20 キロ以内の立地にありながら、もう一本地下鉄を通して欲しい。そういう将来展望が望めないのなら、松戸市には魅力がない。住みたいとは思わない。
- ・ 都内に向かう電車の本数が少ない。
- ・ 市会議員の力の差でしょうか？ 色々な面で近隣の市に追い越されている様に思います。交通、道路等どうにかならないでしょうか？ 例えば、柏から出ている東武線の方が千代田線より回数が多いです。

## (2) 道路

### ○ 駐車

- ・ 市役所、市立病院の立地は良いが、駐車スペースが少ないのと、渋滞が多い。
- ・ 松戸駅前の駐車規律が特に悪いと感じております。
- ・ 新松戸駅前のロータリーの車の待機所？は 20～30 分までは無料。それを越えると有料となるような方法を取ってはどうか。地方に行きますと、このスタイルが多いです。
- ・ 最近、車やバイクのドライバーの運転マナーが悪いように感じます。駅前・公園などの違法駐車はどうにかならぬものでしょうか。障害者・子ども・高齢者にとって、とても危険なものだと思います。
- ・ 松戸駅前の車の駐車に対しても取り締まりが遅い。
- ・ オートバイの駐輪場(大型等)を作ってもらわないとキップをきられてしまう。駐車場は貸してくれません。何とかしてほしいと思う。
- ・ 役所や支所などの駐車場をもっと増やして、入るのに時間がかからないようにしてほしいです。

### ○ 駐輪

- ・ 50cc 以上のバイクの駐車場がないのに駐禁を切るとは何事だ！是非ともバイクの駐車場を作ってほしい。駅周辺の自転車駐車場のスペースが余っているのに、借りるための申請に時間がかかりすぎる！月末までに、次のシールを購入しないと無効になるとは、非常に腹立たしい！
- ・ 松戸駅の駐輪代について、他の自治体の設定料金や立地条件を考えると割高に感じる。人件費削減等での値下げを検討してほしい。
- ・ 馬橋駅付近にある自転車駐車場に一時保管場所を増やしてほしいです。北松戸～馬橋間にありますが、自宅が新松戸寄りのため、駅を超えて駐輪所に行く事になるため。
- ・ 自転車の有料化は大変良いことと思う。
- ・ 駅の自転車駐車場代金を払っているが、あまり整備されていない気がします。払う前に変化が無いと思います。屋根の無いところに屋根を付ける等、集めたお金で何かしていただきたいと思います。
- ・ 駅周辺がほとんど有料自転車駐車場になり不便です。短時間の無料自転車駐車場を作ってはどうですか。
- ・ 駅前の自転車駐車代が高いのでは。
- ・ 駅前の自転車駐車場は全部有料とされ、係の方もおいでです。ちょっとお遣いに自転車に乗り、電車に乗り代えたい時、置く場所がないのは困ります。短時間用の自転車置き場、誰もが使える駐車場も必要です。すべて管理されていても自転車の空気を抜かれたり、契約してある自転車が被害にあっています。何でも有料にする

のはいかなるもののでしょうか？ 市民の立場に立った考えで松戸市を運営して欲しい。

- ・ 八柱駅近くに住んでおりますが、最近、八柱駅ロータリー周辺の自転車駐車が足りないのか、放置自転車が大変多く、ごみごみした感じです。対応してほしいです。
- ・ 自転車の置き場をもっと利用者に使用しやすい所に作ってもらえたら、違法駐車がなくなると思いますよね。夕方になると、駅の近くは人が1人通るのがやっとというほど、自転車が止めてありますよ。とても危険な街といった印象です。

## ○ 幹線道路

- ・ 流山市と三郷市間の橋の問題。直接松戸市の件ではないが、多くの松戸市民が不便を感じていると思います。県と県とのことで大変とは思いますが、よろしくお願ひします。
- ・ 家の前が市道なので、大型トラックが多く、すぐ道路が輪だちが出来、家がゆれるほどになって心配になるのですが、どこに言ったら良いのかわからず困っています。
- ・ 高速道路への接続道路の整備。
- ・ 幹線道路の整備・拡張。
- ・ 私の住んでいる新松戸は、おおげさに言うと「陸の孤島」である。市外から来てくれる人に、車での道順を知らせるのが大変むずかしい。草加～流山線の道路が幸谷地区で6号線とつながっていないからである。「関さんの森を守る」とかいう団体が、自然保護ということを掲げて反対しているからだが、この自然保護と迂回しなければならぬ車が余分に排出するガスによる自然破壊とを天秤にかければ明らかだ。わずかな樹木を残せば生活環境がよいというのではない。余計な排出ガスを減らし、住みよい松戸を作ろう。
- ・ 道路事情が悪すぎる。江戸川を渡る橋を増やしたり、松戸三郷有料道路(橋)の無料化を検討してほしい。
- ・ 埼玉県や東京都とつなぐ橋の数が少なく、渋滞がひどいと常々思います。知人に「松戸市に住んでいる」と言う「遠いね」と言われるのは交通の不便さからだと思います。

## ○ 生活道路

- ・ 通学路は白線だけではなくガードレールなど取り付けられないものなのでしょうか。信号がない道路で車はスピードを出して走っているようです。
- ・ 東松戸駅から松戸南高校までの未完成道路を早く手がけていただきたい。小学生、中学生、高校生の通学路で、トラックの通行も多くとても危険な状態です。
- ・ 旧市松有料の大橋付近の信号(一条会病院の入口)を押しボタン式ではなく時差式に変えていただきたいです。交通量が多く危険です。
- ・ 新松戸駅前の道路舗装に汚れのひどさ(材質が疑われる)。赤いオブジェ等不必要で、その分予算をかけてほしいかと思ひます。
- ・ 五番十字路のトンネルの上を開通させてほしい。(歩行者も車も)
- ・ 市内の生活道路がデコボコで、部分補修で終わっている。
- ・ 松戸市内の道路は自動車、自転車、徒歩、どれをとっても使いにくく、特に東口のヨーカ堂の道はとても怖い。どうにかならぬのか。
- ・ 道路をもっと整備して欲しい。
- ・ 道路整備。
- ・ 隣接市区境の道路の整備不良(道路表面、幅の不揃い等)。

## ○ 歩道

- ・ 道路の整備が極めて悪い。国道 464 号、市川松戸道いずれも歩道が確保されていない個所がある。また、自

転車を利用するにも安全性に於いて非常に不安を覚える。松戸に転居して 8 年を経過しているが、この状況に全く改善がみられない。管轄、財政上のネックがあるとしても、市はその認識を持っているのだろうか？

- ・ 歩道の整備、放置自転車及び歩道での自転車走行の無謀運転の取締り強化等。
- ・ 何を言っても道路。歩道がデコボコで歩きにくい。車イス等では絶対に通ることは出来ません。一度歩いてみて下さい。
- ・ 学校までの道のりで歩道のない所があり危険である。(東部小)
- ・ 高塚新田、紙敷周辺の道路整備を早急にしてほしい。特に高塚十字路～東松戸間の歩道が狭くてベビーカーで通るのが大変です。一度、実際に通ってみて下さい。
- ・ 歩道と側溝の両面ある道だと歩道が斜めになっていたり、蓋の穴にベビーカーの車輪が引っかかったりして歩道のない方を歩いたりしてしまつて危ない。歩道は高さがある、道で途切れる度に段差を気にしなくては行けなくて、ベビーカーも自転車も車道を歩きたくなる。
- ・ 道路について、デコボコが多く、ベビーカーが押しづらい。
- ・ 道路が狭いうえに、歩道や自転車を通る場所が少なく、常に危険な思いをしています。もっと、道幅を広く、考えて頂きたいです。よろしくお願ひ致します。
- ・ 私は0歳児の母です。母親になってから気付いたのは道の悪さです。ベビーカーで出かけると、あちこちデコボコしてたり、傾いていたりして、押すのも大変だし、ガタガタ大きく揺れると、子供もビックリしています。もっと平坦で安全な道になるといいなと思います。
- ・ 歩行者にもやさしい道路整備をお願いします。

### ○ 駅周辺

- ・ 松戸駅周辺を通過する大型トラックの規制、乗り入れ禁止、もっと外側から。
- ・ 馬橋駅周辺の交通インフラの整備を至急に実行して欲しい。バス、車道、自転車道、駐輪等、総合的整備。
- ・ いつも混む路線の改善や駅前のスロープなど、もっと考えて欲しい。税金をどういふところにもっていかれているのか、いつも不満に思っている。
- ・ 東松戸駅前の開発はどうなっているのでしょうか。早く駅正面の道路を貫通させて下さい。
- ・ 新松戸駅の南側(ダイエーとは反対側)の地域は、最近マンションや家が多く建ち、人口もかなり増えたと思います。しかし、道路などはあまり整備されていない様です。とても不満です。
- ・ 新松戸駅近郊の利便性の向上。
- ・ 東口ヨーカ堂前から聖徳大学の道路が大変歩きにくく、車イス等のお年寄りが大変困っておられる様子をしばしば見ます。放置自転車の徹底や、歩きやすい、段差の無い道路に是非していただきたいと思います。
- ・ 馬橋駅西口階段の下から自転車置き場までの歩道は雨が降る度に水がたまり、くつがビショビショになる。排水を良くし、水たまりを無くしてほしい。

### (3) 景観

- ・ 街が汚い、暗い。街灯が少ない。
- ・ 空気が汚れている。自動車道路の植え込みが草ぼうぼうの所がいたる所に見受けられる。
- ・ 図書館や町並みが、あまり整備されていないのが気になります。もっと住みよい町にしてください。
- ・ 街並み等の景観が非常に貧弱につき、景観条例の整備に力をいれてほしい。

#### (4)上下水道

- ・ 下水道の本管が入っておりませんので、台風などの大水の時など床下浸水をしてしまいます。県道の反対側は畑とかで本管が入らないようですが、反対側は住宅が増えてきております。一部分距離にして数百メートル(本管が入っていない所)だと思いますが、考えて頂けたらと思います。U字溝の異臭が気になります。
- ・ 松戸市在住 40 年にもなるのに、私の所には下水道がまだ通っていない。私達の地域よりも人数が少なく、遅くに開発された所の方が早く下水道が通っているのには納得出来ない。
- ・ 首都圏のベッドタウンとしてせいぜい常盤平駅周辺位の町並み整備がほしい。私事ながら 40 年以上程前、すでに住宅地となっていた所に家を建てたが、下水道整備はようやく来年である。都市整備の第一はローマ時代より上下水道・道路の完備である。「松戸市の住民です」と大きな声で言えるような街でありたい。
- ・ 下水の整備が遅れている。
- ・ 何年前かに下水処理施設を市が作り、各家の浄化槽を破棄しました。その時、質問をした「なぜ廃棄する必要があるのか」「各家で一次処理した排水を下水として流せば施設の負荷が減り、今より多くの家の分が処理できていたはずです」。結果、二つ目の下水処理施設が必要になっていると聞き、腹が立っています。当時の責任者、市長・業者、関係者は経済的な責任を取れ。
- ・ 下水道の不備。
- ・ 下水道の整備に力を入れて欲しい。
- ・ 下水道の 100%普及
- ・ 下水道整備
- ・ 下水道工事の費用が高すぎます。ある程度費用の負担を市でしてほしい。

#### (5)公園

- ・ 「21 世紀の森」の公園、森のホール等はせっかく良い施設や環境にもかかわらず、交通の便が不満。新松戸から「直通のバス」の便があれば、武蔵野線、千代田線からのアクセスが良くなり、もっと積極的に利用する事が出来ると思う。せっかくの緑地公園、イベントになかなか足が向きにくい。
- ・ 「21 世紀の森と広場」を犬の入れる場所にしてください！今のこの時代、犬の入れない公園(施設)なんて時代遅れです。飼い主のマナーが悪くて…と、悪い方へ物事を考えるのではなく、共に生活できる場を考え対応できる松戸市になることを望みます。
- ・ 六実～五香の道路をわたっての公園がない(鎌ヶ谷方面)。なので、子どもが道路を渡って遊びに行くので危険。老人のゲートボールを1か所にして、子どもにも提供してほしい。
- ・ 21 世紀の森について、せっかくのスペースが有効に活用されていません。もっと人が集まるような工夫をして活気を出すべきです。松戸は子供のための遊び場がなさすぎます。アスレチック等をつくって下さい。船橋アンデルセン公園のように、軽食店を充実させ、活気を出して下さい。市の利益にもつながる工夫が必要です。
- ・ 21 世紀の森の近くに住んでいて、時々公園を散歩しますが、無駄としか思えないようなものが多い気がします。例えば、池のほとりの数々の石(岩)とか、石像とか。自然を活かしてあまり手を加えないほうが良いと思います。また、休日のたび行われるイベント等での音楽の大音響にも困っています。
- ・ 公園整備。遊具の安全性、数、不清潔(犬のふん尿)など。ゲートボールで占領、野球が危ない。
- ・ 子供たちが遊べる施設をもっと増やしてほしい。三郷公園や水元公園にあるような遊具。
- ・ 公園の多い所は多くあるが、ない所は全然ない。金ヶ作、千駄堀、陣屋前など。
- ・ 各所に公園があるが、あまり利用されていなかったり、画一的な作りになっているような感があります。例えば利

用する人の的を絞った個性のある公園を造ることにより、街の外に賑わいがあるように出来るのでは？と思います。

- ・ 私達は、一生懸命働いて、沢山の税金を長い間払ってきました。私達に何が還元されているのでしょうか？ 孫を連れて公園に行っても、ブランコとすべり台のみ、お金をかけなくても、もっと楽しい広場は出来ないものでしょうか。松戸六高台は公園はありますが、上記の通りです。どろ山でも良いし、公園に行きたい！と子供が言う様なのにして欲しい。市の行政は努力が足りません。

## (6)みどり

- ・ 転勤で他県にも住んだ経験がありますが、松戸は緑も多く、住みやすい市だと感じます。年々、坂川が整備浄化され、今年の夏には和太鼓のパフォーマンスを見学しましたが、松戸まつりはより大人が楽しめる企画でよかったです。
- ・ 街中に緑をもっと増やして欲しい。
- ・ 私共東京の往復が多い方ですので、松戸の市に入りますと緑の多さには本当にうれしく人間を取り戻せた様に感激しています。あまり高層のマンション等これから少し規制していただけると有難いと思っております。美しい街並みは人間を豊にしてくれる様に思います。
- ・ 街路地等の植木が少ない(栄町)。
- ・ 昨年6月に東松戸駅近くに住み始めました。今年に入ってから急にいくつもの(少なくとも6~7つ)マンションの建設が始まり、緑の多かった駅周辺がどんどんアスファルトに埋め尽くされ、見ていてとても胸が痛みます。「乱開発」ではないことは願っています。公園をどのくらい作るとか、緑をこのくらい残す、などの計画はあるのでしょうか？あるとしたらどこでその計画を見られますか？
- ・ 紙敷に住んで居ますが、区画整理がすみやかに早く終わってほしいと希望します。緑のある街づくりがいいと思います。
- ・ 松戸市に住み始めた頃とても緑の多い所だと思いましたが、最近住宅が増え、緑地が少なくなっているのが不安です。もう少し公園など増やしていただき、緑の確保に力を入れていただきたいと思います。
- ・ 《都市開発面》近年、松戸市の都市開発が急ピッチで進んでいることを実感していますが、自然環境の破壊も実感します。例えば、私の住んでいる古ヶ崎・栄町地域には、地主の方の善意で公園や広場がありましたが、ここ数年、その面積は減少するとともに、閉鎖も目立ちます。都市開発は、松戸市の税収を増やす意味で重要かも知れませんが、公園や広場の増設・維持もご検討下さい。また、今年は樹齢何百年という木が倒され、宅地になりましたが、市の自然財産としては大きな損失ではないでしょうか。私は農家ではないので、何ともいえませんが、松戸市として農家の方に自然を維持して

## (7)住宅

- ・ 市営住宅をもう少し増やしてほしい。旧郵政省(六高台)の社宅マンションがガラガラです。無駄ではありませんか？そういうものを利用したりするのはいかがでしょう。
- ・ 空き家の整理(木の葉などがたまってタバコの吸い殻でも火事になりそう)。市は指導しているのでしょうか。
- ・ 胡録台の空き地(県アパート)の有効活用を。
- ・ 常盤平団地の再開発など、思い切った政策を考えてほしい。公団の一部を整理し、高層住宅に建て替えて、若い人達が魅力を感じる場所にしてほしい。
- ・ 市営住宅をもっと増やして下さい。

- ・市営住宅の申し込み回数を増やしてほしい。今回の申し込みも書類を作りながら出しそびれました。自己破産の手続き中のため、しかし正月はどこになるのかもわかりません。
- ・市営住宅をもっと増やしてほしい。
- ・常盤平団地が古くてきたない。もう少し手を加えてスラム化を止めてほしい。

## (8) 防災

- ・狭い道が多く、災害時の対応(火事)で困るのでは。
- ・防災無線(放送)がほとんど聞き取れません。
- ・緊急の避難場所は指定されていますが、マンションの多い場所で、いまだに建築中のものもあります。指定の場所にどの位の人数が入るかはわかりませんが、避難しても皆その場所に集まる事が出来るのでしょうか？
- ・消防、救急の強化をしてほしいと思います。松戸市消防局はとても優れていますが、他市と比較すると一部負けている部分があると思います。近隣の市では先端屈折式梯子車や救助工作車Ⅲ型など車両も充実しています。また、NBC災害に対応するための特殊災害対応自動車の導入も必要ではないかと思います。犯罪や災害を未然に防ぎ、市民が安心して明るく住める街にしてください。
- ・市内に坂が多いせいか、低地ははげしい雨が降ると水が流れずに上がってしまったり、浸水する場所は雨が降る度に住人が我慢しているのに全然改善されない。あちこち道路ばかり掘り返す金があるなら、もっとやりようがないのか。
- ・従来から災害時の緊急避難場所が本土寺ですが、人口が増えた今日においても同一の場所で災害時にヘリコプターも着地出来ないと思います。人口が増えた時など、一考があると思います。
- ・松飛台地区に在住。自宅南側道路(松戸市道)が未舗装、かつ側溝がないため、雨が少し降ると池のようになり車庫の出入りも困難。

## (9) 防犯

- ・空き巣、ひったくり等防止の市内パトロール強化。罰則作り
- ・交番が少ない。行っても誰もいない。リタイヤ職員で補充したらどうか。
- ・治安の悪さ。
- ・ひったくり等が多いので、怖い市という印象が消えない。警察にも協力を依頼してほしい。
- ・ラブホテルの近くで、外国人女性の呼び込みのような場面でくわすが、駅の近くは子供が塾の帰りなどに通るので困ります。
- ・根本に外国人女性の呼び込みが多い。東口の市役所の道にもたくさんいる。松戸駅のまわりの夜はとても怖い。ひったくりも多いし、もっと安全で明るい住みよい町にしてほしい。
- ・治安改善のために、交番設置を増やす。特に、新松戸地区は住民数に比して少なすぎる。
- ・松戸駅前周辺は夜、水商売の勧誘(外国人女性による客引き)、ラブホテルが多いので治安が悪い。
- ・治安の維持。特に子供や高齢者を守る対策。
- ・夜の治安(街灯等)を良くしてもらいたい。

## (10) 市街地整備

### ○ 環境整備

- ・6年前に越してきたこの場所は、大規模区画整理中の場所だけど、現時点でほとんど進行していないのはな

ぜ？その割に区画整理事務所には毎日数人の人がいて仕事をしているのか、何をしているのか？

- ・パークスカイタワー松戸前のビル風について、何度も傘をこわされ、まともに歩くことができない日もあり困っている。安全に通行できるような対策を至急実施してほしい。
- ・最近、夜にウォーキングをしていて思うことがあります。それは街灯が少ないことです。もっと街灯があれば明るく歩きやすい安全な街になると思います。街灯はソーラー電池のものを使用することで環境にやさしいと思います。
- ・夜道を明るくしてほしい。(街灯)
- ・街灯について、少ないので増やしてほしい。
- ・柏みたいな繁華街にはしないで欲しい。
- ・住宅地内を通る道の電灯の増加。
- ・矢切地区の田園地帯をどう開発するのか。
- ・松戸駅西口から江戸川までの再整備構想をねってほしい。
- ・現在、稔台に住んでおりますが、夜道が暗いのが気になっております。街灯をもっと増やしていただきたいと思っています。

## ○ 駅前整備

- ・市の顔とも言うべき松戸駅周辺の雑然たる風景、野放しの広告・看板・ゴミの散乱。
- ・松戸の駅前付近はとても景観が悪いと思います。ちょっとした買い物も行きたいとは思いません。
- ・駅の西口と東口の連絡通路にいる浮浪者対策を。
- ・駅前(松戸)にパチンコ店が多すぎる。パチンコ店などではなく、共同浴場などを完備した地域住民の交流の場となるような施設を誘致してほしい。
- ・松戸駅にいるホームレスの女性の方。一度、前を通った時に「文句あるのか？」と大声で言われました。子供と一緒にだったので、なんだか嫌な気分になりました。あれだけ人の通る松戸の玄関口という所にそういう人がいるのはどうかと思います。
- ・駅にホームレスの人が多いいも気になります。
- ・北松戸駅近くの競輪場を他の施設に変えて環境を良くし、町の活性化を図る。
- ・駅まわりの浮浪者、においも見た目も悪い。おまけに市役所の人だと思いが、6～7人でも説得に対応、そんなに多くて何をしているのか？ 市民は見ています。
- ・新松戸に在住です。駅前が活性化しておらず、再開発が必要。街に活気が感じられない。新松戸7丁目先の田畑を行政が買収し、大型商業施設を誘致することが必要。
- ・新松戸駅の反対側の開発。新松戸駅周辺の怪しげなホテルをなくす。

## (11) 公共空間の美化

- ・喫煙禁止エリアでの喫煙が多い。積極的な広報活動と取締りを強化してほしい。
- ・文京地区として駅周辺をきれいにする。
- ・八柱と東松戸の駅を使用しています。ともにホームは禁煙にしていますが、改札を出るとタバコの煙。歩きタバコの人も良く目立ちます。せめて、喫煙所を用意してほしい。小学、中学くらいの子供が電車を使うのを朝や帰りに見かけます。体に悪いとホームを禁煙にしても、外で吸っているのでは意味がないと思う。
- ・タバコのポイ捨て禁止地区は大変良いと思いますし、効果ありです。大人と高学年の学生の歩行者の信号無視が多い。道徳心が欠けている行為がなくなれば住みよい松戸になると思います。行政の日頃の努力に感謝しております。

- ・パチンコ、風俗店の数を減らす又は特定の地域・地区に限定的に許可する等の条例の整備をお願いしたい。文京地区、風致地区等も増やすことを検討してほしい。
- ・駅周辺にあるものは、サラ金やアダルトショップ、不動産屋、パチンコ屋ばかりで、魅力ないうえに住民として恥ずかしい。
- ・何年も前からある所で、ほとんど毎日何かを燃やしています。煙が出る所はいつも決まっています。とても不愉快です。窓を開けられない位、においます。何もしていない畑があります。とてももったいないと思います。囲いに竹の柵を立ててるのですが、道路に倒れていたり、とても危ないです。野菜を植えてもそのまま腐らせています。
- ・自宅前の道路に沿って木や草の植え込みがありますが、ペットボトルや空き缶などのポイ捨てが多く、時々拾っては捨てていますが、延々と同じ事が繰り返されるので不愉快に思うことがあります。以前は自宅設置用の郵便受けなどが捨てられているのを見たこともあります。こういった迷惑行為に対する取り締まりや街の美化活動などがもっとあっても良いのではないかと思います。
- ・周辺道にはゴミや吸いがら、ポイ捨て、犬のフンが多く、モラルが低い。
- ・路上禁煙も結構ですが、たばこの税金(交付金ですか)を貰っているのなら喫煙者に対する配慮をもう少し考えて欲しい。喫煙場所をもう少し設置するとか。(千代田区よりは松戸市の方が現状ではずっと良いのですが)

## 2. 環境

### (1) 自然

- ・クリーンセンターが 1k 離れた所にありますが、朝空気を吸った時に空気がきれいだと感じられません。時々、風向きにより舌がピリピリする事があります。何でなのでしょう？
- ・35 年前に比べたらものすごく何事にも便利になりましたが、その分自然も壊れて来ています。うれしくもあり、悲しくもあります。時の流れで仕方がない事なのかも知れませんね。
- ・環境破壊につながることはやめてほしい。
- ・更に環境(人の快適さを言うのではなく)を重視した政策をお願いします。東松戸周辺は急速に緑が失われ、どこにもある様なつまらない風景になりつつあるように感じます。風景は人の心の栄養だと思います。
- ・最近、自然がどんどん少なくなってきました。もっと緑を残して野生動物を守ってほしいです。
- ・最近、あちらこちらで家が建てられ、竹林や大きな樹木が簡単に切られ、残念に思っています。個人の土地で仕方がないのかも知れませんが、自然のままの大きな樹木があっちこちにある街並みが大好きです。大木を何とか残して下さい。
- ・私の住む小金原は美しい環境で大事にして行きたいと思います。松戸は歴史のある地。これも大切にしていきたいです。松戸住人であるというプライドが小さな子供達にも受け継がれる様に願っております。松戸に住んで良かったと思います。
- ・私達は緑の多い町に住んで良いと思って今日まで来ました。でも、何でこの頃、全部切り倒されるのですか？まるで荒野の様に家、家ばかりです。これで住み良い町でありましょうか？ 松戸市には規制は無いのですか。
- ・全体的に住みやすい所だと思うのですが、今は川の近くなので虫が多いなど感じてます。
- ・台風、大雨になると、春木川の増水がとても気になります。川の改修をしていただけませんか。松戸市民として、快適な生活をおくるためにも是非取り組んでいただきたいと思います。



## (2) 公害

### ○ 河川浄化

- ・工場廃水のチェック。
- ・河川の清流化に力を注いで下さい。

### ○ 対策

- ・松戸の駅を出てから時計台側(千葉 B/K)にハトが多くて汚い。
- ・松戸市に住むようになってから、ネコのフンで困っています。私の家の庭でしています。朝夕フンの始末です。ネコに餌を食べさせて飼っているのなら、フンも始末してもらいたい。ネコの子も殖さないようにしてもらいたい。何か対策をして頂きたいです。
- ・ダイエー新松戸店前のムクドリ撃退。カスミ網使用等による捕獲・処分も考える。
- ・ゴミ処理及び下水処理等の工夫による環境保護策の強化。
- ・駅前(新松戸)のムクドリ対策。犬猫の去勢、避妊手術の助成金負担、半額くらい(5,000円～10,000円)。
- ・ムク鳥についての対応、どうにかありませんか？ 保護指定といっても方法はあるでしょう。こんな環境で子供もなかなか止まらない咳を抱えている子も多いです。それなのに医療費は4歳から外来は控除なし。因果関係が立証されないからといって、市民の体を守る気はないのでしょうか？ テレビにまで出て情けないです。
- ・環境問題で松戸駅周辺はタバコのポイ捨て禁止等、きびしく取り締まっているが、紙敷地区は、産廃物の不法野積み、ゴミの野焼き、不法焼却炉でのゴミ焼却等がかなりひどく行われている。環境の悪い地域と知られている。市の環境部は定期的に巡回し、不法な行為が行われている企業に適切に止めるよう指導してほしい。“廃掃法”がざる法化していると感じた。
- ・私は松戸市内に住んで4年目になります。お友達も沢山ありますが、市内にいろいろなお店もあります。西口牛井屋の店先にずらりとハトのフンがあります。この前を通るのがつらいです。私が時間があれば、先だって掃除に行きたいです。私の家にもお友達が良く来ます。でもいまいち町がね。今年私が駅前になんとなく立っていたのです。そこに60歳台くらいの男子1人で広場を見ており、いやなんだ、松戸はきたないとかと話しをしていた。私がどこから見えたのかとたずねると、戸田からと話していました。お願い致します。松戸市内は良くなりません。食堂の前はとくに気をつける様、お店皆様と話し合ってくださいように。
- ・床下薬剤散布を再開してほしい。
- ・松戸トンネルの近くに住む者です。6号線下り車線が1本右折になるため、慢性的に渋滞になっていて、排気ガスによる健康被害が心配です。千葉大側に土地の余裕もあり、3車線にする事は(直進2車線)、さほど難しい事ではないと思うのです。近隣住民の健康被害予防のため、是非とも改善していただきたい。

## (3) 処理

### ○ ごみ

- ・ゴミの袋ですが、他の市ではプラスチック類も指定の袋を使っている様ですが、当市はカンやビン、プラスチック類をスーパーの袋で出しますが、いつになってもスーパーの袋をなくせないのでは？
- ・粗大ゴミの処理券1,000円の使い道が不明なので、まつど広報にて説明してほしい。
- ・ゴミの仕分け一覧の各対象品の詳細は見にくい。これとは別に各曜日ごとの50音順の冊子があると良いと思います。新潟市には冊子があって見つけやすく判断しやすかったです。
- ・ゴミ収集について、分別が細か過ぎて守れない人が多いので、守りやすいように検討してほしい。
- ・ゴミ置き場が各場所によって色々(道端にむき出しで置いてあったり、又はとてもきれいな置き場がつくられてい

たり)なので、できるならば、ある程度市で統一していただきたいです。

- ・ゴミ収集車が公園の隣でエンジンをかけっぱなしで休憩している。公園内では家族連れがお弁当を食べているので、気を遣ってほしい(排気ガスがとてもおいます)。
- ・ゴミ収集委託業者の運転がいつも乱暴だと思う。
- ・生ごみ袋は紙袋ではなく、レジ袋にして頂きたいです。
- ・ゴミの問題ですが、近隣で焼却処分している人がいて、ほとんど毎日か、1日おきくらいに燃えカスが飛んで来て迷惑している。市の方からの注意などしていただけないでしょうか？
- ・お願いですが、ゴミ袋を紙から他の市のように燃えるビニール袋に替えられませんか。ゴワゴワ、ガサガサ、自宅のゴミ容器に取り付けるのに、ゆうずうがきかなくて困っています。

## ○ リサイクル

- ・レジ袋、有料化を率先して行って欲しい。その他、地球環境の為になることは率先して行って欲しいと感じる。
- ・ペットボトルもごみの回収してほしい。
- ・ペットボトルのリサイクルに力を注がれている事は理解できますが、常時市内各地にネット内のボトルが目につき、景観や防災上からも検討した方が良くと思う。
- ・分別ごみの中でリサイクルするプラスチックがありますが、実際にリサイクルしている自治体は少ないと聞きました。松戸市ではどのような製品にリサイクルされているのかを、どこかで発表して頂けると良いと思います。ごみ分別表にその事を記載する等。

## ○ 清掃

- ・1年に1回実施されているグリーンデーは行う必要があるのか。年々参加する人が少ない。紙袋、ビニール袋の配布は必要ない。参加せず私物化しているからだ。経費の無駄遣いです。
- ・民家の少ない田・畑道や坂川沿いにはゴミの山、散歩をしても気分が悪い。こまめに清掃して下さい。田んぼの廻りの小さな水路等が沢山みかけるが、稲に水が不用となれば、水門を止めてしまい、ヘドロ化して生き物は死んでしまう。一年中流れる小川にしてほしい。毎年春にはコイが小川に産卵のために群を作って来る姿を見かけるが、水が少ないため帰れない。奥は田んぼの中や小川で迷い疲れて死んでしまう。生き物の住み良いきれいな川にして下さい。坂川周辺は釣り人が多く、飲み食いしたごみを捨てて帰る。注意するなり、清掃するなりして下さい。西小の子供達のポスターが全然役立ちません。旭町のシルバーセンター附近から坂川水門にかけて。しらサギと青サギ、冬にはかわせみも見かけます。時々、市民の声も聞き、出来るものから実行へ。
- ・きれいな街づくりのさらなる推進をお願いします。最近、松戸駅周辺では条例の施行やボランティア活動による清掃などにより、大分きれいになりつつあります。しかし、まだまだ他地域から比べるとごみの散乱等が目につき何となくゴミゴミ感が拭えません。これも市民一人ひとりの公德心の欠如の表われかと思いますが、機会あるごとに啓蒙活動をさらに推進し、きれいな街づくり市民と一体となった取組みをお願いしたいと思います。公園のゴミ箱の収集もこまめにされますよう願います。
- ・今住んでいる町はマナーが悪く、住みたくない。ゴミ出し、路上のゴミの放置(ゴミ置き場におかないで)、車を駐車してゴミを捨てるなど。お店を出している人は自分の前の路上にゴミがあれば掃除してほしい。掃除する気持ち全然ない。もっと豊かな心を持ってほしいです。町会で路上をきれいにするように市よりお願いします。
- ・市道の街路樹(いちよう)が落ち葉の季節(今頃)になると、毎日清掃が大変です。ゴミ袋を何枚もその為に購入したり、負担もあります。道路清掃車をもっと頻繁に回らせて下さい。市道に面している家と面していない家の不公平感があります。小金原在住です。

- ・桜通りに住んでいると、タバコの吸いがらがけっこう落ちているのが気になります。
- ・松戸市として調べてください。これは今年の夏、会津田島の町に途中下車した時のことです。一時間程駅周辺を歩いたのですが、どこにも空き缶・ポリ缶、ゴミ、煙草の吸い殻などが落ちていないのです。松戸では考えられない事ですので、会津田島の町では何をしてこのようにキレイになっているのか、今でも不思議に思っています。原因があるのですが、是非調べて参考に出来ればと思います。
- ・松戸市中心部だけでなく、市の端(たとえば高塚新田)にまで行政は目を向けるべきと考えます。市川市は松戸市との境部まで、ゴミの不法投棄など監視カメラなどを設置し、管理しているが、松戸市は市川市との境部に対して全く対応をしていない。東松戸病院の裏など、ひどいものだ。又、武蔵野線沿いも時折り危険を感じる(大型ゴミの不法投棄により)。下水道の清掃も一度電話で依頼した時のみの対応で、その後 10 年間に1度の清掃に訪れていない。同じ税金を払っているのにもかかわらず、不公平さを感じます。以前、市川市に住んでいた為、比較してしまいます。これを書いたことにより、今後の市政の変化に期待しております。頼みますよ
- ・緑化計画で木を大切にすることは良いことですが、落ち葉の季節は道路清掃をマメにしてほしいです。また、街灯が隠れるほど枝をのばすのはやめてほしいです。道路標識が隠れているところもあります。

### 3. 産業

#### (1) 駅前商店街

- ・松戸駅前の商店街が都内に近いにも関わらず開けていないと思います。19 年前に松戸に移住しましたが、その頃からほとんど変わっていないように感じます。柏市、鎌ヶ谷市に大きなお店が増えている一方、松戸市ではほとんどなく残念です。結局、買い物も他市に行ってしまう。
- ・松戸市のはずれに位置する六実。駅前の発展がない。
- ・駅周辺の活性化。
- ・柏駅周辺のように発展させる為に駅周辺の整備。お年寄りが安全な町、若者が集まる、活気ある町にして頂きたい。駅前施設、健康、ペットなどの関連施設、温泉 etc. を検討して下さい。
- ・松戸駅周辺の活気がないので、松戸市民としては残念です。
- ・松戸駅前がさびれているが、再開発とかできないのでしょうか？ せめて伊勢丹通りくらいは何とか魅力ある通りにしてほしいものです。
- ・松戸駅周辺の活性化。家族で利用したくなるレストラン、食べ物のおいしいお店の誘致、郊外にはあるのですが、駅近くでないと車でアルコールは飲めません。
- ・地域の商店街の活気を！
- ・近隣の市に比べ、若者が集まる点で遅れている感がある。①若者に魅力ある地域づくり(商店街等)がほしい。②松戸市在住で生活圏はK市という人が多い。北小金、新松戸、北松戸、馬橋、松戸と 5 つの駅前を持ち、魅力ある駅前広場があればと思う。(現在は新松戸が良いと考える)新京成沿線もほとんど行かない。◎市立病院、すぐやる課、21 世紀森のホール、戸定館、マブチモーターぐらいしかわからない。住めば都であるが…。
- ・駅ビル内に飲食店をもっと増やしてほしい。また、飲食店のみではなく、(1人でも気軽に食べられるようなお店など)身のまわりのものが一通り揃えられるようなお店をもっとあると便利です。

#### ○ その他

- ・北松戸周辺の工業団地の規正緩和。商業への有効活用。
- ・松戸対柏などよく比較されるが、松戸は東京に近く、交通の便も良いのにもかかわらず、柏に劣っていると思う。

ボックスヒルの改装は良いが、伊勢丹の内容の充実、丸井など新たな発展を希望する。

- ・働いているので日常は会社の中。経済的に共働きをしなければ子供の養育がまかなえず、生活基盤の安定があれば安心した生活ができると思います。50 歳以上になると、仕事の選択もできず、満足のいく内容にありつけないこの情勢。ある程度年齢にこだわらずに能力のある者の職場が多くあれば、悩みの種を解消されると思います。毎日新聞・公報などで探している状態です。住みよい暮らしができる様な社会、働く意欲のある者へ視野を少しでも広げていただけたら家庭内も円満になるのではと願っています。
- ・遊ぶ所がないです。ボーリングやビリヤード、ダーツなど、ちょっとした遊び場がなくてつまらない。
- ・もっとショッピングが楽しめる様な街づくりをしてほしいです。松戸は坂道が多いので、遠い所にスーパーなどがあると、とても不便だと思います。
- ・飲食店の活性化。あかるい町。
- ・近隣の市川・柏・鎌ヶ谷・船橋が次々に大型ショッピングセンターを建設する中、何故松戸には出来ないのでしょうか。土地は充分にあると思うのですが、マンションばかり建っている気がします。
- ・東松戸はマンションばかり建っているが、店が少ないので行動しにくく思う。
- ・周りに大きなショッピングセンターなどができ、華やかさを感じるなか、松戸はとり残されているような気がする。
- ・大型店が少なく、買い物も車で他市へ出掛ける事が多く、安い。松戸市は広さはあるが、まとまりが無い。したがって人が集まらない。若者達が松戸へ行こう！という様な街づくりを考えてほしい。

## 4. 保健医療福祉

### (1) 保健医療

#### ○ 保健

- ・市の胃がん検診の受診回数を増やしてほしい。今回は 12/11、12/13 のみなので、仕事の都合上受診出来ません。
- ・保健・医療サービスについては、まずまずのレベルではないでしょうか。
- ・老人が充実した最期を迎えられるよう、予防医療に取り組むべき。医療費の抑制になる。それが社会貢献につながれば市にもメリットがある。
- ・食育の充実。どうでもいい情報が混乱しすぎている。食事の“基本”を徹底させるべき。健康食品だの何だのはその次。
- ・今年から集団健診は個人病院に行く様になり、大変不便に感じています。来年からは老人も若い人と同じ様に集団健診に行ければ幸いと存じます。
- ・中高年の健康促進。
- ・他の自治体と比べると、松戸市の公民館活動がかなり劣っているのではないかと思います。退職して公民館活動に参加するのを楽しみにしていたのですが、広報紙を見る限り時々講演会のようなことがあるだけで、もう少し老人がいつまでも元気を保てて、老人病の予防になるようなスポーツ創作活動などのメニューを考えて欲しい。
- ・年配者が健康維持するために安価で参加できる長期のイベントを開催してほしい。

#### ○ 医療

- ・かかりつけ医として付き合える医療施設が無い。
- ・子供の予防接種の受け方がかわる時“何故受け方が変更になるのか”その理由を必ず案内に書いてほしい。予防接種は受ける者が多少のリスクを負うものです。保健所に電話して聞いたら「行政が…行政が…」とまったく説

明出来ませんでした。

- ・市立病院の先生達、忙しいのはわかるが余裕がなく、平気でひどい事を言う人が多いので、人間的に成長するシステムを考えてほしい。
- ・この病気に適した病院をきいても明確におしえてくれない(当然だと思いますが?)
- ・救急指定病院を増やしてほしい。日・祭日になると、担当医がいなくて困ります。
- ・総合医療機関の整備。
- ・市立病院について、妊娠中受診していたのですが、妊婦にはふさわしくない椅子で座っているのが辛かった。スタッフの方々は親切で良かったです。
- ・私が住んでいる所は、ほとんど市川に近い場所であるということもあり、全ての施設、特に病院関係においては、松戸市の中の病院を全くと言っていいほど利用していません。何故なら、交通の便も悪く、特に近くに大きな病院がないので、この点については不満を感じております。
- ・病院(総合)が少ないので誘致してほしい。
- ・医療機関をもっと増やして欲しい。

## ○ 乳幼児医療費

- ・「年寄りにやさしく子供にきびしい松戸」といわれているのをご存じですか。子供が産まれてから、ひしひしと感じています。いまや子供の医療費が無料化されていないと、他県や他市の友人に話すと、驚かれます。地方から松戸に住み始めた私達には、あまり住みよい所とはいえませんが、これから仕事がしやすい、子供が育てやすい、お年寄りが生活しやすい所が変わって行く事を願っています。
- ・少子化に伴い、乳幼児 4 歳未満の医療費の補助の対象をせめて就学前までに引き上げてほしいと思います。近隣の都市では松戸市よりも進んでおり、とても子供を大切にしているんだと思われました。三郷市、流山市でも未就学児を対象にして医療費の補助がされているようです。
- ・医療費の補助を充実させて、子育てしやすい街づくりをしてほしい。
- ・低学年の医療費の見直し。他では無料の所もある。
- ・子供の医療費が3歳までだと、水疱やはしかなど幼稚園に入ってから流行するような病気になるとお金がかかる。
- ・子供の医療費が4歳未満までしか補助されないのはひどいと思う。都内等では小学6年生まで無料になる所が多い中、松戸市では少なすぎるのでは。
- ・子供の医療費の助成を小学生まで行ってほしいです。
- ・子供の医療費補助を小学校入学前まで延長してほしい。
- ・子供の医療費ですが、せめて小学校まで無料にしてほしい。無理なら少し安く負担をなくしてほしいです。子供はいま3人いますが(上から5年(11 歳)、幼稚園年長(6歳)、幼稚園年少(4歳))、これから医療費がかかってくると思います。もう少し考えて頂ければと思います。口先だけではなく、“実行”に移してほしいものです。
- ・子供の医療費、出産費、チャイルドシートの貸し出しなど、女性に配慮してほしい。

## (2) 福祉

### ○ 全般

- ・医療サービス、住環境の整備等、もっと人間らしい生活が出来るよう望みます。
- ・弱者の立場でものごとを。知的・身体的、経済的、お年寄り…等。
- ・駅、道路などのバリアフリーをもっと進めてほしい。福祉関係(医療・介護など)を充実してほしい。
- ・皆、老人になって行くのです。何時障害者になるか知れません。福祉に強い松戸、夕張の予備軍にならない様

願います。近所の友人代表としての一言です。

- ・《福祉・校外教育について》私には松戸出身の障害児を持つ友人がいますが、松戸市は東京都と比べると福祉医療制度が十分ではなく、友人は東京都に住むことを選択しました。福祉医療以外にも、児童福祉の面でも不満があります。例えば、子供が安心して遊べる児童館の少なさ(古ヶ崎・栄町には皆無)。私は東京出身ですが、自宅から歩いて行ける範囲に児童館がありました。現在も子供を連れて、渋谷の東京都児童館に行くこともあります。また、茨城県自然博物館の年間館員にもなっています。松戸市の「21世紀の森」には、年に数度行きますが、茨城県自然博物館のように充実した企画展(子供や親がみて勉強になる、良い経験になる…)などもなく、駐車場が有料ということも足を遠のかせています。多大な税金を投入して作った施設ですので、市民が有効に使える施設に変えて下さい(コンサートホールに公園が隣接しているというイメージしかありません)。
- ・福祉に関してはだいぶ良くなっている気はしますが…。
- ・特に教育・福祉関連の補助金やインフラが都区部と比較して著しく劣後している。
- ・福祉施設は給料が安く、他市に比べると施設自体も少ない。このままで行くと、松戸市が高齢化になり、弱者も寄りつかなくなってしまう。
- ・高齢者のみでなく、社会的弱者がカテゴリー別に集えるような場所も必要である。もう少しぐらいは税金をうまく使ってほしいものである。

## ○ 障害者

- ・私は 68 歳で透析4年であります。何時も松戸市役所にはお世話になって居ります。まずは常盤平南口の駅であります。身障者のため歩くのが非常に苦労します。見廻りの人が朝8時ころはいますが、日中は出来ないとのこと。
- ・身障者としての認定が甘い。医者との癒着を感じます。健常者以上の体力の女性が駐車禁止拒否車のレッテルシールをフロントガラスに貼ってあり、何時間でも人家の前に置いておくので不愉快極まりない。これも税金の浪費です。厳選で認定してほしい。関係当局へお伝え下さい。
- ・公園など、まだ車いす等が入りづらいような(入れない)所もあり、不便です。“安全な街づくり”とありますが、私にとって(車いす利用)は歩道等まだまだ危険を感じる所が多いのもまた事実です。ぜひ物理的な意味での安全も考えてください。
- ・障害者に対する各種サービスが少ない。
- ・障害者、高齢者にとって安心して生活できる社会になってほしい。自立支援法にともない、一部負担金が増え、生活がきつくなってきた。
- ・障害者の利用できる施設が(入所したりショートステイしたり)松戸市にはないので、介護保険関係だけではなく、こちらにも目を向けて作って欲しい。これから年寄りも増えてくるので、細かく地域にその様な施設も作って欲しい。
- ・精神障害者による近隣住民の被害について、一般障害者はあたたかく周りで保護するのは義務だと思っていますし、当然だと思います。千葉県で、障害者人権問題もわかりますが、逆例の人権がありません。我慢も限界があります。何とか条例が出来ないでしょうか？
- ・精神障害者の勤める作業所がなくなる。あるいは利用料を払わなければならないのに納得がいかない。障害者に対する制度が変わりすぎて大変困っている。医療費も上がってしまった。
- ・障害者やお年寄りが生きがいを持てるような社会づくり(バリアフリー)など、整備をお願いします。私も障害者ですが、日々懸命に生活しています。どうか真面目に生きている人達が報われる街づくりを希望します。
- ・障害者の介護タクシー等の利用に関し、初乗りだけではなくもう少し距離をのばして欲しい。福祉に関して、もう

少し住みやすい環境にさせていただくと、障害をもっている方やお年寄りの方は安心して暮らせると思います。長々と書きましたが、ご検討よろしくお願ひ致します。

## ○ 高齢者

- ・両親がよく口にしてるのは、年金から引かれる介護保険料が毎年高くなっていくのはなぜか、ということだ。年金が減っていただけにとても不安がっている。
- ・老齢年金受給者ですが、生活保護者支給額の2分の1以下です。かなり苦しいです。ちなみに月額 38,000 円位
- ・老人ホームの一覧表が欲しい。(詳細である程、うれしい)
- ・特に大きな病院を持っていなくても、安価で安心して老人を預けられる施設を作って欲しい。家族全員が働いている家庭のために。
- ・松戸市に長い間住んで高齢になった方には経済的メリットのある、例えば在住年数 30 年以上で 65 歳以上の方は××メリットなど。
- ・家族に高齢者がいるような人でも安心して働けるように老人施設を増やして欲しい。
- ・70 歳以上の老人に対し、バス、プール、たとえば本土寺等もう少し考えて頂きたく、東京、千葉、鎌ヶ谷市等を参考にして下さい。長い事税金を納めた老人の願ひです。
- ・お年寄りの住みよい町作りに力を入れて欲しい。
- ・これから老人が増えてくるので、お年寄りや障害者に優しい造りを期待します。
- ・シルバー人材センターの活動、シルバー就労教育(働くは損と考えている人へ)。シルバーの知識と労力を地域産業への応用。経済力豊かな松戸市へ。

## ○ 母子・保育

- ・子供を保育所(松戸市立)に2人続けて 8 年間お世話になっています。収入に応じた保育料ということで、1 人目の時は 6 万円位保育料でした。でも、保育所は「経費が少ないので…」と教材が少なく、近隣の友達からは「保育所つってかわいそうね。あなた達生活するお金大変なのね」と保育所の外見上から言われたりしました。所庭の時計も 3 年間止まったままだったり、遊具も壊れたままだったりするからか…と“保護者の会”で費用を出し合い直したり、買い替えました。“私立”でもないのに、悲しくなります。保育所の経費はなぜそんなに少ないのでしょうか。
- ・子育ての環境にもっと力を入れてほしい。次の世代を担う子どもたちですから。子どもが幸せでない町には将来がないように思います。公報に子育てボランティアをつのるなど、あまりお金をかけない方法で子育てを支援できることは可能だと思います。
- ・八柱に幼稚園が少ない。あと、託児所がない。
- ・先日、一時預かり可の保育園を利用したいと思い、市のホームページを見て、某保育園に連絡したのですが、面接時に急に預かる事はできない為、2時間ずつ時間を増やして慣らし保育をするように言われました。本音と建前が違いすぎて利用はしませんでした。長く住むつもりでマンションを購入したので、もう少し子育てのしやすい環境が増える事を願っています。
- ・千葉市から結婚を機に松戸市に来ましたが、公園が少なく、小さい子供を産み育てる環境が整っていないと思います。雨の日でも、いつでも使用できる遊び場(室内)等も1か所でもあれば…。かなり子育てには今イチな市です。作って下さい。
- ・川井市長は 7~8 年前子供がまだ幼稚園の頃、運動会でのスピーチで“松戸市は子供を大切にしたい。そのために援助金を増やしたい”と述べておられましたが、その後対応されているのでしょうか？我が家は中学生と小

学生がおりますが、税が高いばかりで教育へのはね返りが実感としてありません。弱い者への“政”をお願い致します。

- ・ 育児に関するサービスやフォローアップをもっとしてほしい。
- ・ 我が家は子供が四人います。子供が多いと主婦は家事も多く、仕事には行けません。もちろん子供にはたくさんのお金がかかります。少子化の時代に四人の子供はかなり多い方だと思います。しかし、ほとんど利点がないのが事実です。児童手当は小学生までと言わずに、その先もまだこれからお金がかかる事を理解してほしいです。ほとんどの子供が大学まで行く時代です。せめて高校を卒業する 18 歳までは何らかの形で児童手当などを出してほしいと思います。専業主婦とは、働かないだけでなく、働きに行けないという理由がある事も理解してほしいですね。
- ・ 現在、母子家庭だが、医療や待遇が悪いと思う。子供や自分が病気になっても、一時的とはいえ持ち合わせ（お金）がなければ、病院に行くのもためらってしまう。東京都の様に母子健康手帳があるとか、下水道の免除、バスやその他の優遇があればいいと思う。
- ・ 今、共働きの夫婦です。今後、出産を控えており、保育所などの育児のバックアップ体制について知りたい。どんなサービスがあるのか、分かりづらく不満です。もっと市として取り組んでいる内容を知らせて頂きたい。夫婦だけで育児できるか不安で、ためらってしまう。国でもそう言われているが、「老人問題」の方ばかりに予算が流れているのではないか。

## ○ 児童館

- ・ 児童クラブの充実もお願いしたいです。月1万5千円は高いと思います。
- ・ 児童館が好きで日曜日によく行きます。松戸市は常盤平 1 つしかなく、とても不便です。福祉センター内やその他、もっと増やしていただきたい。市川のメディアパークに行っても、松戸市民は市川市民より早く退室しなくてはならず、厳しくは言われませんが、気持ち的に嫌です。子供にとって安全で安心できる遊び場の確保・充実を強く願います。
- ・ 放課後児童クラブについて、1～3年生の在籍児童の多いところは、早急に複数施設にして下さい。
- ・ 子供が室内で遊べる場（ふれあい 22 みたいな場所）を作ってほしい。
- ・ 学童保育所に関して、もっと積極的に整備し補助していただきたいです。人数の割に場所が狭かったり、殿平賀小学校には校内に学童保育所がないため、民家を借りて学童保育所にしていますが、外遊びが道路でしか出来ず、子供達のがびのび放課後遊べていません。放課後クラブとの関係もよくわかりません。また、保育料が1ヶ月 15,000 円と東京 23 区の約 3 倍です。松戸市は「男は仕事、女は家庭」という前提の元に行政をされているのでしょうか。「共働き家庭の子供にばかり金はかけられない」と市役所の方がおっしゃっていたとの話もうかがっております。
- ・ 児童館なども近くにあればいいなと思います。
- ・ 児童館の数が少ない、放課後教室が学校にない。
- ・ 子育て中なので、松戸は児童館が古く1つしかないのが不満。遊び場の充実をお願いしたい。移動児童館や絵本の読み聞かせ、童謡コンサート等イベントはうれしい。でも、もっと市主催の幼児年齢ごとにイベント・交流出来るものを増やして欲しい。
- ・ 児童館の増設
- ・ 児童館を増やして下さい。上記も含めて地域に偏りのないようにつくって下さい。



## 5. 文化・教育

### (1)教育

#### ○ 学校

- ・小中学校のトイレ、今時ドアがこわれていたり、水洗が流れないトイレがあって良いものでしょうか。公園や森のホールに税金を使い過ぎて、教育の方へはお金を回してもらっていないと痛感します。
- ・学校(小・中学校)の施設が古い。市立高校にもっと特色を！
- ・教育(特に学校教育)に力を入れてほしい。障害を持つ子供(発達障害を含めた)が学校に何人もいます。しかし、学校が要請しても、補助の先生がつけてくれないとの事。学級も(その子供も)荒れています。子供達の将来がとても不安です。これからの松戸市のために、教育にもっと投資すべきだと思います。
- ・松戸市の教育(小・中学校)について、教師採用時はもっとよく面接をして能力(学力)以外にも人間性があるかをみて採用してほしいです。“ひいき”や保護者には言うべき事ではない。学校側の内部事情を話す若手教師がいる為、親は学校への不審が多くなる。もっと優秀な(心が)教師を松戸市以外の学校から是非集めて、よい教育をしてほしいです。特に我孫子市、流山市、野田市、印旛等。教師は千教研に必ずきちんと参加し、子供が集中出来て楽しめる授業づくりに是非とも努めてほしいです。
- ・市内小学校の教師のレベルの統一。場所によって、学校レベルが高い所、低い所が見受けられる。
- ・21世紀の森、本土寺参道等にお金を投入しておきながら、赤字赤字で市民に直接関係する学校統合や民営化を進めている事に疑問。物事の優先順位を考える能力が全くない。将来を担う子供達は後回し。近隣の市に比べて、子供にかかる投資が少ない。もっと頭を使って仕事をしてほしい。
- ・子供達のために、もっと学校を開放すべきである。遊び場として運動場をもっと使わせるべきだ。管理は地域の自治会等に任せる。先生方は事なかれ主義で閉鎖的。
- ・公立学校の情報開示をもっと行ってほしい。
- ・小学校。学校から届く印刷物は何故か知っていることが前提に書かれたもので、どのような主旨で何が目的で配られ、親は何をすればよいのか戸惑うことが多い。アスベストの対応やいじめ、不登校など包み隠さず公表してほしい。学校と市民のギャップはオープンにすべきと考える。
- ・あまりに多いいじめに対し、生徒の心を高める為に市を通して学校に心の教育を専門家(仏教・キリスト教・道徳・倫理等、その人達のお話を布教の為でなく)に。人の心を浄化する為に、朝や昼休み、下校前等に放送して聞かせることも必要と思います。親子の美しい話、弱い子を助けかばっていくことも教える。いじめられたらすぐ自殺しますという弱い心でなく、耐える心を培う。広報などに「いじめ」と題して、小～高校生も読めるような行を作り、親子共々心の勉強をさせてもらえる欄を設けることも一案です。

#### ○ 生涯教育

- ・今はITの時代といわれているので、年寄り向けのパソコンの扱い方を、老人でも通えるように、手軽でもっと身近にあればいいと思うので、もっと行政が取り組んでほしいと思います。
- ・市行政やサービスを知る上で「広報まつど」には満足していますが、例えば市内の遺跡などを紹介して行くなど、文化に関する連載記事があったらと感じることがあります。心のゆとりと読む楽しみ、関心が高まる。
- ・市の歴史・伝統・文化などの情報が乏しく、市民に知られていない。古くからあるものを大切にし、継承する気持ちで郷土愛になり、地域の共助精神が育成されると考えます。
- ・足立区や台東区を参考に、生涯学習センターを中央公園に建ててほしい。特に、図書館は八柱は狭く不便。松戸は狭すぎる。至急是非お願いしたい。

- ・ 学習講座の充実。
- ・ 私の住んでいる地域では、カルチャースクール等の行事を行う施設や行事そのものが少ないという声も聞きます。

## (2) 青少年非行

- ・ これから自分の将来を担う通学路の高校生達を見ると、エネルギーがもったいないよと思います。(教育・マナー)
- ・ 子供の夜遅くまでの行動！(夜中や朝方早くの迷惑な話し声！)
- ・ 週休二日制のため、子供の遊ぶ範囲。人の家めがけてピストル(ビービー弾)を撃って遊んだり、迷惑である。

## (3) 文化

### ○ 全般

- ・ 30年近く松戸市で暮らしています。2004年から2年間初めて外へ出て新潟市内にいました。文化施設の質の高さに大変驚き、十分楽しませてもらいました。もっと生活したいなあと転勤が決まった時に思いました。このように感じる松戸市であることを願います。
- ・ 古くから栄えた松戸宿の遺構、戸定邸、本土寺等文化財の活用等が少なく、他にあまり知られていない。
- ・ 今年の松戸まつりは何ですか！規模が小さくなって、家族・友達の間でもがっかりしたとの意見ばかりでした。(誰を、何をターゲットにしていたのか？)
- ・ 新松戸は多くの人が住んでいるのに、駅周辺の特に夜の環境が悪く、イメージが悪い。生涯学習センターを作るなど、コミュニティセンターを作り、文京地区として、もうひとつレベルアップした松戸の副都心となってほしい。
- ・ ウォーキング時、目を楽しませてくれるものが少ないのはやむを得ないが、点在する歴史的資産等には分かり易い解説をつける等もっと充実させたい。
- ・ 森のホールが出来て芸術に関する意識は高まりつつあるので、なるべく幼稚園位から親しめる様に(観劇作法などの指導を含め)、もっとチャンスを作ってほしい。援助金や無料で学校へ招待するなど。過去何度も拝見しましたが、大人のお客の態度がひどい。これから不景気と称して、益々足を運ぶ機会が少なくなる事の可能性が強くなりそうなので、心豊かに育つ子供が育ちにくくなりやすいかと。クラシックバレエなど、未就学児の観劇のチャンスは少ないので、特に望みます。企業からの支援などをお願いして協賛してほしいです。
- ・ 森のホールで昼間気軽に出かけられるコンサートがあればいいですね。しかも安くで。新潟のりゅーとびあ(コンサートホール)では、1コイン=500円でコンサートがあってよく鑑賞していました。
- ・ 教育、福祉など必要な分野にはお金をかける必要がある。図書館や公園(21世紀の森の広場)の開園時間をもっと広げるべきである。利用者サイドで使いやすい運営を考えてほしい。
- ・ 隣の市川市と比べて感じるのですが、文化の程度が低い。21世紀の森だけでなく、もう少し力を入れて欲しい。
- ・ 「生きがい」お年寄りには仕事や活動の場を作っても、若い世代はそういう事、少ない気がします。若い世代、やる気を無くなるのではないかと。お隣の柏市のように、誇れるものが無いかな(柏ナンバー、柏レイソル、などなど)。

### ○ 施設

- ・ 「森のホールの利用拡大策」。新京成線に駅を新設し、ホール直結の陸橋を作り、市民が気軽に行き易い環境を作り、入場者の増大を図る。予算は一般(企業、大学、個人など)から幅広く寄付を集め、市及び新京成電鉄から捻出する。一流アーティストを呼び、「文化の松戸」の名を高めたい。
- ・ 市民センターの老朽化。

- ・時々市民会館に行きますが、いすの座り心地が非常に悪いので改善を希望します。
- ・松戸市立の美術館をつくる。
- ・センターへの申込など市は関与していないそうだが、私達老人が場所取りの時に朝早く行かないと1番の人が優先との事で、これから寒くなるので皆困っています。老人はその月ごとにかかわると今日は無し、有りとは困るのですがね。
- ・森のホールは不便。駅から歩いて10分以内に芸術的な建物がほしい。
- ・遊戯施設の充実。
- ・市の施設(センター、会議室、ホール、その他)の利用に当たって、市の関係者や市の関係団体、市の関連行事などを優先し、障害者団体を始め、市民ボランティア団体などが市関係団体の予約後、残った日時を抽選で予約せねばならない現寿はとても不適切と思われる。市の施設は市民優先であるべき。さらに福祉関係最優先がもっとも理想的。
- ・ユウカリ学園と同じ通りに故村上シェフの家があります。偉大なシェフは毎年、桜の季節を楽しみにされていたようです。その業績を残す記念館あるいはフランス料理研究所があればなんて夢みたいです。
- ・新松戸地区からもすぐ行けるような生涯学習センターや充実した図書館など、よりよい施設があったらよいと思う。年齢がいくと、6号を越えて車で行くというのは身体的につらくなると思う。自転車、徒歩で行ける場所があったらと思う。

## ○ 図書館

- ・CD、本などがたくさんある大きな図書館を作ってほしい。
- ・図書館の施設が他の行政と比べて貧弱。
- ・新松戸図書館の拡充。松戸市図書館の蔵書を増やす。
- ・新松戸地区在住。図書館が貧弱。流山は平日8時迄、祭日も開いているが、何より閲覧場所が少な過ぎる。あまり活用されていないスペースを思い切り転用すべきと考えます。
- ・図書館もありますが、幼児が読みやすい机やいす、本棚の角度など、0歳から毎日通える様な雰囲気や備品の高さや照明などを。子供の数は少ないのですから、もっと親しんでくれる様、図書館員が読み聞かせをして下さる等(ボランティアの方でも)、豊かな教育や心を持てる子供を育てる助けになってほしい。ルールに縛られるのではなく(人間が作ったルールに人間が縛られては困る)、秩序としてのルールと考えてほしいです。人材育成の図書館やホールを利用してほしいです。本来は親の仕事なのですが、余裕のない現在の親に望むのは難しいので、これからの松戸(日本)は心豊かな子供達が育つ様に『価値ある施設』にしてほしい。松戸市内在住の方々にご協力いただき、保育所・幼稚園児などから年々徐々に指導をして下さい。各ジャンルで観劇態度も違うので(拍手の仕方等)、育成して世界に恥じない子供達を…。日本はホームレスでも新聞が読める様に。基本をしっかりとってほしいです。今のままでは国際化とは言えません。松戸に引っ越して来て驚きました。十年以上前よりずいぶん良くなりましたが、それでもおはなしキャラバン活動をなさっていらっしゃるだけの効果がとても低いのです。なぜでしょうか？ 図書館その内容では？と。市世で子供が本を読む空間や工夫がないです。
- ・図書館があまりにも整備されていないように感じる。特に古い所は蔵書が少なく、本を読むスペースもほとんどない。平日の時間延長もしていただけたらうれしいです。また、予約をしても時間がかかる。駐車場も狭かったり、料金をとるなど市民と非住人の差がまったくないことに不満です。
- ・図書館について、市民センター分館をよく利用しています。本館だけでも、もう少し蔵書量や閲覧施設などを充実させて頂けないでしょうか。読書は市民の文化意識向上の第一歩だと思います。この分野に税金を使ってほしいです。

- ・図書館のあり方。本の種類や新刊本、雑誌、etc. サロン風にゆったりくつろげる様な空間にしてほしい。
- ・図書館のサービスが悪い。民間に運営を委託し、祝日なども利用できるようにしてほしい。(正規の市職員の管理は勤務時間の制約のため、利用できる時間が少ない。)また、中央図書館が小さすぎる。現在の5倍以上の大きさにして、閲覧室をもっと広くしてほしい。
- ・図書館の充実をお願いしたいです。よく本を借りに行くのですが、本が古かったり、人気のもの等の新しい本は手元に来た時には読む気がなくなってしまうたりです。流山の森の見える図書館はすばらしい空間で、ゆったりと読書できます。身近にこのような図書館があったらなああと、うらやましくなっていました。松戸では無理でしょうか。

#### (4) スポーツ施設

- ・新聞等で老人にマシーンを利用して運動をさせている地区があることを読みました。インストラクターがついて指導し、寝たきりや転倒を防ぐために足腰を鍛えているようでした。私の住む地区もほとんど老人が昼間家の中に居るか、買い物に出るきりのようなので、考えていただきたいです。
- ・スポーツ施設(温水プール)を充実させてほしい。
- ・運動施設の充実。
- ・和名ヶ谷の温水プールの料金が大人1時間 400 円は値段が高すぎる。この料金では頻繁に通うことはできない。その時には、冬場は寒くて暖房施設に不満。公共のスポーツ施設が充実していない。例えばスポーツジム施設の設備は貧弱。健康増進のための施策が必要。
- ・室内使用の公共のスポーツ施設が近くに無い。
- ・六実地区近隣で市営の運動施設を作してほしい。プールや体育館など。
- ・スポーツ施設の予約が複雑なので、もっとわかりやすいように改善して下さい。
- ・子供が自由に使える野球場などのスポーツ施設を充実してほしい。市内のスポーツレベルの低さを、市の責任と感じて実現していただきたい。松戸の知名度を上げるにはスポーツが一番手っ取り早く、財政にも多少つながるものではと思う。
- ・子供のできるスポーツ(野球・サッカーなど)の場所がほしい。
- ・スポーツ施設も鎌ヶ谷や柏で造られているものに比べたら、一世代前の使い勝手の悪いものとなっており、それは松戸市内の町並みにもいえる。このことが、松戸はただ寝るだけの所であり、生活の基盤や遊び、買い物は他の市町村へ取られている有様である。財政が困窮しているのはわかるが、市民にとって必要な整備に取り組んでほしいものがある。

## 6. 公共施設

---

- ・投票所が山の上にあるが良識を疑う(秋山投票所)。
- ・市民センターをリフォームし、今まで以上に使い易く、明るい施設にして欲しい。習い事の内容の充実、図書館の充実。
- ・先日市役所に参りました。入口に介護の車を使用し、階段まで行こうとした折、坂が急なため自力では昇れません。その際、役所の上司の方だと思います。三名様で私を送ってくれました。また帰りにはあの急な坂でどうして良いかと考えました。なんとか手を借りて降りることができました。出来ればなんとかして欲しい。
- ・床面を大理石もどきのつるつる面にするな。建物、駅、階段等。すべりやすく危ない。危機管理上問題あり。
- ・松戸の駅ホームにエレベーターが無い。

- ・ 東側(松戸駅)のエスカレーター設置を希望。
- ・ 馬橋駅の急な階段を一日も早く解決してほしい。
- ・ 北小金駅を横断してSATY等で買い物をしたり、用事を済ませることが多いが、階段しかなく乳児を連れて階段の登り降りはかなり大変です。最近はお年寄りも多く、なぜあそこにエレベーターを作らないのか疑問です。ぜひ作るようお願いしたい。
- ・ 近隣市と比べて特に公共施設、商業施設の充実を希望します。
- ・ 公の施設(例えば森のホール、市役所、市民病院、市の運動場など)がすべて常磐線の東側にあり、とても不便です。常磐線の西側に住んでいて、車の免許を持っていない私にとって、急坂を登って行かなければなりませんので大変です。なぜ、公の施設が東側に片寄っているのか、非常に不満です。

## 7. 地域活動

### (1) コミュニティー

- ・ 地域の活動をもっと活性化するための手助けをしてくれるとうれしい。特に子供会など。
- ・ 住み始めた頃(30年程前)は、自治会・育成会を通してコミュニティ作りの市の関与を実感したが、最近では感じられない。
- ・ 税金をもう少しうまく使ってほしい。若い人たちが出会いの出来る会を作ってほしいと思う。出会いがなければカップルもできず、子供も増えません。21世紀のホールがあるのだから、うまく使ってほしいです。市民の税金は大切に使ってほしいです。
- ・ 老人と子供の交流の場を増やす。キレる子供を減らしたり、老人のボケ防止につながると思う。
- ・ 2007年問題を迎え(団塊の世代)シニアの方々が活躍できる、貢献できることを(市内で)考える。対策を。
- ・ このアンケートに答える中で地域との関わりの薄さを感じました。
- ・ 子供の教育問題。学校での教育ばかりでなく家庭での子供とのコミュニケーションの充実。地域での子供育成指導。子供会等の有効利用。
- ・ 子供を育てている時にこの調査票が送られてほしかったです。PTA、町会役員、行事あるごとに参加してきました。現在は自分の時間は福祉関係に出向きます。午前中のみ。いつまでも元気で家族、地域社会とのつながりを大事にして暮らして行きたいと願っております。
- ・ 少子高齢化が進み、町にも高齢者の姿が多く、若人や子供達を見る事が少なくなりました。核家族社会から50年経った今は地域も社会も教育・治安や学校のいじめ等は連日ニュースで報道され、これら核家族社会のひずみと考えられ、安全・安心な町づくりのため50年前に戻り、2~3世代同居の家族づくりと私は考えます。家族の大切さ、社会や町、そして松戸市や国の大切さを教えられます。

### (2) ボランティア

- ・ ボランティア活動のポイント制の検討を望みます。あるボランティア活動に従事したら、〇〇点、それを加点しておき、例えば将来介護を受けるようになった場合には、今までのボランティアポイント△点につき1日無料で受けることができる。といったようなボランティア制度があれば、日頃からもっと色々な活動に積極的に参加する気持ちになると思います。是非検討を。
- ・ 4月に転入して、マンション住川になり、非常に孤立感があり、体調を崩してしまい、現在、病院通いの毎日。自分からどんどん外へ目を向けたいとは思いますが、体がついていかない。松戸市には日赤奉仕団はあるのか、常に興味を持っていて、将来自分が何かのお役に立ちたいと思っています。日赤のチラシなどがありましたら、公報

などに掲載して頂きたい。

## 8. 市政

---

### (1) 将来像

- ・ 仕事、ショッピング等で近隣の市に出かけますが、松戸市がそれらの市よりも誇れるものが余りにも少なすぎる様に感じ、魅力的な松戸市に早くなってほしい。
- ・ 松戸市の顔である松戸駅前の活性化(含外観)をお願いします。近頃、注目されている柏市や野田市に比べて少し元気がないように思われます。以前、駅から伊勢丹までの直結連絡通路ができるという計画を聞いたことがありますが。色々事情があるとは思いますが、東京都の隣に位置する松戸市をもっと活性化した元気な市にしていきたいと思います。よろしくごお願い致します。
- ・ 市内への企業の誘致→雇用の推進→市の増収。中流所得者を流にせぬよう遅すぎない対応を必要とする。
- ・ 松戸市はこのままでは柏や流山などに遅れを取ると思います。
- ・ 住みたい町づくりをしていかなければ、住人も集まってこなくなると、行政としては税金が取れず、悪循環になることは一番あなた方がご存じのはず。このようなアンケートを図る以上は、市のパフォーマンスで終わらせることのないよう、税金のムダはなくすように、きちんと対策を考えてもらいたい。
- ・ 長期的展望をもった、健全かつ節度ある行政を願っております。
- ・ 市職員は制服を着て市内を巡回し、自分の目で街の様子を実感して下さい。子供の遊び場、年寄りの様子等。机に着くのは短い時間でいい。事務は主婦等のアルバイトにやらせなさい。
- ・ これからもよい松戸市づくりをどんどん進めて行って下さい。
- ・ 市職員の頑張りに期待したい。大変でしょうが、アイデアとサービスで。
- ・ 安全、安心の街づくり。

### (2) 行政全般

- ・ 市役所窓口を 24 時間制にしてほしい。
- ・ 都市計画の基本構想が後手に回っている。二十一世紀の森や、森のホール等の立派な施設があるが、全体として統一のとれた街づくりが感じられない。
- ・ 駅の中にある役所出張所はオープン時間が遅く、クローズが早く、何の役にも立っていない。市役所まで行くことのできない人が利用する場ではないの？通勤者は行けないよ。対応できることも限られているし。24 時間でない意味なし。
- ・ 支所行政窓口サービスがよい(早い、親切)。今後も続けて下さい。
- ・ 民間のキャリアを市政にもっと取り込むべき。安住の地としてはならない。
- ・ 市役所等は土・日休みで、休日利用がもう少し便利にならないか。今の状態では勤め人はほとんど利用出来ないと思っている人が多いのでは。
- ・ 役所関係もせめて各週でもいいので、土曜日でも営業してもらいたい。
- ・ 松戸を中核とする政令指定都市の実現プランはいかに。
- ・ 来年 10 月に医療の控除に役所に行きますが、時間をもう少し長くして下さい。今年は確か午後5時まででしたが、あと1時間位長くして下さい。勤めの帰りに行くのは無理です。
- ・ 市役所窓口で住民票や印鑑証明など 300 円は高すぎると思います。コピー代プラスアルファでも 100 円か 50 円で良いのではないのでしょうか。

### (3)税金・年金・各種保険等

- ・子育てをしながら共働きをし、定年を迎え、少ない年金でやっと細々と生活をしている目の前で、働ける体がありながら働かず生活保護を受けながら朝から晩までファミレス通い等でのんきに生活を送っている人がいるのには、福祉課に対し何をしているのか、税金の無駄使いは許されない。
- ・健康保険料が高額過ぎるので安くしてほしい。
- ・介護保険や国民健康保険料が近隣市より高いというのにショックを受けました。がっかりです。
- ・健康保険・介護保険の見直し。元気なお年寄りの人がデイサービスを利用している。本当に見てあげるべき(寝たきりの人、体の不自由な人)を優先する基準の見直し。
- ・低所得者への税の負担をもっと少なくしてほしいです。
- ・国民年金が減額される中で医療保険料(国民健康保険)が他市に比べて高すぎて年金者には生活が苦しい。
- ・税金が高い。
- ・市民の税金をもっと有効に使ってほしい。
- ・住民税が周辺自治体と比べて高い。
- ・生活保護を受けていて、仕事も探さずに遊んでいる人がいるのはなぜですか？ 毎日働いているのに、その人達より給料が少ないことに憤りを感じます。

### (4)広報・情報提供

- ・「違法なゴミ焼却」の広報について、上記については時々、松戸市の広報で記事を見かけるが、あまり減少の様子がない。そこで、広報の方法を多様化して、啓発に一層力を入れてほしい。
- ・新聞をとっていないため、松戸市の地域新聞しか情報はありません。柏と鎌ヶ谷市の間に住んでいるので、特に松戸市の情報がなくてもいいのですが、ゴミとかも分かりづらいです。
- ・松戸市のホームページが見づらいので、もっと見やすくしてほしい。文字だけではなく、絵なども入れて。
- ・市のホームページは非常に見にくい、使いにくいので改善して頂きたい。情報の開示レベルが低い。
- ・最近都内や地方で問題になっている談合や調査費、出張費、議会報告や税金の会計報告をもっときちんと納税者みんなにしてもいいのでは。
- ・松戸市のホームページをもっと見やすく、使いやすくしてほしい。
- ・裏金問題、目黒区の政務調査費の悪用、問題が発覚しているが、松戸市は問題ないのか。是非、「松戸市は問題ありません」と公報で発表して欲しい。
- ・インターネットの中から調べたいものがすぐに見つからない。どこに電話をすればよいか、すぐにわからない。
- ・もう少し市役所の活動について知らせてほしい。
- ・広報まつどは新聞配達を受けていない世帯には届けられていない。広報内容はインターネットで配信してほしい。もし配信しているのなら、そのむね広報(町内会等を通じて)してもらいたい。

### (5)職員の態度・待遇

- ・市長の公用車ででの出勤について、徒歩もしくは自転車で通える距離ではないのか？ これにかかる経費についての見直しが必要ではないかと思う。
- ・市役所職員の労働時間について、新聞でも取り上げられていたが、早急に週 40 時間勤務に移行すべきだと思う。

- ・市役所で働いている人数が多すぎる気がする。役所に行くと、皆のんびりゆったりで羨ましい。私等は少ない生活費でやっと生活していて病気になっても病院にも行けない。
- ・市会議員の数が多すぎると思います。又、定職がありながら議員報酬を受けている議員も多いのではないですか。もっと報酬を減らしてもいいでしょう。市職員の採用に縁故採用があると聞きます。公平に公募して採用して下さい。又、市職員の給与も国や民間と比べて高すぎます。退職金も含めて。市財政の赤字と聞きます。市職員から率先して給与を引き下げざるべきだと思います。
- ・職員の方達に言いたい事です。課の仕事は担当じゃないとわからないのではなくて、全部把握して下さい。電話もたらい回しにしないでほしい。
- ・市役所、税務署の職員数が一般企業と比べて多すぎる。市役所の代表電話にはまずつながらない。不親切きわまりない。担当部署の直通電話番号を公表すべきである。
- ・市職員の給料体系の見直し。残業手当、休日手当の見直し。高すぎる。
- ・市の議員の削減。多すぎる。無駄な税金を使うな。
- ・市の職員が多すぎる。
- ・市の職員は、何の相談・要望等をすると、町会を通じてと言われる。個人の要望も聞いてほしい。

## (6)市議会・議員

- ・最近ニュースで市や区の議員が政務調査費を私的に使用しているというのが報道されているが、松戸市は大丈夫なのか？そういうおいしい思いをする為に今回もたくさんの方が市議の選挙に出ているんじゃない。徹底的に調査して市民に報告した方が良いのでは。問題が無くて当然なのだから。苦しい思いをして払っている税金をムダに使ってほしく無いのは当たり前の考えですよ。
- ・市長は2期までが良いと思います。市議の出張などは広報誌に載せて、出張費なども書くと、誰がどこで、どのような勉強をされているかがわかり、市民も感心をもっと持つと思います。
- ・松戸市を変えるには、市長の任期が長すぎる。近頃、各県で市長の不正が多発している。一時期、川井市長もうわさをされていたが、市長には不正はないのか？政党を変えるべし。
- ・市会議員の定数削減。
- ・市議会議員定数が多すぎる。議決事項とのバランスが悪く、現在の2分の1以下程度の定数でも十分。実効性のある議論をしてほしい。条例はつくるものの、それをきちんと実施されていない。職務怠慢か。駅前の違法駐車、駐輪対策、福祉、etc。
- ・市長の多選について不満。自主的な退任が制度要。市政と国政の関連として市政が国政に関わりすぎる点はあまり感心できない。自治体レベルで充実度を高める。
- ・先日の市議会議員選挙で 38 万人口に 46 人も議員さんが必要ですか？ もっと税金を使えばなしにしないで、納税者にサービスしてもらいたいものです。
- ・松戸市に限った事ではないが、市議会議員の数が多過ぎると思う。法律の問題もあるが、減らしてもいいのではないかと思う。
- ・松戸市議会の議員の人数は多すぎるのではないか。
- ・松戸市議会議員が多過ぎると思います。

## (7)その他

- ・ニュース等で流れる松戸の話題の大半が事件、犯罪がらみで「松戸」というイメージが他から見て極めて悪い。



- ・公園・駐車場・売却等、維持費がムダ。
- ・このアンケートを含め、市民の声を反映してほしい。
- ・成人式はほとんど会場に入らないし、会場に行っても「入って下さい」でもなければ受付がどこかもわからない、会場の案内がよくわからなかったらしいです。選挙権取得の認定証は意味ないと思います。あんなものをわざわざ作って送るくらいなら、初選挙の時にでも選挙のやり方や会場でのやり方等を印刷して一緒に送るとかの方がよっぽど選挙に対する不安がなくなり、選挙に行く人が増えるのではないかと思います。
- ・市役所の用地の拡大(特に駐車場)。
- ・市役所建物の中に一般の人が入って行っても何か魅力ある場がほしい。(例えば、レストラン、喫茶、景観が見える場等)
- ・自動車のナンバープレート「野田」をやめて下さい。柏ナンバーに仲間入りするか、習志野に戻して下さい。
- ・松戸市に世話になって生活している人がパチンコに行ったり、人の名で車を買っている。また、病院代が無料との事でシミを取ったりホクロを取ったりしている人がいます。良く調べて下さい。真面目に働いている人がバカをみているようです。
- ・政務調査費の問題も公表してほしい。問題はあるのか、ないのか。何を調べるアンケートなのかよくわからない。この程度で表記の「いきいき…」の足しにはならない。もっと議員がしっかりしていれば、市政はよくなる。
- ・川井市長様、職員の皆様、本当にご苦労様です。これからもお体に気をつけてよろしくお願い致します。
- ・整地組合の公道道路で、ほどほど困った道路の補修を市の方に工事をしてもらって大変助かった。20年間整地組合に工事を依頼していたが、やってもらえなかった。現在は市の方に感謝しています。結局は“人”ですね。

## 9. その他

---

- ・ライトをつけずに走っている自転車や、歩行しながらの喫煙に困っています。松戸市でも小・中・高校生などに自転車の免許証を発行したり指導してほしいです。携帯電話で話ながら走ってきたり、暗がりから出てくると怖いのです。
- ・家族が揃ってよく話題になるのは、新松戸駅前の赤い建物のことだ。何の意味があり、何の目的があって建てられたものなのか。税金の無駄遣いではないのか？
- ・バンダイの入っていたビルの再利用法は？
- ・まだ千葉に越してきて間もないのですが、以前に住んでいた所より、お年寄りが多く、また元気な方が多いように思います。
- ・自転車に乗っている時、最近右側通行してくる人や左側を抜く人が多くいるのにおどろきます。警察から交通ルールを守るよう指導してほしいと思います。
- ・道路を自分の土地であるかのように使用している人が多い。
- ・スピードを出す車が多いので、警察にも協力を依頼してほしい。
- ・本アンケートは、実施計画に対するCS調査の意味合いで実行されたと思いますが、質問項目はその意味合いと合致しているでしょうか？
- ・個人的だが、ガスをプロパンではなく、都市ガスにしてほしい。コストが高くて経済的に辛いです。
- ・市全体に活気がない。



(添付資料：市民意識調査票)



--	--	--	--	--

(この欄は調査票の整理に使用しますので、何も記入しないようにお願いします。)

## 総合計画に基づく市民意識調査

### ◆ アンケート調査ご協力をお願い ◆

松戸市総合計画基本構想に定める本市の将来都市像である「いきいきした市民の舞台、こちよい地域の舞台、風格ある都市の舞台のあるまち・松戸」を実現するため、前期基本計画に掲げられた施策展開の方向に基づき、行政を総合的かつ計画的に推進することを目的に、第1次実施計画に引き続き、平成15年度から平成19年度を期間とする第2次実施計画を実施いたしております。本調査はこの「第2次実施計画」にあたり市民の皆様の見解等をお伺いし、計画の進行管理の参考にさせていただくために実施するものです。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、このアンケート調査を実施するにあたっては、平成18年11月15日現在の住民基本台帳から無作為に3,000人を抽出いたしました。アンケートの結果につきましては、調査の目的以外には使用いたしません。

平成18年11月

松戸市長 川井 敏久

### ◆ ご記入にあたって ◆

1. 質問には、必ず本人（封筒の宛名の方）がお答えください。
2. この調査にはお名前を記入する必要はありません。個人の秘密は厳守いたしますので、ふだんご自分が考えていること、または行っていることがあればご意見をお聞かせください。
3. 表紙の右上の整理欄に記入している数字は、お住まいの地区を表すもので、個人を特定するものではありません。
4. 回答は、あてはまる答えの番号を1つだけ選ぶもの、あるいは複数選ぶものがございます。お手数ですが質問を確認のうえ番号に○をおつけください。
5. 質問の中には、○をつけた番号により、次の質問が問われるものがありますのでご注意ください。
6. お答えが「その他」の場合には、番号に○をつけ（ ）内に内容をお書きください。
7. ご記入いただいた調査票は、12月12日（火）までに同封の返信用封筒に入れてご返送ください。
8. この調査に関するご質問、ご意見などがございましたら、下記までお問合せください。

#### <問合せ先>

松戸市 総務企画本部 政策調整課  
〒271-8588 松戸市根本387番地の5  
Tel 047-366-7072  
Fax 047-366-1204  
e-mail : mcseisaku@city.matsudo.chiba.jp

## I はじめに、皆様の日頃の身の回りのことについてお聞きします。

Q1 あなたの身の回りでは人権が守られていると思いますか。次の中で、人権が守られていないと日頃感じるものがあれば、あてはまる番号全てに○をつけてください。

- |            |              |            |
|------------|--------------|------------|
| 1 女性の人権問題  | 4 障害者の人権問題   | 7 患者の人権問題  |
| 2 子どもの人権問題 | 5 同和問題       | 8 その他（ ）   |
| 3 高齢者の人権問題 | 6 外国籍市民の人権問題 | 9 人権問題は特にな |

Q2 「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはこの考え方に同感する方ですか、それとも同感しない方ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- |             |          |
|-------------|----------|
| 1 同感する方     | 3 同感しない方 |
| 2 どちらともいえない | 4 わからない  |

Q3 あなたは、現在世界のあちらこちらで起こっている国際紛争の解決について特に関心をお持ちですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- |                |                |
|----------------|----------------|
| 1 大変関心を持っている   | 4 あまり関心を持っていない |
| 2 かなり関心を持っている  | 5 ほとんど関心がない    |
| 3 ある程度関心を持っている |                |

## II 次に、皆様自身の感じていることや考え方などについておたずねします。

Q4 あなたは日頃、生活の中で生きがいを感じていますか。次の中から、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- |            |             |              |
|------------|-------------|--------------|
| 1 大変感じている  | 3 ある程度感じている | 5 ほとんど感じていない |
| 2 かなり感じている | 4 あまり感じていない |              |

Q5 あなたは今、健康だと思いますか。次の中から、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- |             |                  |            |
|-------------|------------------|------------|
| 1 非常に健康だと思う | 3 どちらとも言えない      | 5 健康でないと思う |
| 2 健康な方だと思う  | 4 あまり健康な方ではないと思う |            |

Q6 あなたは今、生活の中で不安になったり、心配になったりすることがありますか。次の中から特に気になるものがあれば、あてはまる番号全てに○をつけてください。

- |                       |            |
|-----------------------|------------|
| 1 自分の健康               | 8 子どもの将来   |
| 2 家族の健康               | 9 住居や住まい   |
| 3 将来自分や家族が必要になったときの介護 | 10 財産や資産   |
| 4 現在の生活や家計            | 11 人との付き合い |
| 5 将来の生活や家計            | 12 生きがい    |
| 6 仕事                  | 13 その他（ ）  |
| 7 出産や子育て              | 14 特にな     |

Q7 あなたは、市内で地域に貢献する活動を行っている団体、組織やグループの活動に、日頃積極的に参加していますか。次の中で、参加しているものがあれば、全てに○をつけてください。

- |                    |                   |
|--------------------|-------------------|
| 1 町会・自治会           | 6 企業による奉仕活動       |
| 2 ボランティア団体         | 7 有志・仲間との奉仕活動     |
| 3 PTA              | 8 その他（ )          |
| 4 NPO法人（特定非営利活動法人） | 9 積極的に参加しているものはない |
| 5 子ども会育成会          |                   |

Q8 あなたは日頃、特定の関心があるテーマについて、自主的に学習活動をしていることがありますか。過去1年間を振り返って、学習活動に取り組んだ日数は平均するとどのくらいですか。次の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

- |          |          |        |
|----------|----------|--------|
| 1 ほぼ毎日   | 3 月に数日ほど | 5 全くない |
| 2 週に数日ほど | 4 年に数日ほど |        |

Q9 あなたがこれまでに、自主的に取り組んだ学習活動の成果が活かされていると思いますか。次の中から、活かされていると思う番号全てに○をつけてください。

- |                     |                           |
|---------------------|---------------------------|
| 1 仕事、職業に活かされている     | 5 親睦を深めたり、友人を得るときに活かされている |
| 2 自分自身の向上に活かされている   | 6 その他（ )                  |
| 3 家庭や家族に活かされている     | 7 活かされていない                |
| 4 地域活動や社会活動に活かされている |                           |

Q10 あなたは、ご自身でインターネットを利用しますか。次の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

- |                |               |
|----------------|---------------|
| 1 毎日のように利用している | 4 ほとんど利用していない |
| 2 時々利用している     | 5 全く利用していない   |
| 3 たまに利用している    |               |

**SQ（Q10で1～3を選択した人のみお答えください）**

あなたは、インターネットをどのようなことに活用していますか。次の中からあてはまる番号全てに○をつけてください。

- |  |  |
|--|--|
| 1 電子メールの送信によく利用している                    |  |
| 2 メールマガジンやニュースなどのメール情報をよく受信している        |  |
| 3 いろいろなホームページを開いて情報を入手している             |  |
| 4 チケット予約やショッピング、オークション参加、株売買など買い物をしている |  |
| 5 自分自身でホームページを開設し、情報を発信している            |  |
| 6 その他（ )                               |  |

Q11 あなたは日頃、運動・スポーツをしていますか。次の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

- |               |                     |
|---------------|---------------------|
| 1 現在も継続的にしている | 3 以前はしていたが、現在はしていない |
| 2 最近、始めた      | 4 以前も、現在もしていない      |

Q12 あなたは日頃、絵画、音楽、映像、演劇などの芸術文化を鑑賞したり、創作や実践することがあります。次の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

- |                         |             |
|-------------------------|-------------|
| 1 鑑賞し、自分でも創作や実践もしている    | 4 たまに鑑賞している |
| 2 よく鑑賞するが、自分では創作や実践はしない | 5 ほとんど鑑賞しない |
| 3 時々鑑賞している              |             |

Q13 あなたは日頃、松戸市に在住したり、滞在したりしている外国の方達と親しく接することがどのくらいありますか。次の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

- |          |          |          |
|----------|----------|----------|
| 1 大変よくある | 3 ときどきある | 5 ほとんどない |
| 2 しばしばある | 4 あまりない  |          |

Q14 あなたは日頃、防災のための準備をしていますか。次の中からあてはまる番号全てに○をつけてください。

- |               |                |
|---------------|----------------|
| 1 消火器の設置      | 6 避難経路や避難場所の確認 |
| 2 家具などの転倒防止   | 7 防災訓練などへの参加   |
| 3 水や食糧の備蓄     | 8 その他（ )       |
| 4 非常持ち出し用品の確保 | 9 特に準備はしていない   |
| 5 身内との連絡方法の確立 |                |

Q15 あなたは、この1年間に買い物などの消費の際にトラブルや被害にあったことがありますか。次の中からトラブルや被害にあった番号全てに○をつけてください。

- |                               |  |
|-------------------------------|--|
| 1 店舗で購入した商品やサービスでのトラブルや被害     |  |
| 2 訪問販売で購入した商品やサービスでのトラブルや被害   |  |
| 3 通信販売で購入した商品やサービスでのトラブルや被害   |  |
| 4 電話勧誘販売で購入した商品やサービスでのトラブルや被害 |  |
| 5 その他（ )                      |  |
| 6 トラブルや被害にあっていない              |  |

Q16 あなたは市役所への問合せや、窓口の手続、サービスの利用などの際、市役所や支所などが身近で便利だと感じていますか。次の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

- |                 |                  |
|-----------------|------------------|
| 1 大変便利だと感じている   | 4 あまり便利だと感じていない  |
| 2 かなり便利だと感じている  | 5 ほとんど便利だと感じていない |
| 3 ある程度便利だと感じている |                  |



Q17 あなたが松戸市で生活する中で、次のことについてどの程度満足しているかについて、次のア～ソまでの各項目ごとに、あなたの考えに最も近い番号それぞれ1つに○をつけてください。

項目	十分満足している	まあ満足している	普通である	やや不満である	きわめて不満である	わからない
ア 保健・医療・福祉サービス	1	2	3	4	5	6
イ まちの賑わいや買い物の便	1	2	3	4	5	6
ウ 通勤・通学などの交通の便	1	2	3	4	5	6
エ 子どもの教育環境	1	2	3	4	5	6
オ 文化・芸術の鑑賞や活動環境	1	2	3	4	5	6
カ スポーツや健康づくりのための環境	1	2	3	4	5	6
キ 道路、公園、下水道などの都市施設	1	2	3	4	5	6
ク 水道水のおいしさ、安さ	1	2	3	4	5	6
ケ 緑地・河川などの自然環境	1	2	3	4	5	6
コ 空気のきれいさ、騒音・悪臭などの公害の少なさ	1	2	3	4	5	6
サ まち並み、建物などまち全体の景観	1	2	3	4	5	6
シ 住環境のゆとりなどの住宅事情	1	2	3	4	5	6
ス 事故や災害に強い安全なまち	1	2	3	4	5	6
セ 史跡や神社仏閣など歴史・伝統文化遺産	1	2	3	4	5	6
ソ 特色ある祭りや地域ぐるみのイベント	1	2	3	4	5	6

Q18 あなたは、これからも松戸市に住み続けたいと思いますか。次の中から、あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 住み続けたい	4 あまり住み続けたくない
2 できることなら住み続けたい	5 住み続けたくない
3 どちらとも言えない	

### Ⅲ 最後に皆様自身についておたずねします。

F1 あなたの性別をお答えください。(1つに○)

1 男性	2 女性
------	------

F2 あなたの年齢をお答えください。(1つに○)

1 20～24歳	6 45～49歳	11 70～74歳
2 25～29歳	7 50～54歳	12 75～79歳
3 30～34歳	8 55～59歳	13 80歳以上
4 35～39歳	9 60～64歳	
5 40～44歳	10 65～69歳	

F 3 あなたの職業をお答えください。(1つに○)

- |                      |        |
|----------------------|--------|
| 1 会社員                | 7 専業主婦 |
| 2 公務員(教員、団体職員などを含む。) | 8 無職   |
| 3 自営業(農業を含む。)        |        |
| 4 アルバイトやパートなどの臨時雇用   |        |
| 5 学生                 |        |
| 6 その他( )             |        |

SQ (F 3で1～6を選択した方のみお答えください)

あなたの勤務地または通学地をお答えください。(1つに○)

- |                |           |
|----------------|-----------|
| 1 自宅           | 4 東京都内    |
| 2 松戸市内(自宅を除く)  | 5 埼玉県・茨城県 |
| 3 千葉県内(松戸市を除く) | 6 その他( )  |

F 4 あなたの松戸市在住年数をお答えください。(1つに○)

- |             |              |
|-------------|--------------|
| 1 1年未満      | 4 10年以上15年未満 |
| 2 1年以上5年未満  | 5 15年以上20年未満 |
| 3 5年以上10年未満 | 6 20年以上      |

F 5 あなたの出身地をお答えください。(1つに○)

- |                    |            |
|--------------------|------------|
| 1 松戸市              | 7 中部地方     |
| 2 千葉県(松戸市を除く)      | 8 近畿地方     |
| 3 東京都              | 9 中国・四国地方  |
| 4 関東地方(千葉県・東京都を除く) | 10 九州・沖縄地方 |
| 5 北海道地方            | 11 海外      |
| 6 東北地方             |            |

F 6 あなたの家族構成をお答えください。(1つに○)

- |                                   |
|-----------------------------------|
| 1 ひとり世帯                           |
| 2 夫婦のみ世帯                          |
| 3 親と子供世帯で、中学生以下の子どもがいる世帯          |
| 4 親と子供世帯で、3以外の世帯                  |
| 5 親と子供と孫の3世代以上の世帯で、中学生以下の子どもがいる世帯 |
| 6 親と子供と孫の3世代以上の世帯で、5以外の世帯         |
| 7 その他( )                          |

F 7 あなたが今、興味や関心をお持ちのことについてお答えください。(3つまで○)

1 家族の日常生活のこと
2 友人との交流やつながりなど、友人関係のこと
3 近隣の人たちとの交流のこと
4 地域の住み易さなど生活環境のこと
5 昇進や収入など仕事や職場のこと
6 不況、失業や低金利などの経済のこと
7 公的年金や医療保障など社会福祉のこと
8 子供の教育環境などの教育関係のこと
9 貧困や民族紛争などの国際問題のこと
10 地球温暖化や自然破壊などの地球環境のこと
11 外国人の世話をしたり日本を外国に紹介するなどの国際交流のこと
12 特にない
13 その他 ( )

F 8 あなたが通勤・通学以外で日常的にお出かけになる範囲についてお答えください。(1つに○)

1 隣近所	5 千葉県内
2 町会程度	6 東京都内
3 近隣町会程度	7 その他 ( )
4 松戸市内程度	

F 9 あなたの通勤・通学を含め、お出かけの時に利用する主な交通手段をお答えください。(2つまで○)

1 電車	5 オートバイ・スクーター
2 バス	6 自転車
3 タクシー	7 徒歩
4 自家用車	8 その他 ( )

F 10 あなたは、松戸市の行政情報を主に何によって入手しているかお答えください。(2つまで○)

1 テレビ・ラジオ	6 町会などでの集会や会合
2 新聞・雑誌	7 市が主催する説明会など
3 広報誌（広報まつど）	8 その他 ( )
4 松戸市のホームページ	9 特にない
5 各種パンフレット	

F 11 あなたは、納めた税金などの対価として提供された市の行政サービスについて、どのように感じているかお答えください。(1つに○)

1 非常に満足している	4 あまり満足していない
2 まあまあ満足している	5 ほとんど満足していない
3 どちらとも言えない	

自由記載欄（松戸市に対するご意見・ご要望などが特にありましたら、ご自由に記載してください。）


ご協力ありがとうございました。

\*記入済みの調査票は、同封の封筒に入れ、12月12日（火）までに、投函してください。

松戸市 総務企画本部政策調整課

〒271-8588 松戸市根本387-5

TEL047-366-7072